
HP ノートブック PC

———— リファレンス ガイド

ご注意

本書およびその内容は現状のまま提供されるものであり、将来予告なしに変更される可能性があります。本書に関して、Hewlett Packard 社は特定用途に対する商品性および適合性についての黙示的保証は一切いたしません。また、本書の記載の誤り、あるいは本書の配布、利用に伴って生じる偶発的、結果的損害に関して責任を負いません。

オーストラリアとイギリスのお客様へ: 上記の注意事項はオーストラリアとイギリスのお客様には適用されず、消費者の法定権利に影響はありません。

© Copyright Hewlett-Packard Company 2000. All rights reserved. 著作権法によって許可されている場合を除き、本書の一部または全部を、Hewlett Packard 社の書面による事前の許可なくして複写、転載、翻訳することは禁止されています。

この製品を制御するプログラムには、著作権があり全権が保護されています。これらのプログラムの複製、改変、翻訳は、Hewlett Packard 社の書面による事前の許可がない限り、禁止されています。

この製品を制御するプログラムの中には、Microsoft Corporation、Phoenix Technologies, Ltd.、ESS、S3 Incorporated、Accton、および Adobe Systems Incorporated の各社が著作権を有する部分があります。著作権情報に関する詳細は、それぞれのプログラムを参照してください。

Microsoft、MS、MS-DOS、および Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。Pentium および Intel Inside ロゴは Intel Corporation の米国における登録商標であり、MMX は同社の米国における商標です。Adobe および Acrobat は Adobe Systems Incorporated の商標です。

本製品において、日本では発表されていないあるいは動作保証していない HP 製品 (ハードウェアおよびソフトウェア) あるいは他社製品について記述、説明してある場合があります。このことをもって弊社が前記のような HP 製品、他社製品を日本で発表あるいは動作保証する意図があることを必ずしも示すものではありません。

Hewlett-Packard Company
HP Notebook Customer Care
1000 NE Circle Blvd., MS 425E
Corvallis, OR 97330, U.S.A.

HP ソフトウェア製品ライセンス契約

この HP ノートブック PC には、出荷前にソフトウェアがインストールされています。使用開始前に、このソフトウェア製品ライセンス契約書をお読みください。

この機器を使用する前にこのライセンス契約書を注意深く読んでください。 ソフトウェアを使用する権利は、お客様がライセンス契約のすべての条項に承諾することを前提としてのみ許諾されます。この機器を使用することによって、本契約書の条項に同意するものとみなされます。本契約の条項に同意しない場合は、直ちにハードディスク ドライブからソフトウェアを削除して Recovery CD を破棄するか、あるいは全製品を返品して全額払い戻しを受けてください。

セットアップを開始することによって、本契約書の条項に同意するものとします。

以下に記載されていないかぎり、この HP ソフトウェア製品ライセンス契約書は、HP コンピュータ製品の一部としてお客様に提供されるすべてのソフトウェアの使用に適用されます。本契約書は、オンライン文書、その他の文書、あるいはこのコンピュータ製品のパッケージ内に含まれているいかなる文書に記載されている HP 以外のソフトウェア製品ライセンス契約書にも取って代わるものとします。

注意: Microsoft によるオペレーティングシステムソフトウェアは、Microsoft End User License Agreement (EULA) によってお客様にライセンスが許諾されています。

本ライセンス契約書はソフトウェアの使用を以下のように制限します。

使用: 本ソフトウェア製品は、1 台のコンピュータ上でのみご使用ください。ネットワーク上で使用したり、複数のコンピュータで使用することはできません。本ソフトウェア製品の逆アセンブル、逆コンパイルは、法律で認可されていない限り、行わないでください。

複製および改変: 本ソフトウェアは、保存目的、または正規使用においてバックアップ目的に複製または改変することが不可欠な場合のみ、複製または改変を行うことができます。ただし、複製および改変されたものを他の目的で使用しない場合に限りします。

財産権: 物理媒体の財産権を除き、本ソフトウェア製品におけるいかなる権利または財産権も、お客様には譲渡されません。本ソフトウェア製品は、著作権法によって保護されています。このソフトウェア製品は、添付の著作権の通知に明記されている第三者のソフトウェア供給業者によって開発されている場合があります。お客様が本契約の著作権を侵害した場合、該当供給業者に対して責任を負うものとします。

Recovery CD: 購入されたコンピュータに Recovery CD が付属している場合、(i) 製品 Recovery CD またはサポート ユーティリティ ソフトウェアは、もともと製品

Recovery CD が付属していた HP コンピュータのハードディスクを復元する際のみ使用できます。(ii) 上記製品 Recovery CD に含まれるマイクロソフト社のオペレーティングシステム ソフトウェアを使用する際には、Microsoft End User License Agreement (EULA) が適用されます。

ソフトウェア製品の著作権の譲渡: お客様は、本ライセンス契約の条項に従うことを第三者が事前に合意した場合のみ、譲渡の一部として、第三者に本ソフトウェア製品の著作権を譲渡できます。このような譲渡を行った時点で、お客様の本ソフトウェア製品に対する著作権はなくなり、お客様は、複製および改変したものを廃棄するか、あるいはこれらを第三者に引き渡すものとします。

サブライセンス付与および公表: 本ソフトウェア製品をリース契約したり、サブライセンス付与したりすることはできません。また、物理媒体で、あるいは遠隔通信によって、本ソフトウェア製品の複製または改変したものを公表してはいけません。ただし、当社が文書で事前に承諾した場合は、この限りではありません。

終了: お客様が本ライセンス条項のいずれかに違反し、当社が訂正を要求したにもかかわらず、通知から 30 日たっても訂正されないとき、当社は本ソフトウェア製品のライセンスの使用を終了できます。

更新およびアップグレード: 本ソフトウェア製品には、更新およびアップグレードは含まれません。別途サポート契約によって更新およびアップグレードが行われる場合があります。

輸出の条件: 合衆国輸出行政規制または他の該当規制に違反して、本ソフトウェア、その複製、または改変したものを輸出または再輸出することはできません。

合衆国政府の制限規定: 合衆国政府による使用、複写、または公表は、DFARS 252.227-7013 の技術データおよびコンピュータ ソフトウェア条項の権利の副段落 (c)(1)(ii) で明記されたように制限されます。 Hewlett-Packard Company, 3000 Hanover Street, Palo Alto, CA 94304 U.S.A. DOD 以外の合衆国政府の省および機関の権利については、FAR 52.227-19(c)(1,2) で明記されています。

改版

第 1 版 2000 年 10 月
第 2 版 2001 年 1 月



このマニュアルは再生紙を使用しています。

目次

ノートブック PC について	9
梱包内容	10
付属ソフトウェア	10
アクセサリのご案内	11
その他の情報	12
ノートブック各部の名称	13
正面および右側	13
前面	14
背面および左側	15
底面	16
ステータス ランプ	17
ステータス パネル	18
電源スイッチとスタンバイ ボタン	19
コンピュータのセットアップ	20
バッテリーを取り付ける	20
AC 電源を接続する	21
モジュラ ケーブルを接続する	21
電源を入れる	22
Windows をセットアップする	23
インターネット サービスプロバイダへの接続	24
コンピュータをリセットする	24
コンピュータの使用	27
操作方法	28
Fn ホットキーの使い方	28
[Windows] キーと[アプリケーション] キーの使い方	29
埋め込みテンキーの使い方	30
ディスプレイの輝度の調整	30
音量の調節	31
タッチパッドの使い方	31
ワンタッチ ボタンの使い方	33
CD や DVD の挿入/取り出しを行うには	36
DVD または CD-RW/DVD ドライブの使い方	36
CD-RW または CD-RW/DVD ドライブの使い方	37
コンピュータのセキュリティ	38
パスワードの設定方法	38
セキュリティ ケーブルの接続方法	41

VirusScan ユーティリティの使用	42
ノートブック PC で快適な作業を行うために	43
お取り扱いについて	45
ハードディスク ドライブの保護	45
コンピュータのお取り扱い	46
データの保護	46
ディスプレイを長くご使用いただくために	47
バッテリーを長持ちさせる	47
清掃	48
コンピュータの携帯	49
節電機能	50
自動電源管理を使用する	51
電源の管理を手動で行う	53
バッテリーを使用する	56
バッテリーの充電状況を確認する	56
バッテリー残量警告が出たときは	57
バッテリーの持続時間をのばす	58
SpeedStep を使ったプロセッサ速度の制御	58
接続	61
モデムの使用	62
安全に関する重要情報	62
モデムに接続する	63
インターネットに接続する	65
インターネットとの接続を切る	66
ダイヤルアップでネットワークに接続する	66
モデムの設定を変更する	66
電子メールの送受信	67
ファックスの送受信 (Windows 98 および Windows ME)	68
ファックスの送受信 (Windows 2000)	69
LAN への接続	71
PC カードの接続	72
外部コンポーネントの接続	74
ポートの種類	74
プリンタ (または他のパラレル デバイス) を接続する	77
外部キーボードまたは PS/2 マウスを接続する	77
USB デバイスを接続する	78
オーディオ デバイスを接続する	78
赤外線対応デバイスを使用する	78
外部モニタを使用する	81

テレビをモニタとして使用する.....	82
ポートリプリケータを使用する.....	84
設定と拡張.....	87
BIOS Setup ユーティリティの実行.....	88
RAM 拡張モジュールの取り付け.....	89
RAM 拡張モジュールを取り外す.....	91
ハイバネートパーティションの拡張.....	92
Windows ドライバの更新.....	94
最新の Windows ドライバをダウンロードする.....	94
Windows 98 および Windows ME でデジタル署名付きドライバを使用する.....	94
サービスとサポートのご案内.....	95
HP 限定保証.....	96
サポートを受けるには.....	98
『リファレンスガイド』の使用.....	98
HP ノートブック Web サイト.....	98
HP カスタマケア センタ.....	99
修理サービスについて.....	103
保証内の修理サービスを受けるには.....	103
コンピュータを返送する.....	103
トラブルシューティング.....	105
トラブルの解決方法.....	106
オーディオの問題.....	106
CD-ROM ドライブの問題.....	107
ディスプレイの問題.....	107
DVD の問題.....	109
ハードディスク ドライブの問題.....	111
温度の問題.....	112
キーボード、タッチパッド、マウスの問題.....	113
メモリの問題.....	114
モデムの問題.....	114
ワンタッチ ボタンの問題.....	116
PC カードの問題.....	117
パフォーマンスの問題.....	118
ポートリプリケータの問題.....	119
電源とバッテリーの問題.....	119
印刷の問題.....	121
シリアル、パラレル、USB の問題.....	121

起動時の問題	123
サスペンドと再開の問題	124
ハードウェアの診断	125
ソフトウェアの復元と再インストール	127
ハードディスクを出荷時の状態に復元する	127
損傷した Recovery CD を交換する	128
HP ノートブック BIOS のアップデート	128
アプリケーションの復元	129
ハードディスク ドライブの交換	130
ご自分でハードディスク ドライブを取り外す場合	130
ハードディスクを再度取り付ける	132
仕様と規制情報	135
ハードウェアとソフトウェア仕様	136
BIOS Setup ユーティリティのオプション	136
ハードウェア仕様	140
ソフトウェア仕様	145
ソフトウェア システム リソース	146
モデム コード一覧	148
AT コマンド(Ambit)	148
S レジスタ (Ambit)	154
応答コード抜粋(Ambit)	156
安全のために	157
電源ケーブル	157
バッテリー取り扱い上のご注意	158
レーザーの安全性について	158
LED の安全性について	159
規制に関する情報	160
Japan	160
International	160
索引	162

ノートブック PC について

ノートブック PC について 梱包内容

梱包内容

ノートブック PC には、次の品目が同梱されています。

- バッテリ
- AC アダプタと電源ケーブル
- 『クイックスタート』シート
- HP ノートブック PC 『スタートアップ ガイド』
- Recovery CD (1 枚または複数): この PC に含まれる Windows その他全てのソフトウェアの復元に使用します。
- Microsoft Windows マニュアル (Windows 98、Windows ME、あるいは Windows 2000)
- モジュラ ケーブル (モデム内蔵モデルの場合)

付属ソフトウェア

この HP ノートブック PC にはソフトウェアがプリインストールされていますが、多様なモデルが、それぞれ異なるソフトウェアの組み合わせで構成されています。本機に含まれるソフトウェアのリストは、HP ライブラリの HP メモをご覧ください。[スタート]、[プログラム]、[HP ライブラリ]、[HP メモ] の順にクリックするか、デスクトップの [HP メモ] アイコンをダブルクリックしてください。

Windows ME の場合は、[スタート]、[ヘルプ]、[HP ノートブック]、[HP メモ] の順にクリックします。

アクセサリのご案内

アクセサリはオンラインでご購入いただけます。最新のアクセサリおよびオプション製品については、www.jpn.hp.com/go/omnibook をご覧ください。入手可能な新しいアクセサリは、こちらにリストアップされます。

HP ノートブックには、次のようなアクセサリおよび交換用モジュールが用意されています。

- ポート リプリケータ (特定モデルのみ)
- 自動車/航空機用アダプタ
- AC アダプタ
- ウルトラスリム AC アダプタ
- プライマリ リチウム イオン バッテリ
- マウスおよびキーボード用 PS/2 Y アダプタ
- 増設用メモリ – HP SDRAM
 - 64 MB
 - 128 MB
 - 256 MB

ノートブック PC について 梱包内容

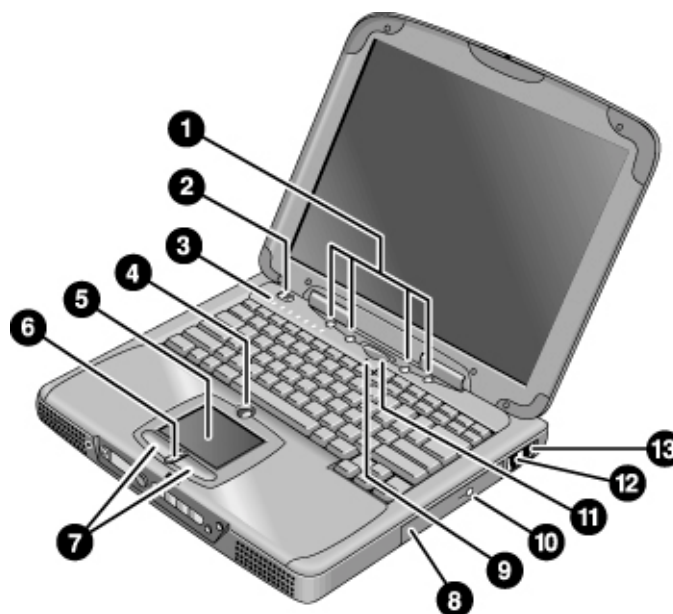
その他の情報

次の表は、HP ノートブック PC の情報源についてまとめたものです。

情報源	内容
『クイック スタート』シート	コンピュータの導入時に、素早く立ち上げ、動作させる方法を図解で説明します。
『スタートアップ ガイド』	『スタートアップ ガイド』は、コンピュータに同梱された、HP マニュアルです (印刷物)。セットアップ方法、操作方法、トラブル発生時の照会先が記載されています。
HP メモ	『リファレンス ガイド』に間に合わなかった最新の情報が記載されています。([スタート]、[プログラム]、[HP ライブラリ]、[HP メモ]の順にクリックするか、デスクトップの [HP メモ] アイコンをダブルクリックします。 Windows ME の場合は、[スタート]、[ヘルプ]、[HP ノートブック]、[HP メモ]の順にクリックします。
Microsoft Windows 導入マニュアル	Microsoft Windows の標準機能の使い方が記載されています (Windows 98、Windows ME または Windows 2000。プリインストールのオペレーティング システムにより異なります)。
Windows ヘルプ	[スタート]、[ヘルプ]の順にクリックします。
HP ノートブック PC Web サイト	www.hp.com/notebooks (英語) www.jpn.hp.com/go/omnibook (日本語)

ノートブック各部の名称

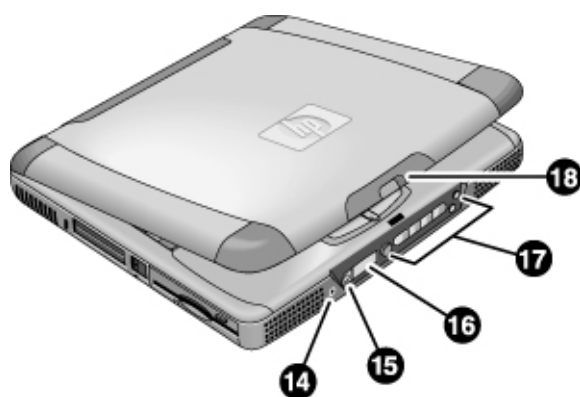
正面および右側



- | | | | |
|---|---------------------------------|----|-------------------------------------|
| 1 | ワンタッチ ボタン | 8 | CD-ROM、CD-RW、DVD または CD-RW/DVD ドライブ |
| 2 | 電源スイッチ | 9 | 内蔵マイク |
| 3 | ステータス ランプ (17ページの「ステータスランプ」を参照) | 10 | CD-ROM または DVD の取り出しボタン |
| 4 | パッドロック タッチパッド オン/オフ ボタン | 11 | 青色のスタンバイ ボタン |
| 5 | タッチパッド(ポインティングデバイス) | 12 | モデム ポート (特定モデルのみ) |
| 6 | 上下スクロール トグル | 13 | LAN ポート (特定モデルのみ) |
| 7 | クリック ボタン | | |

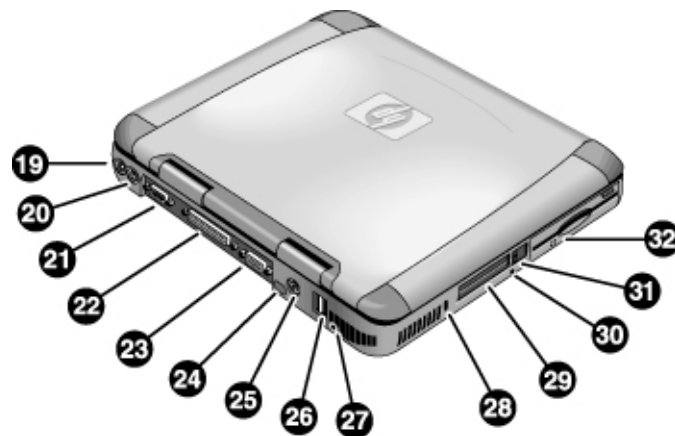
ノートブック PC について ノートブック各部の名称

前面



- 14 ヘッドホン ジャック
- 15 ステータス パネル のモード選択ボタン (特定モデルのみ)
- 16 ステータス パネル (特定モデルのみ)
- 17 マルチメディア ボタン (特定モデルのみ)
- 18 PC 開閉ラッチ

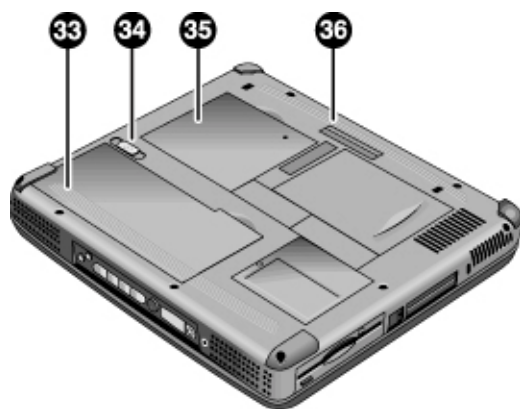
背面および左側



- | | | | |
|----|--------------------------|----|----------------------------------|
| 19 | ACアダプタ (電源) ジャック | 26 | USB ポート |
| 20 | PS/2 ポート (外部マウスまたはキーボード) | 27 | マイク ジャック |
| 21 | シリアル ポート | 28 | Kensington ロック用スロット (盗難防止用 コネクタ) |
| 22 | パラレル ポート | 29 | PC カード スロット |
| 23 | VGA ポート (外部モニタ) | 30 | システムオフ ボタン (コンピュータのリセット用) |
| 24 | 赤外線ポート (特定モデルのみ) | 31 | PC カード取り出しボタン |
| 25 | テレビ出力ポート | 32 | フロッピー ディスク ドライブ |

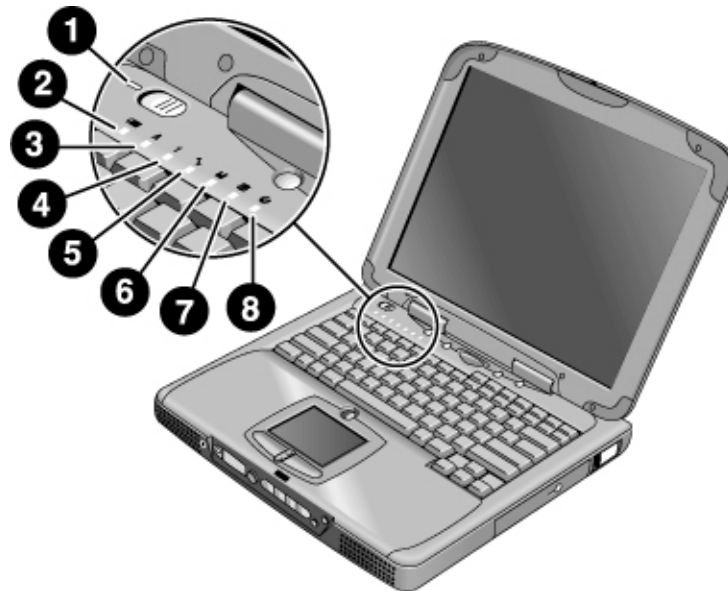
ノートブック PC について ノートブック各部の名称

底面



- 33 バッテリ
- 34 バッテリ ラッチ
- 35 RAM 拡張カバー
- 36 ポート リプリケータ (ドッキング) コネクタ (特定モデルのみ)

ステータス ランプ



- 1 電源
- 2 バッテリ
- 3 Caps Lock (大文字)
- 4 Num Lock (テンキー)
- 5 Scroll Lock
- 6 フロッピー ディスク ドライブへのアクセス
- 7 ハード ディスク ドライブへのアクセス
- 8 CD-ROM、CD-RW、DVD または CD-RW/DVD ドライブへのアクセス

ノートブック PC について ノートブック各部の名称

ステータス パネル

(特定モデルに付属) コンピュータ前面のステータス パネルは、CD 再生装置のステータス、システム電源管理、システムの日付および時刻、バッテリーのステータスを表示します。メッセージは 8 文字の液晶ディスプレイに表示され、他の種類のメッセージに切り替えるには、ディスプレイ左側のモード ボタンを押します。

コンピュータがオンの時にモード ボタンを押すと、これらのモードが順番に表示されます。

- 電源管理ステータス：オン、オフ、スタンバイ [STBY]、ハイバネート [ZZZZ]
- 日付
- 時刻
- バッテリー充電ステータス：充電済みのパーセント

CD プレーヤーがオンで、コンピュータがオフの場合、CD 再生モードが表示されます。CD トラック番号、経過時間、CD 再生を示す矢印あるいは一時停止を示す平行線が表示されます。さらにモード ボタンを押すと、上記の 4 つのモードを順番に表示させることができます。

コンピュータがオフで、CD プレーヤーもオフの場合、ステータス パネルを表示するには、マルチメディア電源スイッチを左側にスライドしてオンにしてください。ステータス パネルのチェックが済んだら、忘れずにオフにしてください。

[コントロール パネル] またはタスクバーで Windows の時刻と日付を変更した場合、ステータス パネルの表示が変更になるのは、コンピュータを終了し、再起動した後です。[スタート]、[シャットダウン] の順にクリックします。電源がオフになった後、電源スイッチをスライドし、再起動してください。

ステータス パネルに表示される日付または時刻のフォーマットを変更する場合は、BIOS で変更してください (88 ページの「BIOS Setup ユーティリティの実行」を参照)。

電源スイッチとスタンバイ ボタン

キーボード上部に、HP ノートブック PC の電源をコントロールするボタンが2つあります。左上部のスイッチは、コンピュータの電源をオン/オフにし、上部中央の大きな青色のボタンは、システムをスタンバイ モードにしたり、すでにスタンバイ モードの場合は、通常動作に戻します。

電源スイッチの使用

コンピュータをオフからオンにするには、電源スイッチを左側にスライドし、離してください。コンピュータに AC 電源が接続されているか、充電済みのバッテリーが入っていれば、システムがオンになり、Windows が自動的に起動します。

コンピュータをオンからオフにするにも、電源スイッチを使用できますが、ほとんどの場合、Windows でシャットダウンするのがより望ましい方法です。[スタート]、[シャットダウン]の順にクリックし、次に[シャットダウン]を選択し、[OK]をクリックします。Windows がシャットダウンし、コンピュータが自動的にオフになります。

スタンバイ ボタンの使用

コンピュータの現在の状態を保存し、作業の再開時に同じ状態にすばやく戻すために、スタンバイ ボタンを使用できます。

コンピュータがオンの時にスタンバイ モードにするには、キーボード上部中央の4つの小さいワンタッチ ボタンにはさまれた、大きな青色のスタンバイ ボタンを押してください。スタンバイ ボタンを押すと、ディスプレイとハードディスクがオフになり、現在の作業状態が RAM に保存されます (電源管理プロパティのタイムアウト設定により、自動でスタンバイになる場合もあります)。

スタンバイ モードから、通常動作に戻すには、再度スタンバイ ボタンを押してください。ディスプレイとハードディスクがオンになり、先程の作業状態が RAM から回復します。

ヒント

バッテリー電源使用時にノートブックがオンにならない場合は、バッテリーの充電が不十分なおそれがあります。AC アダプタに接続し、電源スイッチを左側にスライドして離してください。バッテリーの充電が完了するまでは、アダプタに接続しておいてください。

コンピュータのセットアップ

バッテリーを取り付ける

本機には、あらかじめバッテリーが装着された状態で出荷されています。バッテリーが取り外してある場合は、コンピュータ底部のバッテリー ベイに差し込んで取り付けてください。最初に、図のようにバック エッジを差し込み、次にバッテリー ラッチがカチッと鳴るまでフロント エッジを押し下げます。



バッテリーの装着が済んだら、AC アダプタを接続し、作業中にバッテリーの再充電を行います。残量の少なくなったバッテリーの交換も、同様の手順で行います。

警告

バッテリーを分解したり、穴を開けたりしないでください。また、バッテリーを火の中に投入しないでください。破裂したり、有害な化学物質が漏れ出したりするおそれがあります。充電可能なバッテリーは、リサイクルするか適切な方法で廃棄してください。

AC 電源を接続する

AC アダプタをコンセントに差し込み、次に AC アダプタをコンピュータ背面のコネクタに差し込みます。バッテリーの充電が始まります。



注意

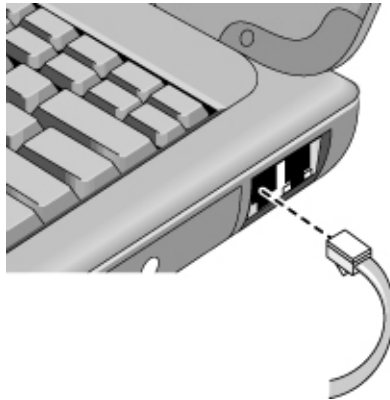
アダプタは、本機に対応する HP AC アダプタ (コンピュータ付属のアダプタか、他の指定 HP アダプタのいずれか) をご使用ください。指定外の AC アダプタを使用すると、コンピュータの破損の原因となり、保証の対象外となります。本製品の保証条件を参照してください。

モジュラ ケーブルを接続する

HP ノートブック PC には、モデム内蔵のモデルがあります。また、PC カードモデムや外付けモデムを使用して、モジュラ ケーブルを接続することもできます。

ノートブック PC について コンピュータのセットアップ

1. コンピュータのモデム ジャックにモジュラ ケーブルの一端をカチッと音がするまでしっかりと差し込みます。



2. モジュラ ケーブルのもう一端を電話ジャックに差し込みます (モジュラ ケーブルと電話ジャックのサイズが合わない場合はアダプタが別途必要です)。

注意

本機の内蔵モデムは、デジタル構内交換機 (PBX) では動作しないおそれがあります。万一、このような接続を行った場合、過度の電圧がかかり内蔵モデムが故障する原因となります。電話回線に接続する前に、ご利用の電話回線の種類をご確認ください。

電源を入れる

キーボード左上部の電源スイッチを左側にスライドします。Windows が自動的に起動します。コンピュータの電源を初めて入れる場合は、23ページの「Windows をセットアップする」をご覧ください。

電源スイッチの隣にある電源ランプ (17ページの「ステータス ランプ」を参照) は、次のような状態を示します。

- 点灯 (緑色): 電源がオン
- 点灯 (オレンジ色): スタンバイ (サスペンド) モード
- 消灯: 電源がオフまたはハイバネート モード

コンピュータの電源を切る方法については、50ページの「節電機能」を参照してください。

ヒント

バッテリー電源使用で電源が入らない場合は、バッテリーが消耗しています。ACアダプタを接続し、電源スイッチを再度左にスライドしてください。

Windows をセットアップする

この HP ノートブック PC には、Microsoft Windows (Windows 98、Windows ME、Windows 2000 のいずれか) がハードディスクにプリインストールされています。本機の電源をはじめて入れると、Windows セットアッププログラムが自動的に起動し、セットアップをカスタマイズすることができます。

出荷時の充電状態では、Windows のセットアップには不十分な可能性があるため、セットアップを開始する前に、本機に AC アダプタを接続してください。また、本機を必ず電話回線に接続してください (21 ページの「モジュラ ケーブルを接続する」を参照)。

1. 電源スイッチを左にスライドします。
2. Windows セットアッププログラムが自動的に起動します。
3. 画面に表示される指示に従ってください。

セットアップ中に、次のプロンプトが表示されます。

- ユーザ名の入力
- ライセンス契約の受諾

注記

Windows プロダクト ID の入力を要求されたら、Microsoft Windows マニュアルに添付の『Certificate of Authenticity』、またはバッテリー コンパートメントのステッカーを参照してください。

モデムでの接続に問題が生じたら、リダイヤルを試みます。それでも接続できなければ、この作業は省略し、次の作業に移ってください。

注記

本機の日付と時刻がずれている場合があります。[コントロール パネル] の [日付と時刻] アイコンをクリックして確認のうえ、修正してください。

ノートブック PC について コンピュータのセットアップ

インターネット サービスプロバイダへの接続

インターネットに接続するには、まずインターネット サービスプロバイダ (ISP) のアカウントを取得しなければなりません。いくつかの国では、ISP にすぐ接続できるよう、HP が簡単なインターネット サインアップを提供しています。

1. 内蔵モデムに、付属のモジュラ ケーブルを接続します (モデム搭載モデルでない場合は、PC カード モデムあるいは外付けモデムを使用できます)。
2. [スタート]、[プログラム]、[オンライン サービス] の順にクリックし、リストアップされた ISP から 1 つを選択します。選択した ISP の登録手続きが始まります。

または

デスクトップの [インターネットに接続] アイコンをダブルクリックします。[インターネット接続] ウィザードが起動し、地域の ISP を探すことができます。

または

[HP e-Center] と表示されたデスクトップアイコンがある場合は、アイコンをダブルクリックし、[インターネット サインアップ] を選択します。

または

[簡単インターネット サインアップ] と表示されたデスクトップアイコンがある場合は、アイコンをダブルクリックします。

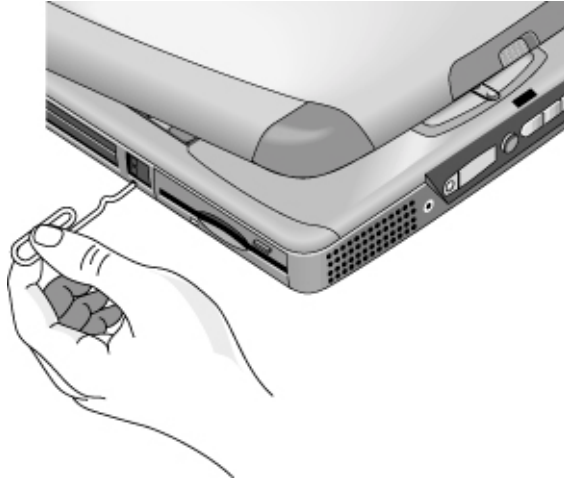
インターネット接続のための ISP を、自由に選択して手続きすることも可能です。

コンピュータをリセットする

Windows やコンピュータが突然応答しなくなった場合、コンピュータをリセットし、Windows を再起動することができます。

1. 可能ならば、Windows をシャットダウンします ([スタート]、[シャットダウン]、[シャットダウン]、[OK] の順にクリックします)。
2. コンピュータがシャットダウンしなければ、電源スイッチをスライドさせたまま 5 秒待ってから離します。

- それでもコンピュータがシャットダウンしなければ、コンピュータ左側の、PC カード取り出しボタンの下にあるくぼみに、ピンまたは伸ばしたクリップを差し込みます。



- コンピュータがシャットダウンしたら、コンピュータを再起動するために電源スイッチをスライドして離します。

コンピュータの使用

操作方法

Fn ホットキーの使い方



[Fn] キーともう 1 つのキーを一緒に押すと、各種のシステムを制御するショートカットキーになります。[Fn] キーを押しながら、目的のキーを押します (外部キーボードを使用している場合は、[Fn] キーの代わりに左[CTRL]+左[ALT] を押します)。

ホットキー	機能
[Fn]+[F1]	ディスプレイの輝度を下げます (TFT 画面のみ)。
[Fn]+[F2]	ディスプレイの輝度を上げます (TFT 画面のみ)。
Fn+F3	ディスプレイの輝度を下げます (HPA 画面のみ)。
Fn+F4	ディスプレイの輝度を上げます (HPA 画面のみ)。
[Fn]+[F5]	内蔵ディスプレイ、外部ディスプレイ、同時ディスプレイを切り替えます。
[Fn]+[F7]	スピーカ出力のオン/オフ (消音) を切り替えます。
[Fn]+[F8]	埋め込みテンキーのオン/オフを切り替えます (30 ページの「埋め込みテンキーの使い方」を参照してください)。
[Fn]+[Lock] キー*	Scroll Lock のオン/オフを切り替えます (外部キーボードを除く)。
[Fn]+上矢印キー	音量を上げます (外部キーボードを除く)。
[Fn]+下矢印キー	音量を下げます (外部キーボードを除く)。

*[Lock] キーは、キーボード最上段にあります。



[Windows] キーと[アプリケーション] キーの使い方



[Windows] キーを押すと、Windows の[スタート] メニューが表示されます。タスクバーの [スタート] ボタンをクリックするのと同じです。




[アプリケーション] キーを押すと、作業中のアプリケーションのショートカットメニューが表示されます。作業中のアプリケーションでマウスを右クリックすると表示されるものと同じです。

[Windows] キーの組み合わせ

キー	機能
[Windows] + [Break]	[システムのプロパティ] ダイアログ ボックスを表示します (Windows 2000 および Windows ME)。
[Windows] + [E]	エクスプローラを起動します (Windows 98) またはマイ コンピュータを起動します (Windows 2000 および Windows ME)。
[Windows] + [F1]	ヘルプを起動します。
[Windows] + [F]	検索を起動します ([ファイルやフォルダ...] ダイアログ ボックスが開きます)。
[Windows] + [M]	すべてのウィンドウを最小化します。
[Shift]+[Windows]+[M]	最小化したウィンドウを元の大きさに戻します。
[Windows] + [R]	[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスが開きます。
[Windows] + [U]	[ユーティリティ マネージャ] を開きます (Windows 2000 および Windows ME)。

埋め込みテンキーの使い方

[Fn]+[F8] を押してテンキーをアクティブにした後、[Lock] キー  (キーボード最上段) を押して Num Lock のオン/オフを切り替える必要があります。

Num Lock がオンのときは、以下ようになります。

- テンキーを押すと、キー右側に書かれている数字や記号が入力されます。
- Num Lock ステータスランプが点灯します
- 埋め込みテンキーをオフにするには、再び [Fn]+[F8] を押します。

ディスプレイの輝度の調整

ディスプレイの輝度を調整できます。

TFT 画面の場合

- 輝度を下げるには、[Fn]+[F1] を押します。
- 輝度を上げるには、[Fn]+[F2] を押します。

HPA 画面の場合

- 輝度を下げるには、[Fn]+[F3] を押します。
- 輝度を上げるには、[Fn]+[F4] を押します。

バッテリー電源を使用する際には、省電力のため、自動的にディスプレイの輝度が下がります。輝度調整を使用して、自動調整を無効にできます。

音量の調節

キーボードでの音量調節

- 音量を上げるには、[Fn] と上矢印キーを押します。
- 音量を下げるには、[Fn] と下矢印キーを押します。
- 音量設定を変更せずに一時的に音量を下げるには、[Fn] と[F7] を押します。音量を元に戻すには、もう一度 [Fn] と[F7] を押します。

Windows での調節

1. タスクバーにあるスピーカのアイコンをクリックします。
2. 音量のつまみを上下にドラッグして調節します。
3. 音量設定を変更せずに、一時的に音量を下げるには、[ミュート] をクリックします。

マルチメディア ボタンでの調節

コンピュータ前面にマルチメディア ボタンがついているモデルでは、コンピュータの電源がオンの時、音量調節ボタンで CD プレーヤを含むほとんどのオーディオアプリケーションを制御します。コンピュータの電源がオフの時、これらのボタンで音楽 CD の音量を調節できます。

- 音量を上げるには、音量アップ ボタンを押します。
- 音量を下げるには、音量ダウン ボタンを押します。

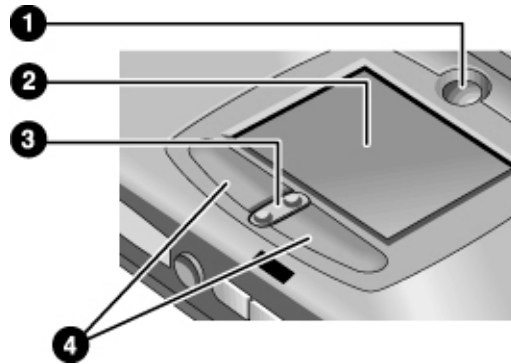
アプリケーションでの調節

オーディオ アプリケーションの多くには、音量調節機能が含まれています。調節の方法は、アプリケーションのヘルプを参照してください。アプリケーションによる音量調節のみが可能な場合もあります。

タッチパッドの使い方

タッチパッドは接触感度方式による組み込みのポインティングデバイスで、画面上のポインタの動きと速度をコントロールします。

コンピュータの使用 操作方法



- 1 パッドロック (タッチパッドオン/オフ ボタン)
- 2 タッチパッド (ポインティングデバイス)
- 3 上下スクロールトグル
- 4 クリックボタン

- ポインタを移動したい方向にタッチパッド上で指を移動します。
- 選択するには、左右のクリックボタンを使用します。これらのボタンはマウスの左右ボタンと同じように機能します。ボタンをクリックする代わりにタッチパッドをタップする (軽く叩く) こともできます。
- アプリケーションを開くには、ポインタをアイコン上に移動して、左のクリックボタンを2度続けてすばやく押します (ダブルクリック)。あるいはタッチパッドを2回タップすることもできます。
- メニューを選択するには、ポインタを目的のアイテム上に移動して、左のクリックボタンを1回押します。
- アイテムのショートカットメニューを開くには、ポインタを目的のアイテム上に移動して、右のクリックボタンを1回押します。
- アイテムをドラッグするには、まずポインタをアイテム上に移動します。左のクリックボタンを押したままポインタを新しい位置に移動し、ボタンを離します。
- 上下にスクロールするには、タッチパッドの下にあるトグルボタンの、上部または下部を押します。
- タッチパッドを無効にするには、パッドロックボタンを押します (オレンジ色のタッチパッドインジケータが点灯します)。タッチパッドを再び有効にするには、再度パッドロックボタンを押します。タッチパッドを無効にす

る機能は、例えばテキストを入力するため誤ってカーソルを移動させたくない時などに便利です。

タッチパッド(および取り付けられている外部 PS/2 またはシリアル マウス)の動作をカスタマイズするには、[シナプス タッチパッド] アイコン(画面右下部のタスクバーにあります)をダブルクリックして、[マウスのプロパティ]を開きます。設定したい項目に対応するタブを選択します。次の項目が設定できます。

- 右手または左手操作のボタン配置([ボタン]タブはマウスの設定、[ボタン作用]タブはタッチパッドの設定)
- ダブルクリックの速度、ポインタの移動速度、ポインタの軌跡
- クリックの感度

注記

初期設定では、外部マウスを取り付けるとタッチパッドが非アクティブになります。BIOS の設定を変更すれば、タッチパッドと外部ポインティングデバイスの両方を有効にできます。88ページの「BIOS Setup ユーティリティの実行」を参照してください。

ワンタッチ ボタンの使い方

HP ノートブック PC のワンタッチ ボタンを使用すると、1つのボタンを押すだけで電子メールや Web ブラウザ、あるいは他のアプリケーションを起動できます。ボタンは特定のアプリケーション用に初期設定されていますが、設定を変更して、他のアプリケーションを起動させることもできます。

ワンタッチ ボタンを押すと、起動するアプリケーション名が画面に表示されます。好みの色やサイズやスタイルを選択し、アプリケーション名の表示形式を変更できます。

ワンタッチ ボタンの設定方法

1. [スタート]、[設定]、[コントロールパネル]の順にクリックします。
2. [キーボード]をダブルクリックします([キーボード]が表示されない場合は、[すべて表示]をクリックします)。
3. [ワンタッチ ボタン]タブを選択します。
4. 再設定するキーのボタンをクリックします。

コンピュータの使用 操作方法

5. [ボタンのラベル] フィールドに、このボタンで起動させるアプリケーションの名前を入力します。この名前は、ボタンを押した時に画面に表示されます。
6. プリインストールされているアプリケーションのリストから、このボタンに関連づけるアプリケーションを選択します。

または

目的のアプリケーションがリスト中不在の場合は、[コンピュータからファイルを選択] を選択し、[参照] ボタンをクリックして、コンピュータに保存されたファイルから選択します。

または

ボタンを押すと特定の Web ページにアクセスするよう設定するには、[Web サイトのアドレスを入力] を選択した後、[お気に入り] のうち 1 つを選択するか、指定する Web ページの URL を入力します。

7. コンピュータを自動的に起動させる (その後特定のアプリケーションを起動する、あるいは特定の Web サイトにアクセスする) 場合は、[このボタンでシステム ウェークアップを有効にする] を選択します。
8. [OK] をクリックし、さらにもう一度 [OK] をクリックして、[キーボードのプロパティ] ウィンドウをクローズします。

アプリケーション名の表示形式の設定方法

HP ノートブックのワンタッチ ボタンを押すと、起動するアプリケーションの名前が画面に表示されます。この表示時間の長さや、表示のサイズ、色、フォントが変更できます。(これらの設定は、コンピュータ前面のマルチメディア ボタン (オプション) で音楽 CD や映画 DVD を再生する際の、マルチメディア メッセージの表示にも適用されます)。

表示形式を設定する

1. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックします。
2. [キーボード] をダブルクリックします ([キーボード] が表示されない場合は、[コントロール パネルをすべて表示する] をクリックします)。
3. [ワンタッチ ボタン] タブを選択します。
4. [画面表示の変更] をクリックします。
5. 個別の表示設定作業は、以下の指示に従って行います。

表示のフォントを変更する

1. [フォントの変更] を選択します。
2. タイプフォーマットとスタイルを選択します。
3. [OK]、[完了]、[OK] の順にクリックします。

表示の色を変更する

1. [色の変更] を選択します。
2. 指定する色区画をクリックします。
3. [OK]、[完了]、[OK] の順にクリックします。

画面表示を、表示あるいは非表示にする

1. 表示させるには、[表示] にチェックマークを付けます (非表示にするには、[表示] のチェックマークをはずします)。
2. [完了]、[OK] の順にクリックします。

表示のサイズを変更する

1. [サイズ] の矢印をクリックします。
2. 目的のサイズを選択します。
3. このサイズで表示されたメッセージのサンプルを表示するには、[プレビュー] をクリックします。
4. [完了]、[OK] の順にクリックします。

表示時間の長さを変更する

1. [タイムアウト] の矢印を繰り返しクリックして、1 秒から 10 秒まで、秒数を選択します。
2. 設定した長さでサンプルのメッセージを表示させるには、[プレビュー] をクリックします。
3. [完了]、[OK] の順にクリックします。

CD や DVD の挿入/取り出しを行うには

注意

コンピュータが CD を読み込んでいる間は、CD の挿入や取り出しを行わないでください。コンピュータが応答を中止し、データが消失してしまうおそれがあります。

1. CD-ROM あるいは DVD ドライブの側面にあるボタンを押します。ドライブを初めて使用する時は、パッキングが入っていないか確認し、あれば取り除きます。
2. CD を、ラベル面が上になるようにドライブに入れ、カチッと軸にはまるまで静かに押します。

または

CD を取り出します。

3. トレイをスライドして閉じます。

注記

コンピュータに電源が入らない場合は、ドライブ前面の小さな穴に先の細いもの(伸ばしたクリップなど)を挿入し、手動でドライブを開けて CD を取り出すことができます。

DVD または CD-RW/DVD ドライブの使い方

DVD ドライブが付属しているモデルの場合、DVD ムービーの再生に必要なソフトウェアがプリインストールされています。[スタート]、[プログラム]、[DVD プレーヤ ソフトウェア] (DVD プレーヤ プログラムの名称はさまざまです) の順にクリックします。

DVD プレーヤを再インストールする必要がある場合は、`C:\HP\PROGRAMS\DVD\SETUP.EXE` を実行します。

注記

本機に搭載の DVD プレーヤーは、ハイパフォーマンス、ハイスペックなプレーヤーです。そのため多くの DVD に含まれている、「PC フレンドリー」というプログラムをインストールする必要がありません。本機に PC フレンドリーをインストールすることはお勧めしません。PC フレンドリーは本機の DVD プレーヤーの動作を不安定にし、エラーを発生させる可能性があります。そのような状態になった場合は PC フレンドリーをアンインストールし、再起動してから DVD を再生し直してください。

CD-RW または CD-RW/DVD ドライブの使い方

CD-RW ドライブが付属しているモデルの場合、CD の読み込み、書き込み、書き換えに要するソフトウェアをインストールする必要があります。

コンピュータのオペレーティング システムにより、次のいずれかの方法でインストールします。

- Adaptec ソフトウェアがあらかじめロードされている場合: [スタート]、[プログラム]、[Adaptec Easy CD Creator]、[セットアップ] の順にクリックします。[Easy CD Creator] または [DirectCD] をクリックして、インストール方法を選択します (C:\HP\PROGRAMS\CDRW\SETUP.EXE からインストールを実行することもできます)。
- Adaptec ソフトウェアの CD が付属している場合: Adaptec CD をドライブに挿入すると、自動的にセットアップが開始されます。画面の指示に従ってください。

コンピュータのセキュリティ

コンピュータおよびデータのセキュリティを保持するのは重要なことです。数ある方法の中でもとりわけ、パスワードの使用、ケーブルによるコンピュータ盗難防止、ウィルス防御の設定は、セキュリティを向上させるのに有効です。

パスワードの設定方法

パスワードによる保護を設定しておくことで、他のユーザが本機にアクセスするのを防ぐことができます。パスワードの設定は、Windows (ソフトウェア) でも、BIOS Setup ユーティリティ (ハードウェア) でも行えます。どちらの場合も、コンピュータを再起動する際に保護が行われます (ユーザはパスワードを入力しなければなりません)。ただし、BIOS による設定では、スタンバイ (サスペンド) あるいはハイバネートから再開する時には、パスワードを要求されません。一方、Windows による設定では要求されます。

ハードウェアによるパスワード保護を設定するには、88ページの「BIOS Setup ユーティリティの実行」を参照してください。

Windows 98 でパスワードを設定する

1. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックします。
2. [パスワード] をダブルクリックします。
3. [パスワードの変更] タブを選択します。
4. [Windows パスワードの変更] をクリックします。
5. Windows のパスワードが既にあれば [古いパスワード] のフィールドに入力し、なければ空白にしておきます。
6. 新しいパスワードを2回入力します。
7. [OK]、[OK] の順にクリックします。

Windows 98 を再開する時にパスワードによる保護をアクティブにする

1. 上記の方法で Windows のパスワードを設定します。
2. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックします。

3. [電源の管理] をダブルクリックします。
4. [詳細] タブを選択します。
5. [コンピュータがスタンバイ モードから回復するときにパスワード入力を求める] を選択します。
6. [OK] をクリックします。

Windows 2000 でパスワードを設定する

1. [Ctrl]+[Alt]+[Del] を押します。
2. [パスワードの変更] をクリックします。
3. Windows のパスワードが既にあれば[古いパスワード] のフィールドに入力し、なければ空白にしておきます。
4. 新しいパスワードを 2 回入力します。
5. [OK] をクリックします。
6. [キャンセル] をクリックします。

管理者以外のアカウントに、ハードウェアのパスワードを設定する場合は、Windows ヘルプ ([スタート]、[ヘルプ] の順にクリック) を参照してください。

Windows 2000 を再開する時にパスワードによる保護をアクティブにする

1. 上記の方法で Windows のパスワードを設定します。
2. [スタート]、[設定]、[コントロールパネル] の順にクリックします。
3. [電源オプション] をダブルクリックします。
4. [詳細] タブを選択します。
5. [コンピュータがスタンバイ モードから回復するときにパスワード入力を求める] を選択します。
6. [OK] をクリックします。

Windows ME でパスワードを設定する

1. [スタート]、[設定]、[コントロールパネル] の順にクリックします。
2. [パスワード] をダブルクリックします ([パスワード] が表示されない場合は、[コントロールパネル] のオプションで[すべて表示] をクリックします)。

コンピュータの使用 コンピュータのセキュリティ

3. [パスワードの変更] タブを選択します。
4. [Windows パスワードの変更] をクリックします。
5. Windows のパスワードがすでにあれば [古いパスワード] のフィールドに入力し、なければ空白にしておきます。
6. 新しいパスワードを 2 回入力します。
7. [OK]、[終了] の順にクリックします。

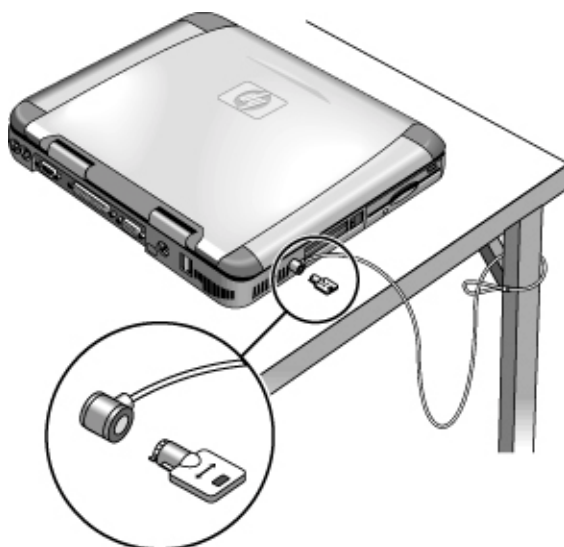
Windows ME を再開する時にパスワードによる保護をアクティブにする

1. 上記の方法で Windows のパスワードを設定します。
2. [スタート]、[設定]、[コントロールパネル] の順にクリックします。
3. [電源オプション] をダブルクリックします。
4. [詳細] タブを選択します。
5. [コンピュータがスタンバイおよびハイバネートから回復するときにパスワード入力を求める] を選択します。
6. [OK] をクリックします。

セキュリティ ケーブルの接続方法

本機には、コンピュータの盗難防止用ケーブルを接続するコネクタが装備されています。このコネクタに使う Kensington MicroSaver ロックシステムは、一般のコンピュータ販売店で購入することができます。

1. 机の脚など、しっかりしたものにケーブルを巻き付けます。



2. ループをつくってケーブルを通し、ケーブルが抜けないようにします。
3. ロックをコンピュータのセキュリティコネクタに挿入して、キーを外します。キーをコンピュータ から離れた別の安全な場所に保管します。

VirusScan ユーティリティの使用

アンチウイルス ソフトウェアは、大切なデータをコンピュータ ウィルスから保護するのに役立ちます。特にインターネットに接続している場合など、このソフトウェアが重要な働きをします。

アンチウイルス ソフトウェアを使用するには、[スタート]、[プログラム]、[McAfee VirusScan] (Windows 2000 では、[スタート]、[プログラム]、[Network Associates]、[VirusScan]) の順にクリックします。使用方法については、アプリケーションのヘルプを参照してください。

ノートブック PC で快適な作業を行うために

HP ノートブック コンピュータは実質的にいつでも使用できますが、いっそう快適に作業を進めるために次のことをお勧めします。

ポータブル コンピュータを主コンピュータとして使用する場合、あるいはそれを長時間使用する場合は、フルサイズのキーボード、モニタ、マウスを併用するようにしてください。これにより、ポータブル コンピュータを使用する上で、順応性やデスクトップ ユニットとしての快適さが得られます。HP のドッキング アクセサリを使用すれば、迅速にまた簡単にこれらのデバイスに接続できます。作業環境や HP 機器の設定に関する詳細は、ハードディスクの HP ライブラリ ([スタート]、[プログラム]、[HP ライブラリ] の順にクリック) にプリロードされているか、あるいは Recovery CD に収められている「快適に作業をおこなうために」を参照してください (Windows ME の場合、[スタート]、[ヘルプ]、[HP ノートブック]、[快適な作業を行うために] の順にクリックするとご覧になれます)。または次の HP Web サイトを参照してください。 www.hp.com/ergo

警告

キーボードや入力デバイスを誤った方法で使用すると、身体上の傷害を引き起こす危険があります。危険性を減らすための詳細については、HP の人間工学に関する Web サイトを参照するか、オンライン HP ライブラリの「快適に作業をおこなうために」を参照してください。

モバイル作業環境

- 背もたれが背中下方をしっかりと支えるような椅子を使用します。背もたれに調節機能がない場合は、背もたれと背中下方の間に枕あるいはロール状にしたタオルで代用します。
- 腿は床に対して水平に保ち、足の裏が床につくようにします。モバイル作業環境でこれが難しい場合は、足の下に電話帳やブリーフケースを置いて調整します。
- 机または椅子の高さを調節して、腕が無理のない位置に保たれるようにします。腕をリラックスさせ力をぬき、肘が身体の側面に位置し、肘から手首にかけては床に対してほぼ水平を保つようにします。
- ノートブック コンピュータのディスプレイは、ちらつきや反射が少ない場所に設置します。例えば飛行機の中では窓の覆いを閉め、ホテルの客室ではカーテンを閉めます。また、目とディスプレイの間に適切な距離 (40cm から

コンピュータの使用 ノートブック PC で快適な作業を行うために

60cm) を置くようにします。ディスプレイと頭部の角度は、ディスプレイの最上部が頭部よりやや低めになるように調節します。

モバイル コンピュータの使用

- 手首と手が自由に動く位置にコンピュータを置きます。できるだけ手首をまっすぐに保ち、左右に曲げたり、上下に 10 度以上曲げないようにします。この HP ノートブック コンピュータには、この姿勢を保つのに最適な、パームレストが組み込まれています。
- タイプするときはできるだけ軽く打ちます。ノートブックのキーボードでは、ごくわずかな指の力でタイプすることができます。
- 短い休憩をたびたびとるようにしてください。これは、モバイル作業環境では特に必要です。
- ポータブル コンピュータの重量は 1.5kg から 4kg です。携行する場合は、身体への負担が軽くなるようにコンピュータを正しく持ちます。コンピュータの入ったバッグの持ち方を左手、右手、肩かけなど、たびたび入れ替えるようにします。

お取り扱いについて

このセクションではコンピュータの取り扱い方法、日頃のお手入れ、また破損やデータの消失を未然に防ぐための注意事項について説明します。

ハードディスクドライブの保護

ハードディスクや他の内部機器は非常に精密な電子部品からできているため、操作の誤りや不適切な取り扱いなどが原因で破損してしまう可能性があります。

- 振動や衝撃を与えないでください。
- 激しい揺れのある場所で使用しないでください。
- コンピュータを携帯するときは、スタンバイあるいはハイバネートモードにするか、シャットダウンして、ハードディスクへの電力供給を止めてください。ハードディスクが稼動している状態で、万一本機を落とした場合、たとえ低い場所から落としてもハードディスクが破損したり、データが消失したりする可能性があります。
- 振動や衝撃から守るため、本機はソフトケースに入れて携帯してください。
- 本機はゆっくりと慎重に置いてください。
- コンピュータが高温または低温の環境に置かれていた場合は、常温に戻るまで起動しないでください。

コンピュータの使用 お取り扱いについて

コンピュータのお取り扱い

- 十分な換気が行えるよう本機の周辺に物を置かないでください。本機は必ず平らな面に置き、本体底部に空気が流れるだけの隙間ができるようしてください。ファンの通気孔がふさがれないよう、コンピュータの背面および側面のまわりに十分なスペースを確保してください。
- 携帯用ケースやバッグに入れる場合は、コンピュータをシャットダウンするか、ハイバネートあるいはスタンバイモードにしてください。
- ディスプレイ部分を持って持ち運ばないでください。
- 雨や雪 (またはその他の天候不良) の屋外では使用しないでください。また気温、湿度が仕様範囲外の場所でも使用しないでください。

データの保護

- システムの起動中や電源オフの処理中にタッチパッドに触れたり、他のデバイスを使用したりして動作を中断させないでください。
- フロッピー、テープ、ネットワークドライブなどに作業データを定期的にバックアップしてください。
- VirusScanなどのウイルススキャンプログラムを定期的に行って、ファイルやオペレーティングシステムの整合性をチェックしてください。新種のウイルスは頻繁に発見されているので、プログラムのウイルス定義の更新は定期的に行ってください。VirusScanの更新ファイルは、www.networkassociates.comから入手できます。他のアプリケーションを使用する場合、更新に関する情報はアプリケーションのヘルプを参照してください。
- Windows 98 および Windows ME をお使いの場合は、[スキャンディスク]ユーティリティを使って、ディスクをチェックしてください ([スタート]、[プログラム]、[アクセサリ]、[システム ツール]、[スキャンディスク]の順にクリックします)。
- Windows 2000 をお使いの場合は、エラーチェックのツールを使用してディスクをチェックします ([マイ コンピュータ]を開き、スキャンするディスクを選択し、[ファイル]、[プロパティ]の順にクリックし、[ツール]タブを選択し、[今すぐチェック]をクリックします)。

ディスプレイを長くご使用いただくために

画面のバックライトの寿命を長く持たせるために、次の事項を参考にしてください。

- オフィスなどで使用しているときは、できるだけ外部ディスプレイに接続して、内蔵ディスプレイをオフにしておきます ([Fn]+[F5])。
- 外部ディスプレイを使用していないときは (AC アダプタまたはバッテリー駆動に関わらず)、ディスプレイのタイムアウト時間を最も短い間隔に設定します ([コントロール パネル]、[電源オプション (Windows 98 の場合は[電源管理])]、[電源スキーム] タブの順にクリック)。
- 輝度調節は、なるべく低いレベルに設定します ([Fn]+[F1] または [Fn]+[F2]) (TFT ディスプレイの場合)。

バッテリーを長持ちさせる

- バッテリーを取り付けたまま長期間放置しないでください。交換用バッテリーがある場合、交換してお使いください。
- 普段は AC アダプタを使用している場合でも、一週間に一度はバッテリー電源で本機を動作させるようにしてください。
- コンピュータを使用しないときは、AC アダプタを取り外しておいてください。
- バッテリーを長持ちさせるために、定期的にバッテリーの充電を行ってください。
- バッテリーを長期間保管する場合は、放電によるバッテリー容量の低下や性能の劣化を抑えるため、約 20～50%ほど充電した状態に保ってください。
- デュアル スピード プロセッサ搭載モデルの場合、バッテリー電源の時には低速を使用してください (58 ページの「SpeedStep を使ったプロセッサ速度の制御」を参照)。出荷時の設定では、バッテリー電源使用時には低速になります。

コンピュータの使用 お取り扱いについて

清掃

本体表面は水に軽く湿らせたやわらかい布、または水とごく少量の中性洗剤を含ませた布で拭いてください。

- 極端に濡れた布で拭かないでください。また水が本体内部に流れ込まないように注意してください。
- クレンザーなどで拭かないでください。ディスプレイへの使用は特に避けてください。ディスプレイはクリーナを含ませたやわらかい布で拭くようにし、直接クリーナを付けたりしないでください。
- キーボードに溜まった埃やごみなどは掃除機を使って吸い取ってください。

コンピュータの携帯

節電機能

コンピュータを使用していないときは、性能を維持したまま、できるだけバッテリーの消費電力を節約したいものです。電力の消費を抑えてバッテリーを長持ちさせるためには、必ずしもコンピュータの電源を切る必要はありません。

Windows 98、Windows ME、および Windows2000 の節電機能である ACPI (Advanced Configuration and Power Interface) は、手動ならびに自動ツールの両方で電力の消費を節減できます。

- 電源管理オプションは、入力したタイムアウト値にしたがって、自動的に作動するように設定することもできます。
- 電源管理オプションは、適切なキーを押せば、いつでも実行できます。後述の「電源の管理を手動で行う」を参照してください。

自動電源管理を使用する

システムのハイバネーションや、スタンバイ、モニタ、ハードディスクのタイムアウトは、[電源の管理のプロパティ](Windows 98)、あるいは[電源オプションのプロパティ](Windows ME および Windows 2000) で設定した値に従って自動的に行われます。次の表には、Windows で設定できる節電用タイムアウトに関する説明が記載されています。

システムのハイバネーション

動作	現在の作業状態をディスクに保存し、電源をオフにします。元の作業状態にすぐに復帰できる状態のまま、最大限バッテリーを節約します。
開始	指定した時間スタンバイが続いた時、ハイバネートモードに入ります (Windows ME および Windows 2000 のみ)。 または バッテリー残量が非常に低くなった時、ハイバネートモードに入ります。
復帰	電源スイッチを左にスライドすると、元の作業状態に戻ります。これには数分かかる場合があります。

バッテリー残量が非常に低くなった場合は、57ページの「バッテリー残量警告が出たときは」を参照してください。

注記

バッテリー残量が非常に低くなったためにハイバネートモードに入った場合は、復帰した時に、データは保存されていても、いくつかの機能が無効になっていることがあります。通常の動作を再開するには、電源を回復し (AC 電源に接続するか、充電済みのバッテリーを取り付けます)、完全にシャットダウンし、続いてコンピュータを再起動します。

コンピュータの携帯 節電機能

ディスプレイをオフにする

動作	画面表示をオフにします。これは、バッテリーを節約するだけでなく、液晶画面を長持ちさせるのにも役立ちます。
開始	指定した時間、キーボードとマウスカーソルの動きがないとき、オフになります。
復帰	任意のキーを押すか、マウスカーソルを動かすと、元の作業状態に戻ります。

ハードディスクをオフにする

動作	ハードディスクのみをオフにします。これは通常、ディスプレイをオフにしてから少したって実行するように設定します。
開始	指定した時間ハードディスクへのアクセスがないとき、オフになります。
復帰	任意のキーを押すか、マウスカーソルを動かすと、元の作業状態に戻ります。

システム スタンバイ

動作	ディスプレイとハードディスクをオフにして節電します。
開始	指定した時間、キーボードとマウスの動き、ディスクドライブへのアクセス、ポート(シリアル、パラレル、赤外線)の動作がないとき、システムスタンバイに移行します。
復帰	青色のスタンバイボタンを押すと、元の作業状態に戻ります。

システムスタンバイが開始する 15 秒前にメッセージが表示されます。この間に、まだ作業中のものがあれば、処理を中止して作業内容を保存することができます (Windows 98、Windows ME、および Windows 2000 では、スタンバイとサスペンドは同義語です)。

注意

本機がシステムスタンバイに入る前に、常に作業内容を保存するように心がけてください。本機がシステムスタンバイのときに電源が切れると、ディスクに保存されていない情報は消失します。

本機内の機器 (本機自体ではなく) が指定した時間使用されなかったときに自動的にシャットダウンさせるための電源管理方法を設定することができます。本機の使い方に合わせて、最も適した方法を定義してください。

電源の管理のプロパティを設定する

1. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックします
2. Windows 98 では、[電源の管理] をダブルクリックします。Windows 2000 および Windows ME では、[電源オプション] をダブルクリックします (詳細は Windows ヘルプを参照)。
3. タイムアウトの時間を設定します ([なし] に設定することも可能ですが、ハイバネート タイムアウトは [なし] にしないことをお勧めします)。
4. [OK] をクリックします。

電源の管理を手動で行う

本機は、必要なときはいつでも手動で、次の3つの電源管理レベルに移行させることができます。

システム スタンバイ

動作	ディスプレイとハードディスクをオフにします。
開始	青色のスタンバイ ボタンを押します。 または [スタート]、[シャットダウン]、[スタンバイ] の順にクリックします。 または ふた、電源ボタン、あるいはスリープボタンを、スタンバイを行うように設定します。続いて、ふたを閉じるかボタンを押します。
復帰	青色のスタンバイ ボタンを押すと、元の作業状態に戻ります。

システムスタンバイは、[電源の管理のプロパティ] で設定した値にタイムアウト時間が達した場合は、自動的に実行されます (Windows 98、Windows ME、および Windows 2000 では、スタンバイとサスペンドは同義語です)。

コンピュータの携帯 節電機能

注意

本機がシステム スタンバイに移行する前に、作業内容を保存するようにしてください。本機がスタンバイ モードのときに電力の供給が中断されると、未保存の情報が失われます。

システム ハイバネーション

動作	現在の作業状態をディスクに保存し、電源をオフにします。元の作業状態にすぐに復帰できる状態のまま、最大限バッテリーを節約します。ネットワーク接続を復帰します。
開始	[スタート]、[シャットダウン]、[ハイバネート]の順にクリックします (Windows ME および Windows 2000)。 または ふた、電源ボタン、あるいはスリープボタンを、ハイバネーションを行うように設定します。続いて、ふたを閉じるか、ボタンを押します (Windows 98、Windows ME、および Windows 2000)。 または [Fn] + [F12] を押します (Windows 2000 のみ)。
復帰	電源スイッチを左にスライドすると、元の作業状態に戻ります。これには数秒かかります。

バッテリーの残量が非常に低くなった時も、自動的にハイバネートモードに移行します。57ページの「バッテリー残量警告が出たときは」を参照してください。Windows 98の場合、バッテリー残量が非常に低くなった時に限りハイバネートモードに移行しますが、出荷時の設定では手動でハイバネートモードに移行させることができません (必要があれば、電源スイッチあるいはスタンバイボタンの設定を変更して、手動でハイバネートに移行させることができます)。

電源オフ

動作	本機の電源を切り、最大の節電効果を発揮します。現在の作業状態は保存されません。保存されていないデータは消失します。
開始	[スタート]、[シャットダウン]、[シャットダウン]の順にクリックします (推奨)。 または 電源ボタンをスライドし、そのまま4秒間待ちます。 または 電源ボタンを設定します (ハイバネートモードと同様)。
復帰	電源スイッチを左にスライドすると、新しい作業を開始します。復帰には数秒かかります。

システムが応答しなくなり、これまで説明した方法で電源をオフにできなくなった場合でも、正常な状態に戻す方法があります。24ページの「コンピュータをリセットする」を参照してください。

電源の管理のプロパティを設定するには

1. [スタート]、[設定]、[コントロールパネル]の順にクリックします。
2. Windows 98の場合、[電源の管理]をダブルクリックします。Windows 2000およびWindows MEの場合は、[電源オプション]をダブルクリックします (詳細はWindows ヘルプおよびサポートを参照してください)。
3. タイムアウト時間を設定します ([なし]を選択することも可能ですが、ハイバネートモードでは推奨しません)。
4. [OK]をクリックします。

バッテリーを使用する

HP ノートブック PC はバッテリー電源で長時間の作業が行えますが、バッテリーが消耗した場合は作業内容を保存し、シャットダウンを行ってください。バッテリー電源での作業可能時間を最大限にするには、この章に記載されたアドバイスに従ってください。

バッテリーの充電状況を確認する

バッテリーのステータスランプで確認する



バッテリーのステータス ランプは次のような状態を示します。

緑色	AC アダプタに接続 -充電完了
オレンジ色	AC アダプタに接続 -充電中
赤色	AC アダプタに接続 -充電不可能(異常)

Windows タスクバーで確認する

Windows タスクバーのシステムトレイにある[電源]アイコンから、詳しいバッテリーの状態を知ることができます。ACアダプタが接続されていないとき、アイコンはバッテリーの形をしています。

- [電源]アイコンの上にマウスポインターを置くと、残り時間が%で表示されます。
- [電源]アイコンをマウスの右ボタンでクリックすると、表示可能な電源情報のオプションが表示されます。
- [電源]アイコンをマウスの左ボタンでクリックすると、使用可能な電源スキームのメニューが表示されます。

ステータス パネルで確認する

ステータス パネルのモード ボタンを繰り返し押しすると、[バッテリー]アイコンと充電残量の%が表示されます。

バッテリー残量警告が出たときは

本機は、バッテリーの残量が非常に少なくなると、自動的に警告を発します。まず高音の警告音が鳴ります。それに対してすぐに処理を行わないと、次に本機はハイバネートモードに入ります。

このような状態になると、電源が回復するまで本機の電源をオンにすることはできません。次のいずれかの方法で対処してください。

- ACアダプタを接続する (21ページの「AC電源を接続する」を参照)。
または
- バッテリーを充電済みのものに交換する (20ページの「バッテリーを取り付ける」を参照)。

注記

ACアダプタに接続していれば、バッテリーの充電中でも作業を続けることができます。

コンピュータの携帯 バッテリーを使用する

バッテリーの持続時間をのばす

- ACアダプタに接続してください(とりわけ、電力消費量の多いCD-ROM/DVDドライブ、フロッピーディスクドライブを使用している時、あるいはPCカードやモデムで外部に接続している時)。
 - ネットワークカードなど、外部接続するPCカードが接続されている場合、使わないときは、カードを取り外しておいてください。I/Oカードは動作していないときでも、大量の電力を消費します。
 - シリアルポートまたはPCカードを使うアプリケーションを使っている場合は、作業を終了したらアプリケーションを閉じてください。
 - 使用しないときはCDプレーヤの電源を切ってください。
 - 本機を使用していないときに電源を節約する方法の詳細については、50ページの「節電機能」を参照してください。
-

SpeedStepを使ったプロセッサ速度の制御

Intel SpeedStep Technology 付き高速 Pentium III プロセッサを搭載しているモデルでは、プロセッサ速度を制御する設定を変更できます。タスクバーに [Intel SpeedStep Technology] アイコン (チェッカーフラグ) があれば、お使いのコンピュータでこの機能を使用できます。

出荷時の設定では、プロセッサ速度は電源 (AC アダプタまたはバッテリー) によって自動的に切り換わります。低速では電力がより効率的に使用されるため、コンピュータがバッテリー電源で動いている場合、通常は低速が使用されます。

SpeedStepを使った自動速度変更

- ACアダプタを接続したコンピュータを再起動すると、プロセッサは高速で起動します。コンピュータがバッテリー電源を使用する場合は、プロセッサは低速で起動します。
 - コンピュータの使用中有りいはサスペンド中に AC アダプタの接続を外すと、プロセッサは低速に切り換わります。
 - コンピュータの使用中有りいはサスペンド中に AC アダプタを接続すると、プロセッサは、高速に切り換わります。
-

SpeedStep を使った速度設定の変更

- 起動時のプロセッサ速度を設定したり、デュアル スピード機能を無効にしたりするには、Bios Setup の [Power] メニューで [Intel SpeedStep Technology] 設定を変更します。BIOS Setup の実行方法については、88ページの「BIOS Setup ユーティリティの実行」を参照してください。
- Windows の作動中にプロセッサ速度を設定するには、タスクバーの [Intel SpeedStep Technology] をダブルクリックするか、[コントロール パネル] の [電源の管理] アイコンを使用してください。

接続

モデムの使用

モデムを電話回線に接続することにより、世界中のコンピュータと通信することができます。たとえば、インターネットを楽しんだり、電子メールを送受信したり、ファックスの送受信を行ったりすることが可能になります。HP ノートブック PC には、次のモデム用のソフトウェア プログラムが付属しています。

- Internet Explorer : Web サイトの閲覧に使用します。
- Outlook Express : 電子メールの送受信に使用します。
- QuickLink III : ファックスの送受信に使用します (Windows 98 および Windows ME)。
- Fax : ファックスの送受信に使用します (Windows 2000)。

HP ノートブック PC の一部のモデルには、V.90 高速モデムが付属しています。このモデムを経由して、V.90 対応モデムを持つ ISP (インターネット サービス プロバイダ) との通信が行えます。V.90 をサポートする電話番号については、ISP にお問い合わせください。

ファックスの最大転送速度は 14.4Kbps です。内蔵モデムの転送速度が 56Kbps でも、ISP によってはこの速度で運用していないこともあります。詳細については、ISP にお問い合わせください。ダウンロードの転送速度は、電話回線の使用状況によって異なります。

モデムを内蔵していないモデルの場合 (あるいは別のモデムを使用したい場合) は、PC カード モデムを取り付けたり、シリアルポートに外付けモデムを接続することができます。

安全に関する重要情報

注意

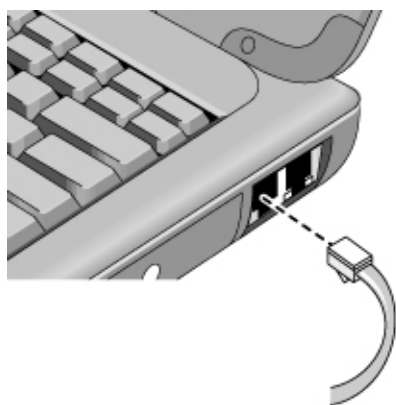
火災の発生を防ぐため、モデムを電話ジャックに接続する際には、AWG の 26 番、あるいはそれより大きいサイズの電話線を使用してください。

本機を電話回線に接続して使用する場合は、常に以下のような基本的な安全対策をとり、火災や電気ショック、人体の負傷が発生する危険性を削減してください。

- 付近に水気のある場所 (例：浴槽、流し、プール、湿気のある地下室など) では、本機を電話回線に接続した状態で使用しないでください。
- 雷雨時は、コードレス タイプ以外の電話機には接続しないでください。雷による間接的な電気ショックが発生する可能性があります。
- ガス漏れ中は、その報告のために付近で電話回線に接続することはおやめください。
- 電源ケーブルおよびバッテリーは、本書に記載のもののみをお使いください。バッテリーは火中に投げないでください。爆発の可能性があります。廃棄方法については、地域の規則をご確認ください。

モデムに接続する

1. 電話回線がアナログ回線 (データ回線) かどうか調べます。通常の間線は 2、3 または 4 線式です (デジタル回線は使用できません)。
2. RJ-11 プラグが付いたモジュラ ケーブルを内蔵モデム (または PC カード モデム/外付けモデム) に接続します。モジュラ ケーブルのプラグが電話ジャックのサイズに合わない場合、アダプタを購入する必要があります。モデムを電話ジャックに接続する際は、AWG の 26 番、あるいはそれよりも大きいサイズの電話線を使用してください。



接続 モデムの使用

使用制限 (一部の国のみ)

- フランス : MiniTel システムにアクセスする場合、MiniTel エミュレータ ソフトウェアが必要です。本機をフランス国内で購入した場合、TimTel Light ソフトウェアが付属しています。TimTel Light が付属していない場合、エミュレータ ソフトウェアを別に購入する必要があります。
- Loop Disconnect が認められていない国では、パルス ダイアル機能は使用できません。パルス ダイアルが使用できない場合は、トーン ダイアル接続をご使用ください。
- 多くの国では、モデムによるサービス プロバイダへの接続を繰り返し試み、接続できない場合、電話が一定時間、使用できなくなります。何回接続に失敗すると使用できなくなるか、また再び接続を試みるまでにどのくらい待たなければならないのかは、国により異なります。ご利用の電話会社にお問い合わせください。例えばイタリアでは、サーバへの接続に失敗したり、あるいは接続をキャンセルすると、同じ番号にダイヤルするには1分間待たなければなりません。1分間待たずにダイヤルすると、「遅延」のエラーメッセージが出されます。接続を4回失敗すると、同じ番号にダイヤルするには1時間待たなければなりません。1時間待たずにダイヤルすると、「ブラックリスト」というメッセージが出されます。
- 南アフリカ共和国でモデムを使用する時は、落雷やその他のサージによるコンピュータの破損を防ぐために、外付けのサージプロテクタが必要です。モデムを使用するには、必ずモデム ケーブルに適正なサージプロテクタを接続してください。

インターネットに接続する

ISP (インターネット サービス プロバイダ) 登録が終了していない場合は、24ページの「インターネット サービスプロバイダへの接続」を参照してください。

ISP 登録の終了後、インターネットに接続できます。次のいずれかを選択してください。

- AOL をすでにご利用の場合は、デスクトップの AOL アイコンをダブルクリックします。
- その他の ISP をご利用の場合は、デスクトップの [Internet Explorer] アイコンをダブルクリックし、次に [ダイヤルアップ接続] ウィンドウで [接続] をクリックします。

インターネットに正常に接続すると、タスクバーの時間表示の隣に接続アイコン (コンピュータ 2 台が接続されているアイコン) が表示されます。これでインターネットを使用する準備が整いました。Web サイトにアクセスする場合は、ブラウザの [アドレス] フィールドに目的のサイトのアドレス (例 <http://www.hp.com>) を入力します。Web 上で情報を検索したい場合は、ブラウザの検索ボックスに探したい語句を入力します。

AOL を ISP として使用する

AOL をインターネット サービス プロバイダとして使用すると、インターネットへは AOL のソフトウェアでしかアクセスできません。つまり Internet Explorer のような標準ブラウザが使用できなくなり、結果として次のようになります。

- リンクをクリックしても Web サイトを表示できない (例えば HP ノートブック Web サイトにリンクしている、オンラインの『リファレンス ガイド』など)。
- [エクスプローラ] にアドレスを入力しても Web サイトを表示できない

AOL ソフトウェアを使用しないでインターネットにアクセスしようとすると、[インターネット接続ウィザード] が自動的に起動し、ISP 登録を行うかどうかプロンプトされます。プログラムを終了して AOL を起動してください。

ISP の追加情報については、同梱の「Microsoft オペレーティング マニュアル」あるいは Windows ヘルプを参照してください。

接続 モデムの使用

インターネットとの接続を切る

インターネットとの接続は、コンピュータをシャットダウンしたり、コンピュータと電話回線の接続を切ったり、あるいは接続停止コマンドを実行するまで存続します。

- AOL との接続を切るには、[Sign Off] メニューを使用してください。
- その他の IPS との接続を切るには、タスクバーの時間表示の隣に表示されている [接続] アイコン(2 台のコンピュータで表したアイコン)をダブルクリックし、[切断] をクリックします。

ダイヤルアップでネットワークに接続する

モデムを使って、ダイヤルアップ接続をサポートする LAN (ローカルエリア ネットワーク) に接続することができます。LAN 接続により、遠隔地から社内ネットワーク リソースへのアクセスが可能になります。

- ダイヤルアップ接続の設定と使用方法については、Windows のヘルプを参照してください ([スタート]、[ヘルプ] をクリックします)。

モデムの設定を変更する

本機のモデムはほとんどの地域の電話システムおよびモデムと互換性があるように、あらかじめ設定されています。ただし、場合によっては、地域の状況などに応じて設定の変更が必要になる場合があります。国、または地域の条件、規制などについては、最寄りの電話会社までお問い合わせください。

- **コントロールパネル** : コントロールパネルの [モデム] (Windows 98 あるいは Windows ME の場合)、または [電話とモデムのオプション](Windows 2000 の場合) を開いて、モデム設定を変更します。

Windows 98 および Windows ME の場合、[全般] タブの [プロパティ] で、接続速度や接続形式を設定できます。

Windows 2000 の場合、[モデム] タブの [プロパティ] で接続速度を設定したり、[ダイヤル情報] タブの [編集] で、接続形式を設定したりできます。

- **通信用ソフトウェア**：通信用ソフトウェアにもモデム設定を制御するオプションが用意されています。詳細は、ソフトウェア付属のヘルプを参照してください。
- **AT コマンド**：モデム AT コマンドを使用すると、様々なモデム機能を設定できます。AT コマンドはモデムに特殊な文字列を送信し、用途ごとの状況をセットアップします。通常、コマンドの先頭に“AT”の文字を付けて入力します。内蔵モデム用 AT コマンド一覧については、148ページの「モデム コード一覧」を参照してください。

Windows 98 および Windows ME の場合、[コントロールパネル] の [モデム] を開きます。[全般] タブの [プロパティ] をクリックし、続いて [接続] タブの [詳細] をクリックします。追加設定のボックスに AT コマンドを入力します。

Windows 2000 の場合、コントロールパネルの [電話とモデムのオプション] を開き、[モデム] タブの [プロパティ] をクリックします。[詳細] タブの追加設定ボックスに AT コマンドを入力します。

例えば、内蔵のモデムを V.34 変調方式で接続したい場合は、AT コマンド表に示すように +MS コマンドを使用します (追加文字列用のスペースに AT+MS=11 と入力します)。

電子メールの送受信

電子メールの送受信の手順は、インターネット プロバイダによって異なります。AOL をご使用の場合は、電子メールは AOL 専用ソフトウェアに含まれています。その他の ISP では、Outlook Express (本機に付属) またはお好みの電子メールシステムをご利用ください。ここでは、Outlook Express による送受信の方法について説明します

Outlook Express を起動するには

1. デスクトップの [Outlook Express] アイコンをダブルクリックします。Windows 2000 の場合は、[スタート]、[プログラム]、[Outlook Express] の順にクリックします。
2. インターネットに接続していない場合、[ダイヤルアップ接続] ウィンドウが表示されます。[接続] を選択してインターネットに接続します。

接続 モデムの使用

電子メールを送信するには

1. Outlook Express を起動します。
2. ツールバーの [新規作成] をクリックします。
3. [メッセージの作成] ウィンドウにメッセージを書き込みます。
4. 完了したら、[送信] ボタンをクリックします。

電子メールを受信するには

1. Outlook Express を起動します。
2. ツールバーの [送受信] をクリックし、新しいメッセージをダウンロードします。
3. [受信トレイ] をクリックすると、メッセージが一覧表示されます。未読メッセージが画面に太字で表示されます。
4. 表示したいメッセージをクリックします (別のウィンドウでメッセージを表示するにはダブルクリックします)。

ファックスの送受信 (Windows 98 および Windows ME)

ファックスの送受信には、電話回線だけが必要です。インターネット接続は必要ありません。ファックスの送受信には、モデムとファックス通信ソフトを使用します。本機には、ファックス通信ソフトの QuickLink III が、Windows 98 および Windows ME と共にプリインストールされています。

QuickLink を起動する

Windows 98 あるいは Windows ME では

- [スタート]、[プログラム]、[QuickLink III]、[QuickLink III] の順にクリックします。

QuickLink を最初に起動する時、セットアップ ウィザードが表示され、使用目的に合わせてオプションを設定し、プログラムをカスタマイズする手順を示します。画面の指示に従ってください。選択すべき設定がわからない場合は、既定値を選択してください。

ファックスの送信

Windows 98 あるいは Windows ME では

1. QuickLink を起動し、ツールバーの [QuickFax] をクリックします。
2. ファックス番号と、受信者の名前および会社名を入力します。
3. QuickFax の [Note] に、メッセージの本文を入力します。
4. [ファックスの送信] をクリックします。

文書をファックスで送信する場合は、アプリケーションのウィンドウで文書を開き、[印刷] ダイアログ ボックスを開きます。プリンタを QuickLink III に変更し、文書を印刷します。

ファックスの受信

Windows 98 および Windows ME では、QuickLink のウィンドウが開いていると(最小化された状態でも)、ファックスを自動的に受信します。新しく受信したファックスは、QuickLink ウィンドウのステータス ボックスに表示されます。手動でファックスを受信するには、以下の手順に従ってください。

1. ファックスが着信したら、メニューバーの [スタート] をクリックします。
2. [手動ファックス受信] をクリックします。

ファックスの表示および印刷

Windows 98 あるいは Windows ME では、

1. QuickLink を起動し、ツールバーの [ファックス ビューア] をクリックします。
2. ファックスを直ちに表示するには、[はい] をクリックします。
3. ファックスを印刷するには、プリンタのアイコンをクリックします。

ファックスの送受信(Windows 2000)

ファックスの送受信には、電話回線だけが必要です。インターネット接続は必要ありません。ファックスの送受信には、モデムとファックス通信ソフトを使用します。Windows 2000 には、ファックス通信ソフトが含まれています。

接続 モデムの使用

ファックスの設定

Windows 2000 では、

1. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル]、[ファックス] の順にクリックします。ファックス情報を入力します。
2. [詳細設定] タブで、ファックス プリンタを加えます。
ファックスを受信しない場合は、ここで終了します。
3. [詳細設定] タブで、[ファックス サービス管理] ウィンドウを開きます。
4. [ファックス] のリストで、[デバイス] をクリックし、モデムを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
5. [一般] タブで、ファックスを受信するモデムを有効にします。
6. [受信ファックス] タブで、ファックスをフォルダに保存するオプションを選択します。

ファックスの送信

Windows 2000 では、

- [スタート]、[プログラム]、[アクセサリ]、[通信]、[ファックス]、[送付状ファックスを送信] をクリックします。ファックスの作成と送信は指示に従ってください。

文書をファックスで送信する場合は、アプリケーションのウィンドウで文書を開き、[印刷] ダイアログ ボックスを開きます。プリンタをファックス プリンタに変更し、文書を印刷します。

ファックスの受信、表示、印刷

Windows 2000 では、モデムをファックス受信可能に設定すると、自動的にファックスを受信します。

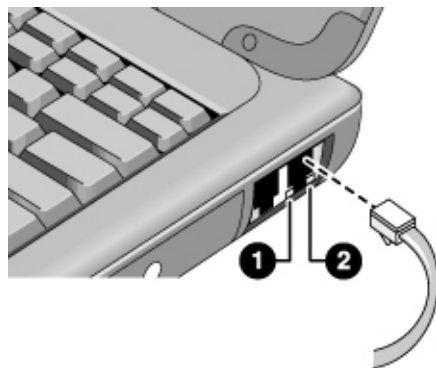
1. [スタート]、[プログラム]、[アクセサリ]、[通信]、[ファックス]、[マイ ファックス] をクリックします。
2. [受信ファックス] フォルダで、目的のファックスをダブルクリックします。
3. 印刷するには、[ファイル]、[印刷] をクリックします。

LAN への接続

本機に LAN ポートが装備されている場合、このポートを使用して LAN (ローカルエリア ネットワーク) に接続することができます。LAN に接続すると、社内ネットワーク上のプリンタやファイル サーバなどのネットワーク リソースから、場合によってはインターネットまで、幅広くアクセスできるようになります。

LAN に接続する

1. 既存の LAN が Ethernet 10Base-T (10 Mbps) または 100Base-TX (100 Mbps) に対応していることを確認します。
2. LAN ケーブル (付属品外) を内蔵の LAN ポートに差し込みます。ケーブルは RJ-45 コネクタ付きのものを使用します。



3. Windows 2000 では LAN 接続の検出とセットアップが自動的に行われます。
Windows 98 あるいは Windows ME の場合、[コントロールパネル] の [ネットワーク] を開いて、ネットワーク上で LAN 接続に対応するように設定します。例えば、Microsoft TCP/IP プロトコルを追加します。

LAN 接続の設定と使用方法については、Windows ヘルプ ([スタート]、[ヘルプ] の順にクリック) あるいは Microsoft マニュアルを参照してください。

ネットワークの詳細は、ネットワーク管理者あるいは ISP プロバイダまでお問い合わせください。

LAN ポート横のランプはそれぞれ接続状況を示します (上図を参照)。

1. 黄色のランプ : ネットワーク アクティビティを表示します。
2. 緑色のランプ : ネットワーク接続が確立していることを示します。

PCカードの接続

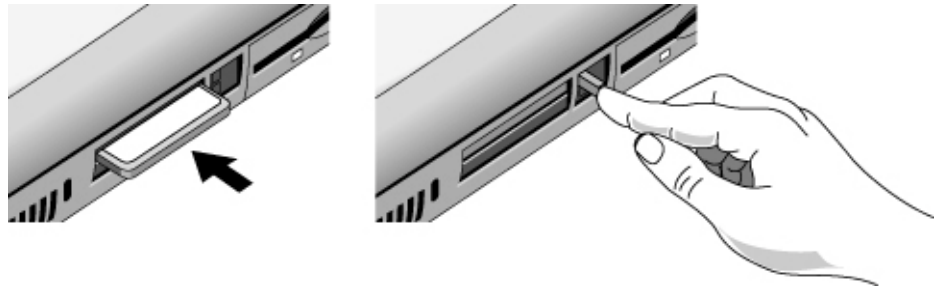
2つのPCカードスロットを使用して、データを保存したり、通信機能を拡張したりすることができます。本機では標準 Type I、II および III の PC カード (PCMCIA と CardBus) をサポートしています。2つのスロットのうち1つだけ使用することも、両方使用することもできます。

警告

コンピュータがデータの読み込みまたは書き込みをしている間に PC カードを取り出さないでください。データを消失したり、コンピュータが応答しなくなるおそれがあります。

PC カードを装着する

1. おもてを上にして、コネクタ側をカード スロットに向けてカードを持ちます。
2. PC カードの前縁がコンピュータ本体と同じ高さになるまで、PC カードを上/下いずれかのスロットの奥に差し込みます。



PC カードを取り外すには

1. PC カードの停止
 - 画面右下部の[PC カード]アイコンをダブルクリックします。
 - [PC カードのプロパティ]で、停止する PC カードを選択します。
 - [停止]をクリックします。
2. 取り出しボタンを押すと、ボタンがコンピュータの側面から飛び出します。
3. 取り出しボタンを押し込み、PC カードを取り出します。

再開後にネットワーク接続を回復するには

ネットワーク PC カードを使用する場合、操作を再開したときにネットワーク接続が切れていることがあります。そのような場合には、次の操作を行ってください。

1. ネットワーク PC カードを停止する
 - 画面右下部の [PC カード] アイコンをダブルクリックします。
 - [PC カードのプロパティ] で、ネットワーク カードを選択します。
 - [停止] をクリックします。
2. 取り出しボタンを押すと、ボタンがコンピュータの側面から飛び出します。
3. 取り出しボタンを押し込み、ネットワーク カードを取り出します。
4. ネットワーク接続を回復するには、カードを再び挿入します。

外部コンポーネントの接続

プリンタ、マウス、モニタ、キーボードなど外部コンポーネントは、本機に直接接続することも、オプションのポートリプリケータに接続することもできます(ドッキングコネクタ付属のモデル)。

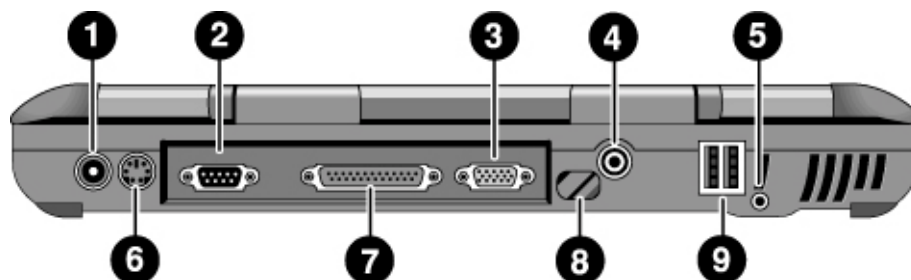
ポートの種類

本機背面またはポートリプリケータのポートを使って、以下の外部コンポーネントを接続できます。表中の番号は、次の図中の番号に対応しています。

コンポーネント	ポートの位置	
	ノートブック PC	ポートリプリケータ (特定モデルのみ)
オーディオ入力	—	10
赤外線対応デバイス (特定モデルのみ)	8	—
マイク	5	11
モデム(シリアル)	2	5
モニタ	3	7
プリンタ(パラレル)	7	6
プリンタ(シリアル)	2	5
PS/2 キーボード	6*	3
PS/2 マウス	6*	2
スピーカ	—	12
テレビ	4	8
USB デバイス	9	9

*Yアダプタ(HP F1469A)を使用すれば、キーボードとマウスを両方コンピュータに接続できます。

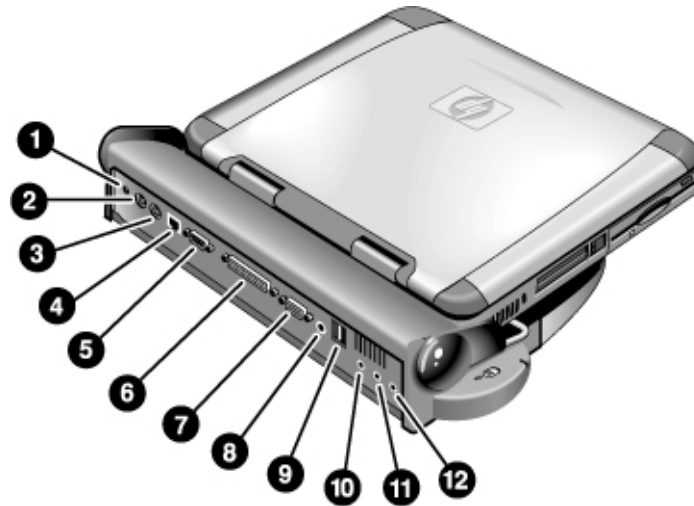
ノートブックのポート



- 1 ACアダプタ ジャック
- 2 シリアル ポート
- 3 VGA ポート (外部モニタ)
- 4 テレビ出力
- 5 マイク入力ポート
- 6 PS/2 ポート
- 7 パラレル ポート
- 8 赤外線ポート (特定モデルのみ)
- 9 USB ポート

接続
外部コンポーネントの接続

ポート リプリケータのポート (特定モデルのみ)



- 1 ACアダプタ ジャック
- 2 PS/2 マウス ポート
- 3 PS/2 キーボード ポート
- 4 LAN ポート (ネットワーク用)
- 5 シリアル ポート
- 6 パラレル ポート
- 7 VGA ポート (外部モニター)
- 8 テレビ 出力
- 9 USB ポート (2)
- 10 オーディオ入力
- 11 マイク入力ポート
- 12 オーディオ出力 (外部スピーカ)

プリンタ (または他のパラレル デバイス) を接続する

本機のパラレルポートは、ドットマトリックス、インクジェット、レーザープリンタの接続に広く使われている、標準 25 ピンコネクタを使用しています。また、パラレルの Zip ドライブの接続にも使用できます。

- パラレルプリンタ ケーブルまたはその他のパラレル ケーブルを、パラレルポートもしくはポートリプリケータに接続します。

注記

パラレルポートに Zip ドライブを接続する場合は、Zip ドライブに付属のアクセラレータソフトウェアをインストールすると、パフォーマンスを向上させることができます。

外部キーボードまたは PS/2 マウスを接続する

6 ピンの PS/2 ポートを使用して、外部キーボードや PS/2 互換マウスをコンピュータに接続することができます。外部 PS/2 マウスが接続されている場合、通常タッチパッドは使用不可になります。本機には PS/2 ポートが 1 つ、オプションのポートリプリケータには 2 つあります。

- マウスまたはキーボードの PS/2 ケーブルをコンピュータの PS/2 ポートに差し込みます。あるいはポートリプリケータの PS/2 ポートの片方または両方に、PS/2 ケーブルを差し込みます。
- マウスとキーボードの両方を接続するには、別売りの PS/2 Y アダプタを使用します。
- PC タイプのジャックを持つデバイスを接続するには、まずそのケーブルを PS/2 ジャックが付いているアダプタ ケーブルに接続します。

注記

外部キーボードからホットキーを使用する際は、コンピュータの [Fn] キーのかわりに、外部キーボード左側の [Ctrl] + [Alt] キーを使用します。例えば、[Fn]+[F2] のホットキー機能を使用するには、左[Ctrl]+左[Alt]+[F2] を押します。

接続 外部コンポーネントの接続

USB デバイスを接続する

USB (ユニバーサル シリアル バス) は、ゲーム コントローラ、シリアルおよびパラレル ポート、スキャナなどの周辺機器をシングルバス上に追加するための双方向シリアルインタフェースです。本機には USB ポートが 2 つあり、オプションのポート リプリケータにも 2 つあります

- USB ケーブルをコンピュータあるいはポート リプリケータの USB ポートに接続します。Windows では、USB デバイスは自動的に認識されます。

USB デバイスの中には、コンピュータと他の USB デバイスに直列で接続できるものもあります。このような接続方法は、「デジチェーン」と呼ばれます。

注記

USB 接続を行う上で問題がある場合は、最新バージョンの USB ドライバを HP Web サイトや周辺機器の販売元から入手してください。

オーディオ デバイスを接続する

青色のスタンバイ ボタンの下部に、マイクが内蔵されています。これを使用して、音声、サウンド、音楽などを録音することができます。また、CD プレーヤや外部マイクなどの音源を接続したり、外部スピーカやヘッドホンなどのオーディオ出力機器を接続したりできます。

- オーディオ ケーブルは、対応するポートに接続してください。コンピュータあるいはオプションのポート リプリケータには、オーディオ入力ポート、オーディオ出力ポート、マイク入力ポートがあります。「ポートの種類」を参照してください。

注記

デバイスをマイク入力ポートに差し込むと、内蔵マイクは自動的にオフになります。デバイスをスピーカ出力ポートに差し込むと、内蔵スピーカは自動的にオフになります。

赤外線対応デバイスを使用する

(特定モデルに付属) HP ノートブック PC と赤外線対応デバイスの間で、ケーブルを使用せずに通信が行えます。

赤外線通信ポートを使用可能にする

注記

赤外線ポートを使用してファイル転送を行ったり、赤外線対応プリンタに出力したりするには、BIOS で赤外線ポートを使用可能に設定する必要があります。

1. コンピュータを再起動します。
2. HP ロゴが表示されたら、[F2] を押します。
3. [System Devices] メニューを選択します。
4. [Infrared Port] を [Enabled] に設定します。
5. [Mode] を [FIR(高速赤外線)] に設定します。赤外線 (IR) 通信を有効にすると、デフォルトで選択される IR モードは [FIR] です。
6. DMA チャンネルがパラレルポートの DMA チャンネルと競合する場合、[Parallel port Mode] を [EPP] に変更してください。
7. 変更した値を保存し、終了して、再起動処理を続けます。
8. 次の起動時に、赤外線対応ハードウェアが Windows に検出され、適切なドライバが自動的にインストールされます。

赤外線接続をセットアップする

本機の背面には、赤外線ポートが1つあります。赤外線ポートを使うと、本機と他の赤外線ポート付き機器 (プリンタ、他のコンピュータなど) との間で、ワイヤレスのシリアル通信を行えます。

- ノートブック PC と通信相手の赤外線ポートができるだけまっすぐに向かい合うように並べてください。2つのポート間は1メートル以上離さないように、また間には何も障害物がないようにしてください。近くの電子機器から発生するノイズにより送信エラーが起こる場合があります
- Windows 98 で通信状況を確認するには、[赤外線モニタ] をオープンします。Windows 2000 および Windows ME では、[Wireless Link] をオープンします。いずれも[スタート]、[設定]、[コントロールパネル]の順にクリックしてください。赤外線通信が使用可能になっていなければ、ここで使用可能にできません。アプリケーションのヘルプを参照してください。

接続

外部コンポーネントの接続

赤外線対応プリンタで印刷する

Windows 2000 および Windows ME では、本機とプリンタの IR ポートを向かい合うように並べると、対応ドライバが自動的にロードされます。画面の指示に従って操作すれば、印刷できます。

Windows 98 では、プリンタ ドライバをインストールし、通常なら LPT3 に割り当てるところを、ノートブック PC の赤外線印刷 (LPT) ポートに割り当てる必要があります。[スタート]、[設定]、[プリンタ]、[プリンタの追加] をクリックし、画面の指示に従ってください。

プリンタをすでにパラレル ポートに割り当てている場合は、[プリンタの追加] で同じプリンタを赤外線ポートに割り当てます。Windows では使用中のものと同じプリンタ ドライバを、赤外線ポートにも割り当てることができます。

パラレル ポートに接続されたプリンタで印刷するのと同じ方法で、アプリケーションから赤外線対応プリンタで印刷することができます。赤外線対応プリンタを既定のプリンタとして設定するか、アプリケーションから印刷する際に使用プリンタとして選択してください。本機とプリンタの赤外線ポートがまっすぐ向かい合うように設置されていることを確認してください。

赤外線接続でファイルを転送する

IR ポートからファイルを転送するには、転送するファイルの名前またはアイコンを右クリックし、[送信先]、[赤外線受信] をクリックします。Windows 2000 と Windows ME では、ノートブック PC が他の IR デバイスと向かい合っただけで、赤外線受信が検出された時のみ、[赤外線受信] が表示されます。

より高いパフォーマンスのファイル転送を行うために、Windows 98 に組み込まれた Direct Cable Connection ソフトウェアや、Windows 2000 および Windows ME に組み込まれた Wireless Link ソフトウェアが使用できます。

Windows 98 では、Direct Cable Connection を先にインストールする必要があります。

1. [コントロールパネル] から [アプリケーションの追加と削除] をクリックします。
2. [Windows ファイル] の [通信] タブを開き、[ケーブル接続] を選択します。

Direct Cable Connection や Wireless Link ソフトウェアの使用法については、Windows のオンライン ヘルプを参照してください。

外部モニターを使用する

コンピュータと外部モニターを接続し、どちらか一方あるいは両方のディスプレイを使用することができます。

外部モニターを接続するには

1. [スタート]、[シャットダウン]、[シャットダウン]、[OK] の順にクリックします。
2. 外部モニターに接続されたモニターケーブルを、コンピュータの背面、またはポートリプリケータ (オプション) の VGA ポートに接続します。
3. 外部モニターの電源ケーブルを接続して、電源をオンにします。
4. 電源スイッチをスライドし、コンピュータの電源をオンにします。

表示を外部モニターに切り替えるには

- コンピュータを閉じます。
または
- [Fn]+[F5] (外部キーボードの場合は、左[Ctrl]+左[Alt]+[F5]) を押して、ノートブック PC ディスプレイ、外部モニター、両方の 3 通りの表示オプションを切り替えます。

モニターの解像度を調整するには

1. [スタート]、[設定]、[コントロールパネル]、[画面] の順にクリックします。
2. [設定] タブで、[画面の領域] を調整します

デュアルディスプレイモードを使用するには (Windows 98 および Windows ME)

ノートブック PC に外部モニターを接続して、デスクトップを拡大することができます。

デュアルディスプレイモードを使用するには、本機の画面を次の表のように設定しておく必要があります。これらの設定を行うには、[スタート]、[設定]、[コントロールパネル]、[画面]、[設定] タブの順にクリックします。

接続

外部コンポーネントの接続

ノートブック PC の画面	画面の領域	色
12 インチ TFT または 13 インチ HPA	800×600 ピクセル	256 色または High Color (16 ビット)
13 インチ、14 インチ または 15 インチ	800×600 ピクセル または 1024×768 ピクセル	256 色または High Color (16 ビット) または True Color (24 ビット)

1. ノートブック PC のディスプレイを、上の表に従って設定します (ディスプレイの設定方法は、モデルによって異なります)。
2. [スタート] ボタンをクリックし、[シャットダウン] を選択します。
3. 外部モニタに接続されたモニタ ケーブルを、コンピュータの背面またはポートリプリケータの VGA ポートに接続します。
4. 外部モニタを電源に接続して、オンにします。
5. コンピュータの電源スイッチをスライドし、電源をオンにします。システムが 2 つめのモニタを認識し、正しいディスプレイ ドライバをロードします。画面の指示に従ってください。
6. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル]、[画面]、[設定] タブの順にクリックします。外部モニタをノートブック PC のとなりに置いて位置を調節します。
7. [Windows デスクトップをこのモニタに拡張する] チェック ボックスがチェックされていることを確認します。

ディスプレイ 2 を選択すると、外部モニタの [画面の領域] と [色] の設定を変更できます。これらの設定は、ノートブック PC の画面設定とは異なる設定にもできます。

テレビをモニタとして使用する

コンピュータをテレビに接続し、テレビをディスプレイとして使用することができます。モデルによっては、テレビを使用するとき、本機の液晶ディスプレイはアクティブのままです。

テレビに接続する

1. テレビに接続されたビデオ ケーブル (75 オーム、互換性のある RCA プラグ付き) を、コンピュータの背面またはポートリプリケータのテレビ出力ポートに接続します (コンピュータの電源をオフにする必要はありません)。
2. コンピュータのヘッドホン オーディオ ジャック (3.5mm または 1/8 インチのステレオ プラグを使用) と、テレビの左右のオーディオ ジャック (RCA プラグを使用) を、オーディオ ケーブルで接続します。
3. テレビを電源に接続し、電源をオンにします。

テレビ ディスプレイの表示と調整

- DVD プレーヤを起動中の場合は、テレビ ディスプレイをアクティブにする前にプレーヤをオフにします。
- タスク バーのシステム トレイにある [テレビ] アイコンをクリックして、オプションのリストから [テレビ] を選択します。コンピュータのディスプレイが 640x480 に変わります。
- テレビのオプションのリストで、テレビの画像の中央表示や、画像の位置調整を選択できます。

詳細な設定をする

1. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル]、[画面] の順にクリックします。
2. [設定] タブを選択し、[詳細] ボタンをクリックします。
 - Trident Video をご使用の場合は [テレビ] タブを選択します。テレビ画像の詳細な設定ができます。
 - S3 Video をご使用の場合は、[S3DuoVue] タブを選択して [テレビ] をクリックすると、詳細な設定を行うことができます。テレビのオプションがグレー表示になっている場合は、オンにしたテレビをコンピュータに接続したままで再起動します。
3. モデルによってはテレビの方式が自動的に検出されます。正しく検出されない場合は、[ディスプレイ デバイス] タブで正しいタイプを選択してください。北米および南米は NTSC 方式 (アルゼンチンとブラジルを除く)、日本、韓国、台湾は NTSC/Japan 方式、その他の多くの国では PAL 方式が採用されています。

接続

外部コンポーネントの接続

これ以外のモデルでは、BIOS Setup ユーティリティの [Main] メニューで、テレビのタイプを変更する必要があります。この場合は、コンピュータを再起動し、HP ロゴが表示されたら [F2] を押して BIOS Setup ユーティリティを起動します。

テレビを無効にするには

テレビモードを無効にする方法は、ノートブック PC のモデルによって異なります。

コンピュータを通常の液晶画面 (LCD) モードに戻すには、システムトレイの [テレビ] アイコンをクリックし、その後、モデルによって次のいずれかを行います。

- [LCD] をクリックします。
- [テレビのオプション] をクリックして解除します。

注意

[モニタ] または [ディスプレイ] アイコンのポップアップメニューから [終了] を選択すると、システムトレイからアイコンが消去されます。この場合、前述のように [コントロールパネル] からアクセスして、テレビ設定を行うことができます。

[テレビ] アイコンを再び表示するには、コンピュータを再起動します。

ポートリプリケータを使用する

(ドッキングコネクタ付属のモデルのみ) オプションのポートリプリケータを使用すれば、リプリケータに外部コンポーネントをすべて接続できるため、外出するたびに外部コンポーネントを取り外し、再接続する必要がなくなります。ポートリプリケータの詳細については、付属のマニュアルを参照してください。

注記

ポートリプリケータには専用 AC アダプタがついておりません。ポートリプリケータを電源に接続するには、本機に付属の AC アダプタを使用して本体と一緒にを行います。

ポートリプリケータを接続するには

1. AC アダプタを電源コンセントとポートリプリケータ背面に接続します。AC ステータスランプが点灯していることを確認します。

2. コンピュータをポートリプリケータに突き出た設置ピンと合わさるように持ちます



3. カチッというまでコンピュータをピンに差し込みます。ドックのステータスランプが点灯したことを確認します。
4. コンピュータを開き、電源スイッチを左にスライドして電源をオンにします。コンピュータの電源をオンにした後は、作動中も閉じておくことができます。

接続
外部コンポーネントの接続

ポートリプリケータを取り外すには

1. 下図のように、ポートリプリケータ右側のリリースタブを押し下げます



2. コンピュータを持ち上げて、ポートリプリケータから取り外します。

設定と拡張

BIOS Setup ユーティリティの実行

BIOS (Basic Input and Output System) Setup ユーティリティを使ってシステム構成を変更したり、コンピュータの動作を個々の作業ニーズに合うようにカスタマイズできます。

BIOS Setup ユーティリティで行う設定は、一般にハードウェアの制御方法に関するもので、本機の動作に大きな影響を与えます。

BIOS Setup ユーティリティを実行する

3. Windows をシャットダウンし、コンピュータを再起動します ([スタート]、[シャットダウン]、[再起動] の順にクリックします)。
4. HP ロゴが表示されたら、[F2] を押して BIOS Setup ユーティリティを起動します。
5. 必要なオプションを選択します。利用可能なオプションのリストは、136ページの「BIOS Setup ユーティリティのオプション」にあります。
6. 変更が終了したら、[F10] を押します (あるいは [Exit]、[Saving Changes]、[Exit] を選択します)。
7. 確認し、コンピュータを再起動するために [Enter] を押します。

設定が原因で、再起動の際にデバイス間の競合が生じた場合は、システムにより BIOS Setup の実行が要求され、競合している設定が表示されます。

BIOS Setup ユーティリティでは、ポインティング デバイスが使用できません。メニュー間を移動するには、右矢印キーや左矢印キーを押します。メニューのパラメータ間を移動するには、上矢印キーや下矢印キーを押します。作業中のパラメータの値を移動するには [F5] または [F6] を押し、設定を変更するには [Enter] を押します。

フロッピー ディスクあるいは CD-ROM から起動する

注記

HP ノートブックは、ハードディスクから起動するように構成されています。フロッピー ディスクあるいは CD-ROM から起動する場合は、BIOS Setup ユーティリティの [Boot] メニューでブート順を変更します。あるいは HP のロゴが表示された時点で [Esc] を押しても、起動時のブート ドライブを選択することができます。

RAM 拡張モジュールの取り付け

本機は、オプションの RAM 拡張モジュールを、2 つまで取り付けることのできるメモリ拡張スロットを装備しています。HP SDRAM モジュールをご使用ください。EDO RAM はサポートしておりません。拡張 RAM モジュールは同速以上のものご使用ください。PCI33 ソケットは PCI100 モジュールをサポートしていません。モジュールとマザーボードのソケットには、「PC100」または「PC133」のいずれかがマークされています。

注記

Windows 98 をご使用の場合は、拡張 RAM をインストールする前にハイバネートパーティションを拡張してください。ハイバネートパーティションのサイズ(デフォルトで 256MB)は、最低でもインストールされている RAM の総容量分が必要です(ハイバネートパーティションは、システムがハイバネートする前に、Windows の現在のセッションを保存するのに使用します)。

92 ページの「ハイバネートパーティションの拡張」を参照してください。ハイバネートパーティションを拡張するとハードドライブのデータがすべて消去されるため、必ず最初にデータのバックアップをとってください。パーティションを拡張後、Recovery CD から Windows を再インストールします。

本機のコンピュータチップは静電気に非常に敏感です。静電気によりコンピュータチップが破損するおそれがあります。以下の注意事項をよくお読みください。

注意

RAM モジュールを取り扱う時は、コネクタのない三辺以外は触れないでください。静電放電により、モジュールが破損することがあります。静電気は、コンピュータチップを修復不能に破損するおそれがあります。従って、メモリモジュールに触れたり、取り付けたりする前に、身体から静電気を放出することが大切です。コンピュータ後部にあるコネクタ周辺の金属シールドに触れて、身体から静電気を放出してください。

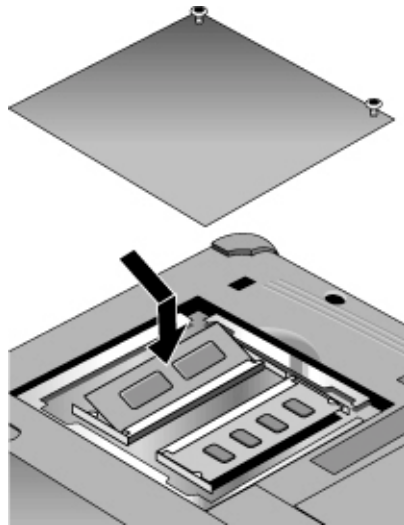
この作業には、小型のプラスドライバが必要です。

1. [スタート]、[シャットダウン]、[シャットダウン] の順にクリックします。
2. AC アダプタを取り外し、バッテリーを取り出します。

設定と拡張

RAM 拡張モジュールの取り付け

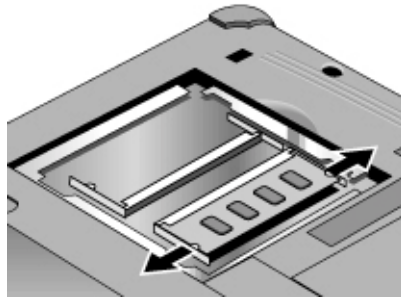
3. プラスドライバでネジを外し、コンピュータ底部の RAM カバーを取り外します。



4. RAM 拡張モジュールをコネクタに対して約 30 度の角度でしっかりと差し込みます。次に、両側のラッチがカチッと閉まるまでボードの両側を押します。ソケットに「PC100」とマークされている場合は、PC100 または PC133 のモジュールを取り付けます。「PC133」とマークされている場合は、PC133 のモジュールを取り付けます。
5. カバーを取り付けます。
6. バッテリーを装着します。

RAM 拡張モジュールを取り外す

まず、RAM カバーを取り外します。



1. RAM 拡張モジュール側面のラッチを外側にそっと押して開きます (モジュールの側面から離します)。モジュールの開口部が少し飛び出します。
2. RAM モジュールをコネクタから引き出します。ソケットのマークに注意して、互換性のあるモジュールに交換します。
3. RAM カバーを取り付けます。

ハイバネート パーティションの拡張

Recovery CD から起動することにより、ハイバネート用パーティションを作成できます。パーティション作成と復元作業には 10 分から 15 分ほどかかります。作業がすべて終了するまで、作業を途中で止めたり、AC アダプタを抜いたりしないでください。

注意

この手順ではハードディスク ドライブをフォーマットするため、ディスク上のデータはすべて削除されます。この作業を開始する前に、ハードディスク内のデータのバックアップをとってください。ハードディスク ドライブをフォーマットした後、アプリケーションを再インストールする必要があります。

1. ハードディスク内のデータのバックアップをとります。
2. メモリを増設する場合はここで行います。
3. AC アダプタを接続します。
4. CD-ROM (または DVD) ドライブに Recovery CD を挿入します (2 枚組みの Recovery をお持ちの場合は、ディスク 1 を挿入してください)。
5. コンピュータを再起動します。HP ログが表示されたら [Esc] キーを押します。
6. CD-ROM(または DVD)ドライブを起動デバイスとして選択し、[Enter] を押します。
7. 既定値以外のパーティション サイズを選択する場合は、Recovery CD のウィンドウで [詳細] ボタンをクリックし、[ハイバネート パーティションのサイズ] リストからサイズを選択してください。注記: Windows 98 の場合、ハイバネートパーティションのサイズはシステムの RAM 総容量以上としてください。
8. OS を回復せずにハイバネートパーティションを作成する場合は、[OS をロードしない] チェックボックスを選択し、パーティション オプションを選択します。
9. [続行] を選択します。
10. [OK] をクリックすると作成を開始します。

2 枚組みの Recovery CD をお持ちの場合は、パーティション作成中に 2 枚目の CD を挿入するよう指示するメッセージが表示されます。

11. 再起動のメッセージが表示されたら、Recovery CD を取り出して [Ctrl]+[Alt]+[Delete] を押します。
12. 画面の指示にしたがって、Windows のセットアップを行います。
13. Windows のセットアップが完了したら、アプリケーションの再インストールとバックアップデータの復元を行います。

Windows ドライバの更新

最新の Windows ドライバをダウンロードする

HP ノートブック PC は 3 種類のオペレーティング システム (Windows 98、Windows ME、および Windows 2000) をサポートしており、お使いのコンピュータにはこれらのうち 1 つがプリインストールされています。その他のオペレーティング システムに変更する場合は、HP Web サイト www.jpn.hp.com/go/omnibook から、目的のオペレーティング システム用の最新ドライバをダウンロードしてください。本 Web サイトでは、プリインストールのオペレーティング システム用最新ドライバも提供されています。

Windows 98 および Windows ME でデジタル署名付きドライバを使用する

Windows 98 および Windows ME でドライバ署名機能を有効にするよう設定した場合、ノートブック PC 用の更新ドライバを入手する必要がある場合があります。Windows 98 および Windows ME のドライバ署名機能を有効にすると、ドライバのインストール時に、各ドライバ ファイルにデジタル署名ファイル (拡張子.cat) が含まれている必要があります。したがって、本機の製造時点ではまだリリースされておらず、同梱されていない署名ファイルがあった場合、デジタル署名ファイルのインストールを求めるメッセージが表示されます。このようなときは、最新のドライバを入手する必要があります。これらのドライバは、既にリリースされていれば、HP Web サイト www.jpn.hp.com/go/omnibook にアップロードされています。

ただし、通常はドライバを無効のままお使いいただくケースが多く、Windows 98 および Windows ME のデフォルト設定でもドライバ署名は無効に設定されています。したがって、設定をそのままお使いいただく場合は、デジタル署名ファイル (拡張子.cat) を求めるメッセージが表示されてもこれらのメッセージは無視してください。署名ファイルのインストールをスキップしても、ドライバは正常に動作します。

サービスとサポートのご案内

HP 限定保証

1. 当社は、エンドユーザであるお客様に HP ハードウェア、アクセサリ、サプライ品の材質もしくは品質上の不具合について、購入日から、HP コンピュータに同梱の保証期間表に記載された保証期間に限り、保証いたします。HP Pavilion および XE シリーズ ノートブック PC には、通常、標準の一年間保証が付いています。詳細については、保証期間表を参照してください。ハードウェア製品の保証期間中にこのような不具合の報告を受けた場合は、当社の判断に基づいて、不具合が確認された部品の修理または交換を実施いたします。交換部品は、新品またはそれと同等の性能を持つものが使用されます。
2. 当社は、HP 製ソフトウェアが正しくインストールおよび使用されている場合、ソフトウェア製品がプログラミング命令を実行することを、その製品の購入日から HP コンピュータに同梱の保証期間表に記載された保証期間に限り、保証いたします。本ソフトウェア製品が保証期間中にこのような不具合の報告を受けた場合は、当社は、不具合によりプログラミング命令を正しく実行できない当該ソフトウェアを交換いたします。
3. 当社は、HP 製品の操作中に中断やエラーがまったく発生しないという保証はいたしません。当社が、保証内容に基づく製品の修理または交換を適切な期間内で実施できない場合、当該製品をご返却いただいた時点で購入代金の全額をお返しいたします。
4. 当社の製品は性能上、新品と同等の再生部品を含んでいる場合があります。また、当社の製品は付帯的使用に供されてきたものがある場合もあります。
5. 本保証は、a)不適切な保守や補正、b)他社提供のソフトウェア、インタフェース、部品、供給品、c)無許可の改造および誤使用、d)環境仕様の範囲外での使用、または e)不適切なサイト準備や保守、が原因で発生した不具合については適用されません。
6. 国、地域の法律で認められる範囲内において、当社は書面または口頭に関わらず、上記以外の明示的保証も黙示的保証も一切いたしません。また、当社は商品性、品質および特定用途に対する適合性についての黙示的保証は一切いたしません。また、黙示的保証については、その期間を限定していない国、地域もあるため、上記制限事項が適用されない場合があります。本保証により、お客様は特定の法的権利を付与されますが、国、地域によって独自の法的権利が認められる場合があります。

7. 国、地域の法律で認められる範囲内において、本保証条項に規定する責任が、当社のお客様に対する唯一の責任です。上記の保証を除き、当社またはその供給元は、データの滅失または直接的、特殊、偶発的、結果的（利益またはデータの損失を含む）もしくはその他の損害につき、契約、不法行為その他いかなる理由によっても、責任を負いません。

また、国、地域によっては、偶発的、または結果的損害に対する除外や制限を認めないところもあります。従って、上記の制限または除外がお客様に適用されない場合があります。

ここに記載された保証条件は、法律が許容する場合を除き、本製品のお客様への販売に適用される強制法規上の権利を排除し、制限し、修正し、追加するものではありません。

サポートを受けるには

本機をご利用のお客様に対して、HP では様々な形式でテクニカル サポートを提供しております。ご質問またはトラブル等の問題が発生した場合は、次のリソースをご利用ください。

- 本書『リファレンス ガイド』に記載の情報
- HP ノートブック Web サイト
- 本機の HP インスタント サポート
- HP カスタマ ケア センタ
- Microsoft Windows ヘルプおよび Windows マニュアル

『リファレンス ガイド』の使用

ガイド内の情報を探すには、[目次]、[索引]、[検索] タブを使用します。[目次] タブには、ガイド内のトピックのタイトルが一覧表示されます。[索引] タブでは、キーワードがアルファベット順に一覧表示されるので、ボックスにキーワードを入力するか、リスト内から選択します。[検索] タブで、特定の語句を検索することができます。

HP ノートブック Web サイト

HP では HP ノートブック PC をご利用のお客様専用の Web サイト

www.hp.com/notebooks (英語)

www.jpn.hp.com/go/omnibook (日本語)

を設けています。この Web サイトには各種 HP ノートブック PC モデル、保証、特別イベントなどに関する幅広い情報が掲載されています。

この Web サイトから本機に関する技術的な情報をお求めになる場合は、[Technical Support] をクリックしてください。技術サポートセクションからは次の情報を入手できます。

- よく寄せられる質問に対するお答え

- ソフトウェア、ドライバ、BIOS アップデート ファイル
- オンライン マニュアル
- トラブルの解決方法
- 掲示板、CD-ROM 予約申込み、保守部品情報などのセルフ ヘルプに関する情報
- 保証に含まれる基本的サービスの他に、拡張および顧客サービスの説明
- HP 製品サポート センタの最新の電話番号

HP インスタント サポートの使い方 (英文)

HP インスタント サポートは、無料でご利用いただける、Web 利用の自動診断と、問題解決を特色とする付加価値サービスです。HP インスタント サポートは、ビジネス上の必要に応じて個人化が可能なサポートサービスで、コンピュータ関連の問題の解決を迅速化します。

「セルフサービス」(自動。オンラインで回答)、あるいは「スマート ソリューション」(インスタント サポートのスマートサーチ機能を使用) のいずれかを選択してください。このインテリジェント ツールで問題を表すことができ、さらに様々な分かりやすいサポートオプションをご案内できます。インスタント サポートの詳細な情報は、Web サイト(www.hp.com/hps/instant/index.htm) を参照してください。

HP カスタマ ケア センタ

お客様ご自身で解決できないトラブルが生じた場合、HP カスタマ ケア センタにお電話ください。保証期間内であれば、保証に関連する問題について無償サポートが受けられます(通話代のみ有料)。無償サポート期間中、次のようなお問い合わせに回答しております。

- 同梱のアプリケーションとオペレーティング システムに関するお問い合わせ
- HP が指定している動作環境と条件に関するお問い合わせ
- HP 製アクセサリ、アップグレード、基本操作とトラブルシューティングに関するお問い合わせ

サービスとサポートのご案内 サポートを受けるには

次のようなお問い合わせはご遠慮ください。

- 他社製のハードウェア、ソフトウェア、オペレーティング システム、または本製品以外でのご使用に関するお問い合わせ
- お客様ご自身による修理に関するお問い合わせ
- 製品の開発、カスタム インストールに関するお問い合わせ
- コンサルティング

最寄りのカスタマ ケア センタについては、次の表をご覧ください。保証期間中であればカスタマ ケア センタが無償サポートを行います (通話代のみ有料)。最新の電話番号リストは、HP ノートブック Web サイト (www.jpn.hp.com/go/omnibook) をご覧ください。HP ノートブック製品が、一般に販売およびサポートされていない国の場合は、サポート提供が可能な HP カスタマ ケア センタのうち、最も近い所にご連絡ください。現在の所、OmniBook XE3 と Pavilion ノートブックのサービスおよびサポートは、次にあげる国に限り、ご利用いただけます。

Pavilion シリーズ ノートブック

アメリカおよびカナダのみ – (970) 635-1000

OmniBook XE3 シリーズ

北米

米国 +1 (970) 635-1000
カナダ +1 (905) 206-4663

南米

メキシコシティ +52 58 9922
メキシコ (メキシコシティ以) +52 01 800 472 6684

アジア太平洋

オーストラリア +61 (0)3 8877 8000
香港 +852 800 96 7729
日本 +81 (0)3 3335 8333
マレーシア +60 (0)3 295 2566
ニュージーランド +64 (0)9 356 6640
中国 +86 800 810 5959
シンガポール +65 272 5300
台湾 +886(2)2717 0055

ヨーロッパ

オーストリア +43 (0)7114 20 1080
ベルギー(ドイツ語) +32 (0)2 626 8806

サービスとサポートのご案内
サポートを受けるには

ベルギー(フランス語)	+32 (0)2 626 8807
チェコ共和国	+42 (0)2 6130 7310
デンマーク	+45 39 29 4099
英国(UK 以外)	+44 (0)207 512 52 02
フィンランド	+358 (0)203 47 288
フランス	+33 (0)1 43 62 34 34
ドイツ	+49 (0)180 52 58 143
ギリシャ	+30 (0)1 619 64 11
ハンガリー	+36 (0)1 382 1111
アイルランド	+353 (0)1 662 5525
イタリア	+39 02 264 10350
オランダ	+31 (0)20 606 8751
ノルウェー	+47 22 11 6299
ポーランド	+48 22 519 06 00
ポルトガル	+351 21 317 6333
ロシア (モスクワ)	+7 095 797 3520
ロシア (サンクトペテルブル)	+7 812 346 7997
スペイン	+34 902 321 123
スウェーデン	+46 (0)8 619 2170
スイス	+41 (0)848 80 11 11
トルコ	+90 (0)212 221 69 69
UK	+44 (0)207 512 52 02
アフリカ/中東	
イスラエル	+972 (0)9 952 4848
南アフリカ共和国	+27 (0)86-000-1030

ビルドバージョンを調べる

お電話の途中でサポート担当がお使いのコンピュータにインストールされているソフトウェアのバージョンをおたずねすることがありますので、番号をご用意の上ご連絡ください。ビルドに関する情報は、ハードディスクのルートディレクトリの `version.inf` に収録されています (これは隠しファイルなので、ご覧にならない場合は以下の指示に従ってください)。情報を参照するには、ファイル名をダブルクリックしてください。

Windows 98 で隠しファイルを表示するには

1. [マイ コンピュータ] を開き、[表示]、[フォルダ オプション] の順に選択します。
2. [表示] タブをクリックします。
3. [ファイルの表示] で、[すべてのファイルを表示] を選択します。

サービスとサポートのご案内
サポートを受けるには

4. [OK] をクリックします。

Windows 2000 で隠しファイルを表示するには

1. [マイ コンピュータ] を開き、[ツール]、[フォルダ オプション] を選択します。
2. [表示] タブをクリックします。
3. [隠しファイルおよびフォルダの表示] を選択します。
4. [OK] をクリックします。

修理サービスについて

保証内の修理サービスを受けるには

OmniBook XE3 および Pavilion ノートブック シリーズの保証内の修理サービスを受けるには、HP カスタマ ケア センタにご連絡ください。電話番号一覧は、99ページの「HP カスタマ ケア センタ」を参照してください。

現在のところ、HP Pavilion ノートブック PC のサービスは、米国内に限りご利用いただけます。

サポート技術者は、保証条件と購入日に基づいて、保証内の修理が可能かどうか判断し、修理のプロセスも含めてご案内します。保証内の修理には、送料、取扱料金、税金、運送料、サービス ロケーションまでの費用が含まれます。

保証期間外のコンピュータの修理

PC の保証期間が終了している場合は、カスタマ ケア センタにご連絡ください。HP サポート担当者が、修理の料金とプロセスについてご案内します。

コンピュータを返送する

1. **重要:** ハードディスク ドライブ内のデータを、フロッピー ディスクや、テープや、ネットワーク ドライブにバックアップしてください。

コンピュータの修理実施時に、ハードディスクの交換または初期化が行われる場合があります。

2. HP ではコンピュータにリムーバブル コンポーネントが装着されていても返送する保証はいたしません。修理に出す前に次のものは必ず取り外してください。
 - PC カード
 - AC アダプタと電源ケーブル
 - CD プレーヤ内の CD

サービスとサポートのご案内

修理サービスについて

- フロッピー ディスク ドライブ内のフロッピー ディスク
3. コンピュータを弊社まで返送する際は、搬送中の損傷を避けるため、出荷時に使用されていた梱包ケースなどの梱包材をご利用ください。本機の周囲を、少なくとも 8 センチ以上は梱包材で包むようにし、配送の際は箱に入れるようにしてください。

修理のためにコンピュータを返送する際には、ハードディスクが入っている状態でお送りいただくことをお奨めいたします。コンピュータが修理から戻った時、作成しておいたバックアップからデータを回復できます。何らかの理由でハードディスクを取り外す場合は、130ページの「ハードディスク ドライブの交換」を参照してください。

トラブルシューティング

トラブルの解決方法

ここでは、HP ノートブック PC の使用の際に生じる一般的な問題の解決方法を説明します。

オーディオの問題

サウンドが聞こえない場合

- [Fn]+上矢印キーを数回押します。
- タスクバーの[スピーカ]アイコンをクリックし、[消音]が選択されていないことを確認します。
- MS-DOS モードでコンピュータを操作する場合 (例えば、MS-DOS ゲームなど)、サウンドが正しく機能しない場合があります。サウンド機能を十分に活用するには、Windows アプリケーションをご使用ください。

サウンドを録音できない場合

- サウンドの録音機能がソフトウェアでどのように設定されているか調べます。[スタート]、[プログラム]、[アクセサリ]、[マルチメディア] (または [エンターテインメント])、[サウンドレコーダー] の順にクリックします。

起動時の PC カード検出のビープ音が非常に大きく、音量が調節できない場合

- 最新のオーディオドライバを、HP ノートブック Web サイトのテクニカルサポートからダウンロードします (www.jpn.hp.com/go/omnibook)。

オーディオを診断プログラムでテストするには、「ハードウェアの診断」を参照してください。

CD-ROM ドライブの問題

CD-ROM ドライブの CD から起動できない場合

- Recovery CD のように、起動可能な CD または DVD であることを確認します。
- CD がドライブにあるときは常に CD から起動したい場合は、BIOS Setup ユーティリティでブート順をチェックし、変更します。
 1. [スタート]、[シャットダウン]、[再起動] の順にクリックします。
 2. HP ロゴが表示されたら、[Esc] を押して[Boot] メニューを開きます。出荷時の設定のブート順は、(1)フロッピー ディスク、(2)ハード ディスク、(3)CD-ROM/DVD ドライブになっています。
 3. 最初のブート デバイスとして [CD-ROM/DVD Drive] を選択します。
 4. BIOS Setup ユーティリティを終了します。
- コンピュータを再起動します。

CD-ROM ドライブを診断プログラムでテストするには、「ハードウェアの診断」を参照してください。

ディスプレイの問題

電源は入っているのに、画面に何も表示されない場合

- [Fn]+[F2] あるいは [Fn]+[F4] を押して輝度を上げてみます。
- 内蔵ディスプレイが使用不可に設定されている場合は、[Fn]+[F5] を押します (元の状態に戻るには、この操作を 3 回繰り返します)。
- 長い間電源を入れていなかったときは、ウォームアップするまでしばらく時間がかかる場合があります。

画面が読みにくい場合

- ディスプレイの解像度が既定値になっているか確認します。12 インチの TFT ディスプレイおよび 13 インチの HPA ディスプレイでは 800×600、13 インチ、14 インチ、15 インチの TFT ディスプレイでは 1024×768 です。
 1. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックします。

トラブルシューティング トラブルの解決方法

2. [画面] をダブルクリックします。
3. [設定] タブをクリックします。

Windows デスクトップの一部が見えず、タスクバーを見るためにスクロールしなければならない場合

- ディスプレイの解像度の設定が、表示可能な範囲を超えています。
 1. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックします。
 2. [画面] をダブルクリックします。
 3. [設定] タブをクリックします。
 4. [画面の領域] の矢印を移動して、12 インチ ディスプレイの場合は 800×600 ピクセルに、13 インチ、14 インチ、15 インチ ディスプレイの場合は 1024×768 ピクセルに合わせます。
 5. [OK] をクリックします。

Windows のデスクトップがディスプレイ全体に広がらず、Windows デスクトップの周囲に黒い領域がある場合

- 画面の領域を拡張します ([コントロール パネル]、[画面]、[設定] タブの順にクリックし、[画面の領域] の下にある矢印を移動します)。

外部ディスプレイが機能しない場合

- 接続が正しいかどうかを確認します。
- 外部ディスプレイが使用不可に設定されている場合は、[Fn]+[F5] を押します (元の状態に戻るには、この操作を 3 回繰り返します)。
- 外部ディスプレイが検出されない場合、BIOS Setup ユーティリティで、[Main] メニューの [Video Display Device] を [LCD/CRT] に設定します。

ディスプレイを診断プログラムでテストするには、「ハードウェアの診断」を参照してください。

DVD の問題

DVD ドライブの CD または DVD から起動できない場合

- Recovery CD のように、起動可能な CD または DVD であることを確認します。
- CD または DVD から常に起動したい場合は、次の手順にしたがって BIOS Setup ユーティリティでブート順をチェックし、変更します。
 1. [スタート]、[シャットダウン]、[再起動] の順にクリックします。
 2. HP ロゴが表示されたら、[Esc] を押して [Boot] メニューを開きます。出荷時の設定のブート順は、(1)フロッピー ディスク、(2)ハード ディスク、(3)CD-ROM/DVD ドライブになっています。
 3. 最初のブート デバイスとして [CD-ROM/DVD Drive] を選択します。
- コンピュータを再起動します。

DVD の再生が途切れる場合

- 埃や汚れが付着するとディスクが正常に読み取られないことがあります。ディスクを柔らかい布などで拭いてください。ディスクにひどい傷が付いた場合は、交換の必要があります。
- DVD に「PC フレンドリー」というソフトウェアが付属している場合があります。本機には高性能の DVD プレーヤを搭載していますので、このソフトウェアをインストールする必要はありません。映画によっては、このソフトウェアによってプレーヤが不安定になり、エラーが発生したり再生が途切れたりする場合があります。このような場合は、PC フレンドリー ソフトウェアをアンインストールし、システムを再起動し、映画を再生してみてください。

DVD ムービーが再生途中で止まってしまう場合

- DVD は通常両面記録方式です。DVD トレイを開いて、ディスク中央付近に Side A と記載されている場合は、ディスクを裏返してトレイを閉じ、再生ボタンを押してムービーの再生を続けます。
- DVD ムービーの再生を誤って一時停止した可能性があります。再生ボタンを押すと、再生が再開します。
- DVD に「PC フレンドリー」というソフトウェアが付属している場合があります。映画によっては、このソフトウェアによってプレーヤが不安定になり、

トラブルシューティング トラブルの解決方法

エラーが発生したり再生が途切れたりする場合があります。このような場合は、PC フレンドリー ソフトウェアをアンインストールし、システムを再起動し、映画を再生してみてください。

DVD ムービーの再生中に地域コードエラーが発生した場合

- ほとんどの DVD に、ディスク データとして地域コードが埋め込まれています。これにより、DVD ムービーを再生できるのは販売されている地域に制限されます。地域コードエラーメッセージが表示される場合は、再生しようとしている DVD の地域が、ドライブの現在の設定と異なっています。ドライブの地域は、5 回まで設定できますが、その後は地域が固定されます。地域コードは DVD ドライブに記憶されるので、ソフトウェアの再インストールやハードディスクの修復には影響されません。
 1. 地域設定を変更するには
 2. ドライブに、設定したい地域の DVD を挿入します。
 3. DVD プレーヤ ソフトウェアを起動し、再生します。
 4. DVD の地域が現在のドライブの設定と異なる場合、地域を変更するか確認するメッセージが表示されます。画面の指示にしたがって地域設定を変更します。

DVD ドライブで CD プログラムや映画を再生中、「システムエラー：ドライブを読み取れません」というメッセージが表示される場合

- 片面記録方式の CD または DVD の場合、ラベルの付いた面を上にして置いてください。
- DVD や CD が汚れていないか確認してください。
- DVD や CD が、軸にきちんとはまっているか、確認します。
- コンピュータが CD/DVD ディスクを正しく認識するまで、DVD トレイを閉じてから 5～10 秒ほど待ってください。
- コンピュータを再起動します。
 1. CD または DVD を取り出します。
 2. [スタート]、[シャットダウン]、[再起動] をクリックします。
 3. [OK] をクリックします。

DVD ドライブで映画を再生中に、「ビデオ ウィンドウを作成できません。ディスプレイの設定を変更してください」というエラー メッセージが表示される場合

- ビデオへの割り当てが 4MB しかない場合は、16 ビット カラーでしか再生できません。ディスプレイの設定を変更するか ([コントロール パネル]、[画面]、[設定] タブの順にクリック)、ビデオのメモリ サイズを変更します (BIOS Setup ユーティリティの [Main] メニュー)。

DVD ムービーが画面全体に広がらない場合

- 両面記録方式の DVD の場合、各面に別のフォーマット (標準またはワイドスクリーン) を採用していることがあります。ワイドスクリーンフォーマットの場合、画面の上と下に黒い帯状の線が現れます。標準フォーマットで表示するには、ディスクを裏返してもう一方の面を再生します。

DVD ドライブを診断プログラムでテストするには、「ハードウェアの診断」を参照してください。

ハードディスク ドライブの問題

ハード ドライブの容量がサイズよりも小さい場合

- ハードディスク ドライブは、診断プログラムにある程度のスペースが割り当てられるよう、あらかじめ構成されています。このプログラムは本機のサポートやサービスで使用されます。ハード ドライブのこの部分は他の使用に当てることができないため、システムが報告するハード ドライブの容量には含まれません ([マイ コンピュータ] の [プロパティ])。

ハードディスク ドライブが回転しない場合

- 電源が入っているかどうかを確認します。必要に応じて AC アダプタを接続します。ケーブルがコンセントとコンピュータ背面に根元まで確実に差し込まれていることを確認します。

ハードディスク ドライブから異常音がする場合

- ドライブのデータのバックアップをすぐにとります。
- ファンや PC カード ドライブなど、ノイズの発生源を調べます。

トラブルシューティング トラブルの解決方法

ファイルが破損している場合

- ウィルス検出プログラムを実行します。
- Windows 98 または Windows ME の場合、ScanDisk でクラスタスキャンを実行し、ハードディスクをチェックします。([スタート]、[プログラム]、[アクセサリ]、[システム ツール]、[スキャンディスク]の順にクリックします。)
- Windows 2000 および Windows ME の場合、エラーチェックのツールを利用して、ハードディスクをチェックします([マイコンピュータ]を開き、スキャンするディスクを選択し、[ファイル]、[プロパティ]をクリックし、[ツール]タブを選択し、[ただちにチェック]をクリックします)。

ハードディスク ドライブを診断プログラムでテストするには、「ハードウェアの診断」を参照してください。

温度の問題

過熱した場合

- 換気孔が塞がっていないことを確認します。
- ファンが正しく動作しているか確認します。
- 本機は通常の使用においても多少熱を持ちます。バッテリーに充電する際には、さらに温度が上がります。DOS ゲームなどのアプリケーションは、CPU の使用率が上るため温度上昇の原因となります。

ファンを診断プログラムでテストするには、「ハードウェアの診断」を参照してください。

キーボード、タッチパッド、マウスの問題

タッチパッドの制御が難しい場合

- [マウス]のプロパティを変更し、タッチパッドをカスタマイズします。
 1. [スタート]、[設定]、[コントロールパネル]の順にクリックします。
 2. [マウス]をダブルクリックします。

ポインティングデバイスが機能しない場合

- 起動中や再開中にタッチパッドに触れないでください。
- コンピュータをリセットしてください。

外部マウスが機能しない場合

- マウスが正しく検出されるように、接続する前にコンピュータをサスペンドするか、シャットダウンしてください。

タッチパッドを再度使用する場合は、コンピュータをサスペンドまたはシャットダウンしてから、マウスを取り外します。

埋め込みテンキーが機能しない場合

- Num Lock がオンになっていることを確認します。オンにする手順は、まずテンキーを使用可能にするために [Fn]+[F8] を押し、次に Num Lock をオンにするために [Lock] キーを押します。
- 起動中や回復中はタッチパッドに触れないでください。

PS/2 マウスの特定の機能が使用できない場合

- マウスに同封されたドライバがインストールされているか確認してください。
- システムに PS/2 マウスを検出させるため、コンピュータをシャットダウンし、再起動します。

キーボードおよびポインティングデバイスを診断プログラムでテストする場合は、「ハードウェアの診断」を参照してください。

注記

内蔵および外部ポインティングデバイス(タッチパッドおよびPS/2マウス)の使用で問題が生じた場合は、BIOS Setup ユーティリティの[System Devices]メニューを確認します。88ページの「BIOS Setup ユーティリティの実行」を参照してください。

メモリの問題

メモリ不足を示すメッセージが表示される場合

- Windows ヘルプの [メモリに関するトラブルシューティング] をご覧ください。
- MS-DOS プログラムを実行中にメモリの問題が発生する場合は、Windows ヘルプの [MS-DOS プログラムに関するトラブルシューティング] を参照してください。

メモリを診断プログラムでテストするには、「ハードウェアの診断」を参照してください。

モデムの問題

モデムの通信速度が 56K にならない場合

- 通信先のモデムが 56K (V.90) をサポートしていない場合があります。
- 通信速度は、電話回線の状況などで変化します。時間をおいて再度接続すれば、56K で接続できる場合があります。

モデムで接続できない場合

- コンピュータ右側の RJ-11 モデム ポートに接続されたモジュラ ケーブルが、電話回線に接続されているのを確認してください。
 - 1 本の電話回線を通話とモデムの両方に使用している場合、電話回線がすでに使用されていないか、受話器がはずれていないかを確認してください。
 - ISP (インターネット サービス プロバイダ) にお問い合わせください。サービスが一時的に使用不可になっていたり、設定に誤りがある場合があります。
 - コンピュータを再起動し、再度接続を試みてください。
 - 別の電話番号で試してください。
 - HP ノートブック Web サイトのテクニカル サポートから、最新のモデム ドライバをダウンロードしてください (www.jpn.hp.com/go/omnibook)。
 - Windows 98 や Windows ME では、モデム診断プログラムを実行します。
 1. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックします。
-

2. [モデム] をダブルクリックします。
 3. [検出結果] タブをクリックします。
 4. モデムが接続されているポートをクリックします。
 5. [詳細情報] をクリックします。
- Windows 2000 で、モデム診断プログラムを実行します。
 1. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックします。
 2. [電話とモデムのオプション] をダブルクリックします。
 3. [モデム] タブをクリックします。
 4. テストするモデムを選択します。
 5. [プロパティ]、[検出結果]、[モデム照会] をクリックします。
 - Windows ヘルプの [モデムに関するトラブルシューティング] を使用してください。

大きなファイルを転送する際にモデム接続が中断してしまう場合

- 電話回線の停止や障害が考えられます。時間をおいて再度試みてください。
- Windows 98 や Windows ME で、シリアルあるいは PC カード モデムが機能しない場合、内蔵モデムを使用不可にしてください。
 1. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックします。
 2. [システム] をダブルクリックします。
 3. [デバイス マネージャ] タブをクリックします。
 4. [モデム] をダブルクリックし、モデムのリストを表示させます。
 5. 内蔵モデムをダブルクリックします。
 6. [このハードウェア プロファイルで使用不可にする] チェックボックスを選択します。
- Windows 2000 で、シリアルあるいは PC カード モデムが機能しない場合、内蔵モデムを使用不可にしてください。
 1. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックします。
 2. [電話とモデムのオプション] をダブルクリックします。

トラブルシューティング

トラブルの解決方法

3. [モデム] タブを選択します。
4. 内蔵モデムを選択します。
5. [削除] をクリックします。
6. [OK] をクリックします。

ワンタッチ ボタンの問題

ワンタッチ ボタンが正しく機能しない場合

- ボタンに関連づけられたアプリケーションを確認します。
 1. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックします。
 2. [キーボード] をダブルクリックします。
 3. [ワンタッチ ボタン] タブを選択します。
 4. 再設定するキーのボタンをクリックします。
 5. ボタンに関連づけるアプリケーションまたは Web サイトを選択します (詳細は「ワンタッチ ボタンの設定方法」をご覧ください)。
 6. [終了]、[OK] の順にクリックします。

ワンタッチ ボタン使用時の画面表示が機能しない場合

- [画面表示] が有効になっているか、確認してください。
 1. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックします。
 2. [キーボード] をダブルクリックします。
 3. [ワンタッチ ボタン] タブを選択します。
 4. [画面表示の変更] をクリックします。
 5. [有効] がチェックされていない場合は、チェックマークをつけます。
 6. [終了]、[OK] の順にクリックします。

PC カードの問題

PC カードを認識しない場合

- PC カードを取り出し、もう一度挿入します。
- カードに IRQ が必要な場合、空きがないかどうかチェックします。Windows 98 あるいは Windows ME では、[コントロール パネル] の [システム] にある [デバイス マネージャ] タブの [プロパティ] で、[割り込み要求 (IRQ)] を調べます (Windows 2000 では、[コントロール パネル]、[管理ツール]、[コンピュータの管理]、[システム情報]、[ハードウェア リソース]、[割り込み要求 (IRQ)] の順にクリックします)。
- サポートされている PC カードに関する情報は、HP ノートブック Web サイトをご覧ください。
- 問題のカードを他のコンピュータで使ってみます。
- コンピュータを再起動します。

I/O カードが正常に通信しなくなった場合

- 本機をサスペンドまたは電源オフにしたときに、カードがリセットされた可能性があります。アプリケーションをすべて終了し、カードを取り出しもう一度挿入してください。

PC カード モデムが機能しない場合

- Windows 98 あるいは Windows ME で、内蔵モデムを無効にします。
 1. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックします。
 2. [システム] をダブルクリックします。
 3. [デバイス マネージャ] タブをクリックします。
 4. [モデム] をダブルクリックし、モデム デバイスをリスト表示します。
 5. 内蔵モデムをダブルクリックします。
 6. [このハードウェア プロファイルで使用不可にする] チェックボックスを選択します。
- Windows 2000 で、内蔵モデムを無効にします。
 1. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックします。

トラブルシューティング トラブルの解決方法

2. [電話とモデムのオプション] をダブルクリックします。
3. [モデム] タブを選択します。
4. 内蔵モデムを選択します。
5. [削除] をクリックします。
6. [OK] をクリックします。

PC カードを診断プログラムでテストするには、「ハードウェアの診断」を参照してください。

パフォーマンスの問題

本機が停止したり、実行速度が遅くなったりする場合

- [CTRL]+[ALT]+[DEL] キーを押して、アプリケーションが応答しているかどうかを確認します。
- コンピュータを再起動します。
- テンポラリ ファイルと不要なファイルを削除します。
- ウィルス検出ソフトなどがバックグラウンドで動作中の場合、パフォーマンスに影響を与えることがあります。
- 一部のファイルブラウザは、画像処理中、または切断されたネットワークがタイムアウトになるまで応答しなくなる場合があります。
- ハードディスクのスワップファイルへの書き込みに時間がかかっている場合は、メモリを増設してください。
- 空きディスク容量を調べます。

ポート リプリケータの問題

ポート リプリケータのポートが機能しない場合

- AC 電源が接続されているのを確認します。
- ドッキングを解除して、本機の対応するポートが正しく機能するかどうか試します。
- ポート リプリケータのマニュアルを参照します。

電源とバッテリーの問題

電源を入れてもすぐに切れてしまう場合

- バッテリーの残量が非常に低下していると考えられます。AC アダプタを接続するか、充電済みのバッテリーに取り換えてください。

ビープ音が鳴り続ける場合

- バッテリー残量が少なくなると、本機は 15 秒間ビープ音を鳴らします。作業中のファイルを保存して直ちに Windows をシャットダウンし、充電済みのバッテリーを挿入するか、AC アダプタを接続してください。

バッテリー持続時間が短い場合

- 電源のタイムアウトの時間をより短く設定し、電力を節約してみてください。Windows では、[コントロール パネル] の [電源の管理] でこれらの設定を調整できます。
- 自動保存機能を備えたアプリケーション (MS Word など) を実行している場合、この機能を無効にするか、ハードディスクへのアクセスを減らすために保存間隔を長く設定します
- 持続時間が徐々に短くなってきて、バッテリーを使用後 1~2 年以上経っている場合は、バッテリーを交換する必要があります。
- ディスプレイの輝度を低めに設定します。
- モデムを頻繁に使用するとバッテリーの持続時間に影響を与えます。
- PC カードの使用もバッテリーの持続時間に影響します。

トラブルシューティング

トラブルの解決方法

バッテリーが充電しない場合

- ACアダプタのプラグが電源に差し込まれているか、またアダプタのランプが点灯しているか確認します。
- 延長コードを使用している場合は、ACアダプタをコードから抜き取り、直接コンセントに差し込みます。
- バッテリーが完全にロックされるまで挿入されていることを確認します。
- コンピュータの電源をオフにし、バッテリーの接触部分が汚れていないか、ACアダプタ ケーブルがしっかり差し込まれているかを確認します。
- 本機を発熱性のものから遠ざけます。ACアダプタを抜き取り、バッテリーが冷却するのを待ちます。バッテリーが過熱してしまうと正しく充電されません。
- 可能な場合は、別のバッテリーで試してみます。
- 可能な場合は、別のACアダプタで試してみます。

バッテリーの残り時間が実際と異なる場合

- [電源 (バッテリー)] アイコンの残り時間とは、現時点の使用に基づく推定時間であり、正確な値ではありません。

コンピュータが応答しなくなった場合

- 応答のないアプリケーションを終了するために、[Ctrl]+[Alt]+[Del] を押します。
- 電源スイッチを左側にスライドし、少なくとも5秒間ホールドし、その後離してコンピュータの電源をオフにします。次に再度電源スイッチをスライドし、コンピュータの電源をオンに戻します。
- それでも正常に動作しなければ、コンピュータ左側にあるシステムオフ ボタンに、クリップの先端を挿入します。次に電源スイッチをスライドし、コンピュータの電源をオンにします。

設定どおりにスタンバイ モードに移行しない場合

- 他のコンピュータと接続中の場合、接続がアクティブの間はサスペンドできません。
- 何らかの処理を実行しているときは、通常その処理が終了するまで待ち状態になります。

電源管理システムを診断プログラムでテストするには、「ハードウェアの診断」を参照してください。

印刷の問題

印刷に関する問題の多くは、Windows ヘルプの [印刷に関するトラブルシューティング] で解決することができます。

シリアルまたはパラレル プリンタで印刷できない場合

- 適切なプリンタ ケーブルやケーブル アダプタを使用しているか、プリンタの電源が入っているかを確認します。
- プリンタの給紙およびその他のプリンタ エラーかどうか確認します。
- プリンタ ケーブルが正しく接続されているか確認します。

左端が印刷されない場合

- アプリケーションの中には、600 dpi プリンタが正しく機能しないものがあります。このようなプリンタを使用している場合、300dpi プリンタ互換のプリンタ ドライバを選択します。たとえば、600 dpi の HP LaserJet プリンタの場合、HP LaserJet IIIsi driver (300 dpi) を選択してみます。

シリアル、パラレル、USB の問題

注記

シリアルおよびパラレル ポートに問題がある場合は、BIOS Setup ユーティリティで設定を確認してください。コンピュータを再起動し、HP のロゴが表示されたら [F2] キーを押します。これで BIOS Setup ユーティリティに入れます。[System Devices] メニューで、Serial Port または Parallel Port (いずれか該当するもの) が Enabled (有効) になっていることを確認します。

シリアルマウスが機能しない場合

- まず、製造元の指示どおりにマウスが取り付けられているか確認します。
- ポートが正しく接続されているかどうかを確認します。
- サスペンドから再開した場合、マウスを再び使用可能にするために、コンピュータを再起動します。

トラブルシューティング トラブルの解決方法

シリアルモデムが正しく機能しない場合

- Windows ヘルプの [モデムに関するトラブルシューティング] を使用します。
- ポート接続が正しいことを確認します。
- Windows 98 あるいは Windows ME で、内蔵モデムを無効にします。
 1. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックします。
 2. [システム] をダブルクリックします。
 3. [デバイス マネージャ] タブをクリックします。
 4. [モデム] をダブルクリックし、モデム デバイスのリストを表示します。
 5. 内蔵モデムをダブルクリックします。
 6. [このハードウェア プロファイルで使用不可にする] チェックボックスを選択します。
- Windows 2000 で、内蔵モデムを無効にします。
 1. [スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックします。
 2. [電話とモデムのオプション] をダブルクリックします。
 3. [モデム] タブを選択します。
 4. 内蔵モデムを選択します。
 5. [削除] をクリックします。
 6. [OK] をクリックします。

シリアルまたはパラレル ポートが機能しない場合

- ポートにコネクタが正しく接続されていることを確認します。

USB ポートが機能しない場合

- 最新バージョンの USB ドライバを、周辺機器の販売元、あるいは HP ノートブック Web サイトから入手します。

ポートを診断プログラムでテストするには、「ハードウェアの診断」を参照してください。

起動時の問題

電源を入れても応答しない場合

- ACアダプタを接続します。
- 電源スイッチをスライドし、本機の電源を入れます。
- システムオフ ボタンを使用して、コンピュータをリセットします。
- 応答しない場合は、バッテリーとACアダプタを取り外し、PCカードも取り外します。ポートリプリケータに取り付けていた場合は取り外します。ACアダプタのプラグをもう一度差し込み、リセットを試みてください。
- それでも応答がなければ、HPのカスタマケアセンターにご連絡ください。

バッテリーで起動しない場合

- バッテリーが正しく装着され、充電されていることを確認します。
- バッテリーの接触部分をチェックしてください。
- 可能なら、他のバッテリーで起動してみてください。

フロッピーディスクドライブから起動しない場合

- BIOS Setup ユーティリティでブート順を調べます。
 1. [スタート]、[シャットダウン]、[再起動] の順にクリックします。
 2. HP ロゴが表示されたら、[F2] を押して BIOS Setup ユーティリティを起動します。
 3. [Boot] メニューを開きます。出荷時の設定のブート順は(1) フロッピーディスクドライブ、(2) ハードディスクドライブ、(3) CD-ROM/DVD ドライブの順になっています。
 4. フロッピードライブをブート順の第1番に設定します。
 5. BIOS Setup ユーティリティを終了します。

サスペンドと再開の問題

サスペンドから再開するのに時間がかかる場合

- Windows では、ネットワーク カードが取り付けられている場合、再開に少し時間がかかります。OS がドライバをロードし、ハードウェアおよびネットワーク接続をチェックしている間、ディスプレイではカーソルが点滅しています。ハードウェアの再初期化が完了すると、Windows デスクトップが表示されます。

サスペンドまたは再開時に OS が停止する場合

- 本機がサスペンドあるいは再開に移行する途中で、ポートリプリケータへの取り付けあるいは取り外しを行うと、システムが停止する場合があります。ポートリプリケータへの取り付けおよび取り外しは、必ずサスペンドや再開が完了した状態で行ってください。

ハードウェアの診断

本機に付属の DiagTools ハードウェア診断プログラムには、次の 2 種類のレベル別テストが用意されています。

- 基本的なハードウェア部分を自動的にテストするベーシック テスト
- ハードウェアを個別にテストするアドバンスドテスト

本テストは、システムの再起動直後に実行するように設計されています。これにより、コンピュータの動作を完全に制御できる状態になり、診断プログラムはハードウェア コンポーネントを正しくテストできます。これらのテストは非破壊検査で、コンピュータの状態をそのままに保つよう、プログラムされています。プログラムが終了すると本機は再起動し、ドライバがロードされます。

診断テストを実行する

1. コンピュータを再起動し、HP ロゴが表示されたら、[F10] を押します。
2. 診断画面が表示されたら、[F2] を 2 回押して次に進みます。
3. ハードウェアの検出が終了したら、検出されたハードウェア一覧をチェックします。

デバイスが検出されない場合、あるいはテストに失敗する場合は、BIOS Setup ユーティリティで正しく設定されていない可能性があります。BIOS Setup を実行し、設定内容をチェックすることにより、設定が正しいかどうかを確認できます。

4. [F2] を 2 回押して、ベーシック ハードウェア テストを実行します。
5. さらに詳細なハードウェアのテストを実行するには、[F2] を 2 回押します。アドバンスドテストの画面で、適切なテストを選択し、実行します。ハードウェアが検出されないと、テストのリストは表示されません。テストを実行するには、以下を参照してキーを押してください。

[Enter]	強調表示されているテストを実行します。
[F5] または スペース	強調表示されているテストにマークを付けるか、マークを外します。
[F6]	現在のメニューのテストすべてにマークを付けるか、マークを外します。
[F7]	全メニューのテストすべてにマークを付けるか、マークを外します。

6. テストが終了したら、[Esc] を押してアドバンスドテストを終了します。

トラブルシューティング ハードウェアの診断

7. システムおよびテスト情報を表示あるいは保存する場合は、[F4] を繰り返し押して (アドバンスドテスト画面なら 2 回、ベーシックテスト画面なら 3 回) サポート チケット ログ ファイルを作成します。サポート チケットを保存するために、未使用のフロッピー ディスクが必要です。あるいは画面の指示に従ってハードディスクに保存できます。
8. サポート チケットを表示するには、[F7] を押します。
9. 終了および再起動するには、[F3] を 2 回押します。

ソフトウェアの復元と再インストール

Recovery CD を使用して、本機を出荷時の状態に戻すことができます。特定のアプリケーションを復元する場合は、ハードディスクから直接に再インストールできます (129 ページの「アプリケーションの復元」を参照)。

Recovery CD に収録されている本機専用の Windows ドライバを使用して、システムをカスタマイズできます。これらのドライバは以下の場所に収録されています。

- ハードディスク ドライブの C:\hp\Drivers
- Recovery CD の \hp\Drivers
- HP ノートブック Web サイト (www.jpn.hp.com/go/omnibook)。この Web サイトには、各 OS 用ソフトウェア ドライバの最新のアップデートファイルも収録されています。

ハードディスクを出荷時の状態に復元する

Windows ソフトウェアおよびオペレーティング システムを出荷時の状態に復元する方法を以下に説明します。

注意

この作業を行うとハードディスク ドライブをフォーマットするため、ディスク上のデータはすべて消去されます。ハードディスク ドライブのフォーマットが終了したら、アプリケーションを再インストールしてください。

1. ハードディスク内の全データのバックアップをとってください。
2. AC アダプタを接続します。
3. Recovery CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
本機がオフの場合は、先を伸ばしたクリップをドライブ前面の穴に挿し込み、トレイを開きます。
4. 再起動し、HP ロゴが表示されたら、[Esc] を押します。
5. CD または DVD ドライブを起動デバイスとして選択し、再起動します。

Windows を出荷時の状態に復元する方法の詳細については、Recovery CD のルート ディレクトリにある readme.txt ファイルを参照してください。

トラブルシューティング ソフトウェアの復元と再インストール

復元の処理には 10 分から 15 分ほどかかります。処理が完了するまで、処理を中断したり、AC アダプタのプラグを外したりしないでください。

注記

Windows 98 は FAT16 および FAT32 ファイル システムをサポートしています。Windows 2000 は FAT16、FAT32 および NTFS ファイル システムをサポートしています。Windows ME は FAT32 ファイルシステムをサポートしています。

損傷した Recovery CD を交換する

Recovery CD を紛失あるいは損傷した場合は、HP カスタマ ケア センタに交換についてお問い合わせください。電話番号一覧は、「HP カスタマ ケア センタ」を参照してください。

HP ノートブック BIOS のアップデート

HP では、コンピュータの機能向上のため、最新の BIOS アップデート ファイルを提供しています。アップデート ファイルは HP カスタマ ケア から入手できます。HP ノートブック Web サイトのテクニカル サポートにアクセスしてください (www.jpn.hp.com/go/omnibook)。BIOS アップデート ファイルをダウンロードしたら、Readme.txt ファイルに記載された手順にしたがって BIOS アップデート用 フロッピー ディスクを作成してください。

注意

BIOS アップデート ファイルは、前のバージョンを置換するので、手順通りに正しく行うことが重要です。手順を誤ると障害が発生する原因となります。BIOS のアップデート中に、BIOS Setup ユーティリティの設定がリセットされ、BIOS パスワードが消去されます。

1. PC カードを取り出します。
2. ポート リプリケータに取り付けてある場合は、取り外します。
3. AC アダプタを本機に接続します。
4. BIOS アップデート用ディスクをフロッピー ディスク ドライブに挿入します。
5. コンピュータを再起動します。
6. HP のロゴが表示されたら [Esc] を押し、ブート ドライブに [Floppy Drive] を選びます。

7. 画面の指示に従います。アップデート作業を開始したら、中断しないでください。
8. 作業が完了したら、BIOS アップデート用ディスクをフロッピー ディスクドライブから取り出し、本機の左側にあるシステムオフ ボタンを押してコンピュータを再起動します。

注記

HP ノートブックは、ハードディスクから起動するように構成されています。フロッピー ディスクあるいは CD-ROM から起動する場合は、BIOS Setup ユーティリティの [Boot] メニューでブート順を変更します。あるいは HP のロゴが表示された時点で [Esc] を押しても、起動時のブート ドライブを選択することができます。

アプリケーションの復元

ハードディスクから削除したアプリケーションが後で必要になったり、誤ってアプリケーション ファイルを削除したりしても、元のソフトウェアを簡単にインストールできます。プリインストールされているアプリケーションのほとんどは、ハードディスクの C:\Programs にセットアップ プログラムが収められています。また、アプリケーションごとにフォルダが分かれており、それぞれに手順を説明する readme ファイルが含まれています。

プリインストールのアプリケーションの中には、ハードディスクにインストール用プログラムが収められていないものもあります。このようなアプリケーション (Microsoft Works、Microsoft Encarta、Microsoft Money など) がプリインストールされていた場合は、専用 CD-ROM を使用して再インストールできます。

注記

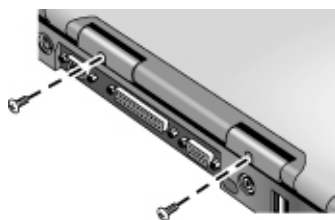
Recovery CD は、コンピュータにプリインストールされていたソフトウェアをすべて復元しますが、同時にハードディスク内のデータも消去します。したがって、特定のアプリケーションのみを再インストールする場合は、Recovery CD を使用しないでください。

ハード ディスク ドライブの交換

安定性の向上のため、ハード ディスク ドライブはコンピュータの中心に配置されているので、簡単に取り出すことはできません。ハード ディスクを取り出す必要のある場合は、データのバックアップを取り、作業をサービス担当者に委託することをお奨めします。ご自分でハード ディスクを取り出す場合は、以下の手順に従い、注意深く作業を行ってください。

ご自分でハード ディスク ドライブを取り外す場合

1. コンピュータをシャットダウンし、ACアダプタを外し、バッテリーを取り出します。
2. ディスプレイを閉じ、コンピュータ背面の、プラスチックの蝶番カバーから、2個のプラスのネジを取り除きます。



3. ディスプレイを後方に最大限に開きます。

注意

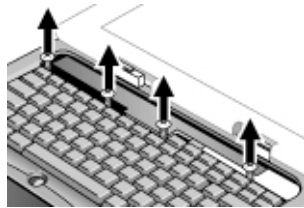
コンピュータの動作を中止した直後は特に、温度が下がるまで、コンピュータ内部の金属部分に触れないようにご注意ください。

トラブルシューティング
ハード ディスクドライブの交換

4. キーボード上部の蝶番部分のプラスチック カバーを、マイナスのドライバーを使用して注意深く開け、取り外します。



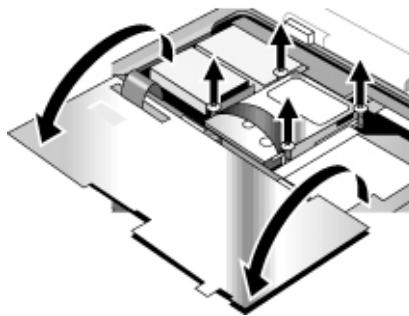
5. キーボード上部の4個のプラスネジを緩めます (ネジはキーボードに付いたままです)。



警告

静電気によりコンピュータの部品が修理不能に損傷する場合がありますので、ハードディスクを取り扱うときは縁だけを持ってください。コンピュータ内部に触れる前に、コンピュータ背面のコネクタ周辺の金属シールドに触れて静電気を放電してください。

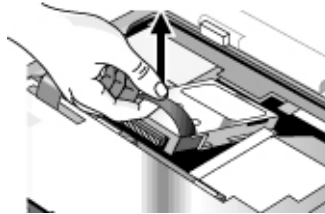
6. キーボードを後方にスライドして取り外し、前方に傾け、ひっくり返します (キーボード ケーブルはつながった状態です)。



トラブルシューティング

ハード ディスクドライブの交換

7. ハード ディスク ドライブ ケースの側面にある、4 個のプラスネジを緩めます (ネジはケースに付いたままです)。
8. ハード ディスク ドライブ ケースの後部を持ち上げて、ストラップを持って静かに引っ張りながらコネクタから取り外し、コンピュータから取り出します。



ハード ディスクを再度取り付ける

サービスを受けるためにハードディスクを取り外してコンピュータを発送した場合、あるいは他の何らかの理由でハードディスクを取り外した場合に、再度取り付けるには、以下の手順に従ってください。

1. ACアダプタのプラグを外し、バッテリーを取り出します。
2. ディスプレイを閉じ、コンピュータ背面の、プラスチックの蝶番カバーから、2 個のプラスのネジを取り除きます。
3. ディスプレイを後方に最大限に開きます。
4. キーボード上部の蝶番部分のプラスチック カバーを、マイナスのドライバーを使用して注意深く開け、取り外します。
5. キーボード上部の 4 個のプラスネジを緩めます (ネジはキーボードに付いたままです)。
6. キーボードを後方にスライドして取り外し、前方に傾け、ひっくり返します (キーボード ケーブルはつながった状態です)。
7. **重要:**ワイヤをドライブ左側の邪魔にならない場所によけておきます。
8. 取り付けるハードディスクの後部を持ち上げ、コネクタに注意深く押し込みます。
9. ケース側面の 4 個のプラスネジで、ハード ディスクをしっかりと固定します。

10. キーボードを後ろに傾け、前縁のフランジをスロットにスライドさせ、上方の4個のプラスネジでキーボードをしっかりと固定します。
11. キーボード上部のプラスチック カバーを、前縁から先に、再び取り付けます。
12. 蝶番カバーを元の位置にパチンとはめます。必要があれば、カバーの両端を押して固定させます。
13. ディスプレイを閉じ、背面の2個のネジを再び取り付けます。
14. バッテリーを挿入し、ACアダプタを接続し、リセット ボタンを押します。
15. 必要があれば、Recovery CDを使用して Windows ソフトウェアおよびオペレーティング システムを復元します。

仕様と規制情報

ハードウェアとソフトウェア仕様

HP ノートブック PC の仕様に関する最新情報は、HP ノートブック Web サイト (www.jpn.hp.com/go/omnibook) をご覧ください。

BIOS Setup ユーティリティのオプション

BIOS Setup ユーティリティでは、ポインティング デバイスが使用できません。メニュー間を移動するには、右矢印キーや左矢印キーを押します。メニューのパラメータ間を移動するには、上矢印キーや下矢印キーを押します。作業中のパラメータの値を移動するには [F5] または [F6] を押し、設定を変更するには [Enter] を押します。詳細は、以下の表を参照してください。

Main メニュー		出荷時の設定
BIOS Revision	現在の BIOS バージョンを表示します。	自動検出
System Time	時刻を 24 時間表示で設定します。値を設定すると直ちに有効になります。	
System Date	月/日/年 (西暦 4 桁) で現在の日付を設定します	
Floppy Drive	フロッピー ドライブのタイプを設定します。	自動的に検出、設定します。
Internal Hard Disk	ハード ディスク ドライブのサイズを設定します。ハード ドライブのサイズは、システムが報告する「容量」よりも大きいことに注意してください。これはハード ドライブが、診断プログラム用にスペースを確保するよう、あらかじめ構成されているためです。このスペースをユーザが使用することはできません。	自動的に検出、設定します。
Quiet Boot	[Enabled] にすると、ブート中にパワーオンセルフテストのサマリとメッセージが表示されなくなります。	Enabled (有効)

Video Display Device	ビデオ信号を、内蔵の液晶ディスプレイと外部 CRT ディスプレイの両方に送信するか[Both]、外部ディスプレイが接続されたら自動的にそちらに切り替えるか[Auto]、設定します。	Auto (自動)
Video Expansion	[Enabled] に設定されている場合、低解像度モードでビデオ画像が液晶ディスプレイ全体に表示されます。すべてを拡張するには、ビデオを拡大する前に、[コントロールパネル]の[ディスプレイの設定]で画面のサイズを縮小します。	Disabled (無効)
Television Type	[NTSC] 方式あるいは [PAL] 方式	NTSC
System Memory	システム メモリのサイズを表示します。	自動検出
Extended Memory	拡張メモリのサイズを表示します。	自動検出
CPU Serial Number (一部のモデルのみ)	[Enabled] に設定されていると、アプリケーションに Intel CPU シリアル番号を伝えます。	Enabled (有効)

System Devices メニュー

出荷時の設定

PS/2 Pointing Device	外部 PS/2 マウスが接続されている場合、タッチパッドも使用可能にするか [Both]、タッチパッドを使用不可にするか [External Only]、設定します。	Both (両方)
External Fn key	外部キーボードの左側にある [CTRL]+[ALT] キーを、ノートブック PC キーボードの [Fn] キーとみなすかどうかを設定します。	Enabled (有効)
IDE Controller (一部のモデルのみ)	ローカルバス IDE コントローラの、プライマリを有効にするか [Primary]、プライマリとセカンダリを有効にするか [Both]、どちらも無効にするか [Disabled]、設定します。	Both (両方)
FDD Controller	フロッピー ディスク ドライブのコントローラを使用可能、あるいは使用不可にします。	Enabled (有効)

仕様と規制情報
ハードウェアとソフトウェア仕様

Serial Port	シリアルポートの設定方法を、ユーザ指定 [Enabled]、自動 [Auto]、非アクティブ [Disabled] のいずれかに設定します。	Enabled (有効)
Base I/O address (1部のモデルのみ)	I/Oアドレスと割り込みレベルを設定します。	3F8 IRQ4
Infrared Port (1部のモデルのみ)	赤外線ポートの設定方法を、ユーザ指定 [Enabled]、自動 [Auto]、非アクティブ [Disabled] のいずれかに設定します。	Disabled (無効)
Mode	赤外線ポートが有効な場合、赤外線通信モードを [SIR] (標準 IR) または [FIR] (Fast IR) に設定します。	FIR
Base I/O address	赤外線ポートが有効な場合、I/Oアドレスと割り込みレベルを設定します。	2F8 IRQ3
DMA channel	FIRモードが有効な場合、DMAチャンネルを設定します。	DMA 0
Parallel Port (1部のモデルのみ)	パラレルポートの設定方法を、ユーザ指定 [Enabled]、自動 [Auto]、非アクティブ [Disabled] のいずれかに設定します。	Enabled (有効)
Mode (1部のモデルのみ)	パラレルポートのモードを [Normal]、[Bi-directional](双方向)、[ECP]、[EPP] のいずれかに設定します。	ECP
Base I/O address (1部のモデルのみ)	EPPモードが有効でない場合、I/Oアドレスを設定します。	378
Interrupt (1部のモデルのみ)	割り込みレベルを設定します。	IRQ 7
DMA channel (1部のモデルのみ)	DMAチャンネルをECPモードに設定します。	DMA 3
LCD Status Panel Display	ステータスパネルを、表示または非表示にします。	Enabled (有効)
LCD Status Panel Date Format	ステータスパネルの日付表示を設定します。	mm/dd/yy (月/日/年)
LCD Status Panel Time Format	ステータスパネルの時刻表示を設定します。	HH:mm

Security メニュー

出荷時の設定

User Password Is	設定したユーザ パスワードを表示します。	なし
Supervisor Password Is	設定した管理者パスワードを表示します。	なし
Set User Password	管理者パスワードの設定後、ユーザ パスワードを設定、変更、消去します。パスワードは、0-9、A-Z の最大 8 文字の英数字を使用できます。	
Set Supervisor Password	管理者パスワードを設定、変更、消去します。パスワードにより、BIOS Setup の設定が保護されます。	
Password Required to Boot	コンピュータ起動時に、ユーザ パスワードを要求するかどうか、設定します。	Enabled (有効)
Floppy Boot	フロッピー ディスク ドライブから、システム起動するかどうかを設定します。	Enabled (有効)

Power メニュー (1 部のモデルのみ)

出荷時の設定

Intel SpeedStep Technology (CPU が Pentium III の場合のみ)	使用電源に基づき、CPU を高速/低速いずれのモードで起動するか設定します。設定には、AC 電源は高速で起動しバッテリーなら低速にする[Auto]、ランタイム サポートなく低速で起動[Disabled]、低速で起動[Battery Optimized]、高速で起動[Max.Performance]、AC 電源は低速で起動しバッテリーなら高速にする[Reversed]があります。	Auto (自動)
Auto Turn-On on Dock	ポート リプリケータに取り付けると自動的にシステムをオンにするかどうか設定します。	Enabled (有効)

Boot メニュー

出荷時の設定

	ドライバのブート順を設定します ([F5] および [F6] で順番を変更します)。	Hard Drive Floppy Drive CD-ROM Drive
--	---	--

仕様と規制情報
ハードウェアとソフトウェア仕様

Exit メニュー

Saving Changes and Exit	Setup の変更を CMOS に保存し、終了し、再起動します。	
Discarding Changes and Exit	設定の変更を保存しないで、再起動します。パスワード、日付、時刻の変更には作用しません。	
Get Default Values	工場出荷時の設定に戻し、そのまま Setup ユーティリティを続けます。パスワード、日付、時刻の変更には作用しません。	
Load Previous Values	前回の保存以降に行った設定変更を保存しないで、そのまま Setup ユーティリティを続けます。パスワード、日付、時刻の変更には作用しません。	
Save Changes	設定を CMOS に保存し、そのまま Setup ユーティリティを続けます。セキュリティ設定が変更された場合、保存されません。	

ハードウェア仕様

注記

注記：テクノロジーコードはノートブック PC のモデルを識別するものです。この 2 文字のコードは、本機底面のシリアル番号付近に記載されています。

外形寸法	12.1-14.1 インチ型ディスプレイ：331x272.3x40.5mm 15 インチ型ディスプレイ：342x276.6x42.0mm
重量	12.1 インチ TFT 液晶ディスプレイ、リチウムバッテリー、フロッピー ディスクドライブ、CD-ROM ドライブ、64MB、ハードディスク ドライブ：以上の構成の場合で 3.0kg。重量は、コンポーネント、製造工程およびオプションによって異なります。

仕様と規制情報
ハードウェアとソフトウェア仕様

CPU	テクノロジーコード GC : Intel PIII または Celeron uPGA2、SpeedStep 搭載 (PIII のみ) 100MHz FSB または テクノロジーコード GD : AMD Duron および Athlon, 200MHz FSB
チップセット	テクノロジーコード GC : Intel 440ZXM-100 または テクノロジーコード GD : Ali M1647 および M1535
メインメモリ	100MHz SDRAM (PC100) 512MB まで拡張可能 : 2つのスロットにそれぞれ 256MB の SODIMM (144 ピン/3.3V) を拡張した場合
ハードディスクドライブ	9.5mm、2.5 インチ HDD PCI バス マスタ方式 エンハンスド IDE Ultra DMA/33 または Ultra DMA/66 をサポート (モデルにより異なる)
フロッピーディスクドライブ	12.7mm、1.44MB (3 モード)
CD-DVD ドライブ	12.7mm、24 倍速 CD-ROM または 8 倍速 DVD、または 24 倍速-4 倍速または 24 倍速-8 倍速 CD-RW、または 24 倍速-4 倍速-8 倍速 CD-RW/DVD コンボドライブ
ディスプレイ	SVGA TFT 12.1 インチ液晶ディスプレイ (800x600) SVGA HPA 13 インチ液晶ディスプレイ (800x600) (特定モデルのみ) XGA TFT 13.3 インチ液晶ディスプレイ (1024x768) XGA TFT 14.1 インチ液晶ディスプレイ (1024x768) XGA TFT 15 インチ液晶ディスプレイ (1024x768) SXGA+ TFT 15 インチ液晶ディスプレイ (1400x1050)
ビデオチップ	S3 Savage/IX - 4MB または 8MB の統合 SGRAM または Trident CBXP および 8 MB ビデオ RAM
PCMCIA	TI 1420 (スロット X2) ACPI-PCI バス パワー マネジメント Type III ソケット X1 または Type II ソケット X2 をサポート PCI パワー マネジメント対応 ACPI 2.0 準拠 PCI ローカルバス規格 Rev. 2.2 準拠 D3 コールドステートからの PME#ウェイクアップをサポート ZV はサポートしません

仕様と規制情報
ハードウェアとソフトウェア仕様

キーボード	<p>NS 87570 K/B コントローラ</p> <ul style="list-style-type: none"> - 101/102 キー エミュレーション使用 87/88 キー (日本向けは 91 キー) - [Windows] キーおよび [アプリケーション] キーをサポート - 標準ピッチ、トラベル長 3.0mm - 水滴耐性
ポインティングデバイス	<p>2 ボタン設計 (オン/オフ ボタンおよび上下スクロールボタン付き)</p> <p>CCR は中国向けローカライズ製品のみ使用可能</p>
オーディオ	<p>ESS Allegro (1988)</p> <ul style="list-style-type: none"> - AC'97 CODEC を統合 - MC'97 リンク経由の HSP モデム インタフェース - Wake up on Ring をサポート <p>ミニ PCI スロットの CODEC ESS 2828 モデム</p>
CD プレーヤ	<p>OZ-163 コントローラ(特定モデルのみ)</p> <p>システムがオフの時にも CD 演奏が可能 (特定モデルのみ)</p>
バッテリー	<p>リチウムイオン：9セル、5400mAh/11.1V、18650 サイズ</p> <p>リチウムイオン：6セル、3600mAh/11.1V、18650 サイズ</p> <p>NiMH：9セル、4000mAh/10.8V、17670 サイズ</p> <p>充電時間：2.2時間 (システム オフ状態)、3時間 (システム オン状態)</p> <p>スマートパック、SM バス</p> <p>持続時間：約 2~3 時間 (バッテリーの持続時間および充電時間は、画面の輝度や使用するアプリケーション、パワー マネジメント、バッテリーの状態およびその他の機能といった、さまざまな要素に左右されます)</p>
AC アダプタ	<p>F1454A 60W ユニバーサル AC アダプタ (Delta または Astec)</p> <p>90-264V AC, 47-63Hz</p> <p>定電力 49.5W</p>
I/O ポート	<p>シリアル ポート：9ピン(RS232)、16550 互換</p> <p>高速双方向パラレル ポート：25ピン、EPP/ECP</p> <p>VGA ポート：15ピン</p> <p>PS/2：6ピン。キーボード、キーパッドあるいは PS/2 マウス用 (Yアダプタ互換)</p> <p>マイク入力、ヘッドホン ジャック</p> <p>内蔵マイク</p> <p>ドッキング ポート (特定モデルのみ)：オプションのポート リプリケータをサポート</p> <p>FIR ポート X1 (特定モデルのみ)</p> <p>USB ポート X2</p> <p>DC イン ジャック</p> <p>Polk ステレオ スピーカ X2</p> <p>複合 TV 出力</p>

制御	<p>電源スイッチ Lid スイッチ システムオフ ボタン (リセット用) スリープ ボタン ユーザ設定が可能な 4 つのワンタッチ ボタン CD プレーヤ オン/オフ スイッチ (特定モデルのみ) CD プレーヤ ボタン (特定モデルのみ) : 前のトラック、再生/一時停止、停止/ 取り出し、次のトラック、音量大、音量小 パッド ロック (タッチ パッド オン/オフ ボタン) 上下スクロール トグル ステータス パネルのモード設定ボタン</p>
ステータス ランプ	<p>Caps/Num/Scroll Lock ランプ(緑色) パッドロック (タッチ パッド オン/オフ) ランプ (オレンジ色) 電源ステータス ランプ(2色) : 電源オン-緑色、サスペンド-オレンジ色 バッテリー充電ランプ : 充電中-オレンジ色、充電完了-緑色、異常-赤色 HDD、FDD、CD-ROM アクティビティ ランプ(緑色) 液晶ドットマトリックス ディスプレイ (バックライトランプ X2) (特定モデルのみ) - 本機の電源がオンの場合 : 電源ステータス、バッテリー充電ステータス、日付あるいは時刻を表示します (特定モデルのみ)。 - 本機がオフで、CD プレーヤ モードの場合 : スリープ ステータス、トラック番号、経過時間を表示します (特定モデルのみ)。 CD プレーヤ ボタンのバックライト ランプ(緑色) (特定モデルのみ) CD プレーヤ オン/オフ ランプ (緑色) (特定モデルのみ) RJ-45 コネクタのランプ(X2)</p>
オプション	<p>64/128/256MB の PC-100 SODIMM : 3.3V、144 ピン、SDRAM SPR (特定モデルのみ) ミニ PCI モデム : AC 電源で D3(コールド)からの Wake up on Ring#をサポート ミニ PCI モデムと LAN のコンボ : AC 電源で D3(コールド)からの Wake up on Ring# および PME#をサポート</p>
機構	<p>Kensington ロック 無段階変化のファン速度 構成の簡単なメモリ カード</p>

仕様と規制情報
ハードウェアとソフトウェア仕様

<p>ポートリプリケータ</p>	<p>シリアル パラレル VGA USB X2 TV 出力 PS/2 X2 RJ-45 オーディオ入力 オーディオマイク入力 オーディオヘッドホン出力 DC イン (AC アダプタ) ランプ - システム オン ランプ : システムがオンの時は緑色、システムがスタンバイあるいはディスクに保存されているときは消灯します。 - バッテリ充電ランプ : バッテリ充電中-オレンジ色、充電完了-緑色、異常-赤色 電源オン/オフ スライド スイッチ Kensington ロック</p>
<p>環境</p>	<p>動作時温度 : 0~40°C 保管時温度 : -20~65°C 動作時湿度 : 20% (モデルにより 10%) ~90%RH(5~35°C) 動作時衝撃 : 60 インチ/秒、2ms、ハーフサイン 非動作時衝撃 : 80 インチ/秒、2ms、ハーフサイン 非動作時振動 : 2.16G (5~500Hz) 動作時高度 : 最高 3,000m 保管時高度 : 最高 12,000m</p>
<p>規格</p>	<p>PC99 または PC2001 準拠 ACPI 準拠</p>

ソフトウェア仕様

ソフトウェア	<p>512KB フラッシュ BIOS ROM RAM/ディスクヘサスペンド システム制御用各種ホットキー パスワードによる保護 リプリケータの自動設定 PC99 準拠 BIOS フラッシュ可能キーボード ACPI 2.0b 互換 スマート バッテリーをサポート 起動可能デバイス : FDD、HDD、DVD、CD-ROM Windows 98SE (ACPI モード)、Windows 2000 (ACPI モード)、Windows ME (ACPI モード)</p>
アプリケーション (ソフトウェア構成はモデルにより異なります。これらすべてのソフトウェアが全モデルに付属しているわけではありません)	<p>Adaptec Easy CD Creator ソフトウェア (CD-RW 付属モデルのみ) Adobe Acrobat Reader HP TopTools for Notebooks McAfee VirusScan アンチウイルス ソフトウェア ソフトウェア DVD プレーヤ (DVD 付属モデルのみ) Microsoft Money Microsoft Works MusicMatch Jukebox MP3 ソフトウェア One-Touch Button ソフトウェア QuickLink III ファックス ソフトウェア WildTangent 3D ゲーム ソフトウェア</p>
<p>本機にプリインストールされているソフトウェアの詳細については、HP メモをご覧ください。[スタート]、[プログラム]、[HP ライブラリ] の順にクリックするか、デスクトップの [HP メモ] アイコンをダブルクリックします。</p> <p>Windows ME では [スタート]、[ヘルプ]、[HP ノートブック]、[HP メモ] の順にクリックします。</p>	

仕様と規制情報
ハードウェアとソフトウェア仕様

ソフトウェア システム リソース

以下の表には、HP ノートブックの BIOS で設定された標準的なリソース用法が記載されています。プラグアンドプレイのオペレーティング システム、ドライバ、BIOS Setup の設定では、エントリの一部が変更されることがあります。既定値以外については、BIOS Setup ユーティリティの [System Devices] メニューにある、ポート設定リストを参照してください。

システム割り込み

0	システム タイマ
1	キーボード
2	セカンダリ割り込みコントローラからカスケード表示
3	なし
4	COM1 (シリアル ポート)
5	オーディオ
6	フロッピー ディスク ドライブ
7	LPT1 (ECP パラレル ポート)
8	リアルタイム クロック
9	SCI
10	PCI IRQ (すべての PCI デバイスで共有)
11	PCI IRQ (すべての PCI デバイスで共有)
12	タッチ パッド、PS/2 マウス
13	数値演算コプロセッサ
14	内蔵ハードディスク ドライブ (プライマリ IDE コントローラ)
15	内蔵 CD-ROM ドライブ (セカンダリ IDE コントローラ)

システム メモリ

00000 - 9FFFF	システム メモリ
A0000 - BFFFF	ビデオ
C0000 - CFFFF	ビデオ BIOS
D0000 - DBFFF	なし (有効使用 : UMB (上位メモリブロック) または PC カード メモリ ウィンドウ)
DC000 - FFFFF	システム BIOS

システム入力/出力アドレス(100-3FF)

170-177	内蔵 CD-ROM ドライブ (セカンダリ IDE コントローラ)
1F0-1F7	内蔵ハードディスク ドライブ (プライマリ IDE コントローラ)
220-22F	DOS ゲーム (FM 復号)
376	内蔵 CD-ROM ドライブ (セカンダリ IDE コントローラ)
378-37F	LPT1 (プリンタ ポート)
388-38B	DOS ゲーム (FM 復号)
3B0-3BB	VGA アダプタ
3C0-3DF	VGA アダプタ
3E0-3E1	PCMCIA コントローラ
3F0-3F5	フロッピー ディスク ドライブ コントローラ
3F6	内蔵ハードディスク ドライブ (プライマリ IDE コントローラ)
3F7	フロッピー ディスク ドライブ コントローラ
3F8-3FF	COM1 (シリアル ポート)

DMA チャンネル

0	なし
1	なし
2	フロッピー ディスク ドライブ
3	LPT1 (ECP パラレル ポート)
4	セカンダリ DMA コントローラからカスケード表示
5	なし
6	なし
7	なし

モデムコード一覧

本機にモデムポートがある場合、ATコマンドとSレジスタを使って、モデムの動作をカスタマイズできます。この設定は、コントロールパネルの[モデム] (Windows 98、Windows ME)、または[電話とモデムのオプション] (Windows 2000)、一般の通信用ソフトウェア、およびソフトウェアのターミナルモードを使用して行います。66ページの「モデムの設定を変更する」を参照してください。

注記

デフォルト設定を変更する前に、モデムの機能と動作方法をよく理解してください。

ここでは、ATコマンド、Sレジスタ、ならびに内蔵モデム (Ambit チップ使用) 用の特定の応答コードについてその概要を説明します。

AT コマンド(Ambit)

次の AT コマンドテーブルでは、デフォルト設定は太字で表示されます。A/を除く、以下の AT コマンドは、先頭に“AT”をつけて入力します。

コマンド	機能 (Ambit)
A/	コマンドの再実行 (AT は不要)
A	オフフックに移り、応答を試みる
B0	V.22 接続 @1200 bps を選択
B1	Bell 212A 接続 @1200 bps を選択
C1	OK メッセージを戻す
Dn	ダイヤルの各パラメータ
E0	コマンド エコー禁止
E1	コマンド エコー有効
H0	ハンガアップ シーケンスを実行する
H1	オンフックならば、オフフックしコマンド モードに入る
I0	製品コードを報告する
I1	算出前チェックサムを報告する
I2	算出されたチェックサムが以前書き込まれたチェックサムと同じか、そのチェックサム値が FFh の場合、"OK"を報告する
I3	ファームウェア リビジョンとインタフェース タイプを報告する
I4	OEM でプログラムされたレスポンスを報告する
I5	国別コード パラメータを報告する

コマンド	機能 (Ambit)
I6	モデム データのバンブ モデルとコード リビジョンを報告する
I7	DAA コードをレポートする
L0	スピーカの音量を小に設定する
L1	スピーカの音量を小に設定する
L2	スピーカの音量を中に設定する
L3	スピーカの音量を大に設定する
M0	スピーカをオフにする
M1	スピーカをハンドシェイク中はオフ、キャリア受信中はオフにする
M2	スピーカをハンドシェイク中、キャリア受信オンにする
M3	スピーカをダイヤル中、キャリア検出中はオフ、応答中はオンにする
N0	自動モード検出をオフにする
N1	自動モード検出をオンにする
O0	オンラインにする
O1	オンラインに移行し、リトレーニング シーケンスを実行する
P	パルス ダイヤルを強制実行する
Q0	応答コードを DTE に許可する
Q1	応答コードを DTE に禁止する
Sn	S レジスタ “n” をデフォルトとして選択
Sn?	S レジスタ “n” の値を戻す
Sn=v	デフォルトの S レジスタ “n” を “v” に設定する
T	DTMF ダイヤルを強制実行する
V0	短い形式の応答コードを報告する
V1	長い形式の応答コードを報告する
W0	DTE 速度のみを報告する
W1	回線速度、EC プロトコル、DTE 速度を報告する
W2	DCE 速度のみを報告する
X0	基本発信状況応答コードを報告 例:OK, CONNECT, RING, NO CARRIER(可能な場合はビジー、ダイヤルトーンの検出なし)NO ANSWER および ERROR 等
X1	基本発信状況応答コードを報告 例:OK, CONNECT, RING, NO CARRIER(可能な場合はビジー、ダイヤルトーンの検出なし)NO ANSWER, Connect XXXX および ERROR 等
X2	基本発信状況応答コードを報告 例:OK, CONNECT, RING, NO CARRIER(可能な場合はビジー、ダイヤルトーンの検出なし)NO ANSWER, Connect XXXX, および ERROR 等
X3	基本発信状況応答コードと接続レートを報告 例:OK, CONNECT, RING, NO CARRIER, NO ANSWER, Connect XXXX, Busy, および ERROR 等
X4	基本発信状況応答コードと接続レートを報告 例:OK, CONNECT, RING, NO CARRIER, NO ANSWER, Connect XXXX, Busy, No Dial Tone および ERROR 等
Y0	オンフック前の長スペース切断を無効にする
Y1	オンフック前の長スペース切断を有効にする
Z0	ウォーム リセット後保存しておいたプロファイル 0 を復元する

仕様と規制情報
モデムコード一覧

コマンド	機能 (Ambit)
Z1	ウォームリセット後ソフトリセットを行い、保存しておいたプロファイル1を復元する
&C0	ソフトリセットを行い、キャリアの状態に関係なく RLSD をアクティブにする
&C1	RLSDはキャリアの状態にしたがう
&D0	&Qn ごとに DTR オン/オフ制御 &Q0, &Q5, &Q6:モデムは DTR を無視する &Q1, &Q4:回線切断 &Q2, &Q3:回線切断
&D1	&Qn ごとに DTR オン/オフ制御 &Q0, &Q1, &Q4, &Q5, &Q6:非同期エスケープ &Q2, &Q3:回線切断
&D2	&Qn ごとに DTR オン/オフ制御 &Q0 ~ &Q6 まで解釈する:回線切断
&D3	&Qn ごとに DTR オン/オフ制御 &Q0, &Q1, &Q4, &Q5, &Q6:ソフトリセット &Q2, &Q3:回線切断
&F0	工場出荷時の設定 0 を復元する
&F1	工場出荷時の設定 1 を復元する
&G0	ガードトーン無効
&G1	ガードトーン無効
&G2	1800 Hz のガードトーン有効
&J0	Sレジスタは互換があるときのみ応答する
&J1	Sレジスタは互換があるときのみ応答する
&K0	DTE/DCE フロー制御無効
&K3	RTS/CTS DTE/DCE フロー制御有効
&K4	XON/XOFF DTE/DCE フロー制御有効
&K5	透過 XON/ XOFF フロー制御有効
&K6	RTS/CTS および XON/XOFF フロー制御有効
&L0	ダイヤルアップ回線操作を選択する
&M0	直接非同期モードを選択する
&M1	非同期オフライン コマンド モードで同期接続を選択する
&M2	非同期オフライン コマンド モードでの同期接続を選択し、ディレクトリ 0 の DTR ダイヤルを有効にする
&M3	非同期オフライン コマンド モードで同期接続を選択し、DTR を Talk/Data スイッチとして機能するようにする
&P0	39%/61% メーク/ブレイクで 10 pps パルス ダイヤルを設定する
&P1	33%/67% メーク/ブレイクで 10 pps パルス ダイヤルを設定する
&P2	39%/61% メーク/ブレイクで 20 pps パルス ダイヤルを設定する
&P3	33%/67% メーク/ブレイクで 20 pps パルス ダイヤルを設定する
&Q0	直接非同期モードを選択する

コマンド	機能 (Ambit)
&Q1	非同期オフライン コマンド モードで同期接続を選択する
&Q2	非同期オフライン コマンド モードでの同期接続を選択し、ディレクトリ 0 の DTR ダイアルを有効にする
&Q3	非同期オフライン コマンド モードで同期接続を選択し、DTR を Talk/Data スイッチとして機能するようにする
&Q4	Hayes AutoSync モードを選択する
&Q5	モデムがエラー訂正済みリンクを無視する
&Q6	ノーマル モードでの非同期操作を選択する
&R0	CTS で RTS(同期) をトラッキングする、または CTS は通常 ON で、フロー制御の要求があったときだけ OFF になる (非同期)
&R1	CTS は常にアクティブ(同期) である、または CTS は通常 ON で、フロー制御の要求があったときだけ OFF になる (非同期)
&S0	DSR は常にアクティブ
&S1	DSR はアンサー トーンが検出された後オンになり、キャリアがなくなった後オフになる
&T0	実行中のテストをすべて終了する
&T1	ローカル アナログ ループバックを開始する
&T2	ERROR 応答コードを戻す
&T3	ローカル デジタル ループバックを開始する
&T4	リモート デジタル ループバックを許可する (RDL)
&T5	リモート デジタル ループバック要求を禁止する
&T6	セルフテストなしの RDL を要求する
&T7	セルフテスト付きの RDL を要求する
&T6	セルフテストなしの RDL を要求する
&T7	セルフテスト付きの RDL を要求する
&T8	セルフテスト付きのローカルアナログ ループを開始する
&V	現在の設定内容と保存されているプロファイルを表示する
&V1	最新の接続統計を表示する
&W0	現在の設定をプロファイル 0 として書き込む
&W1	現在の設定をプロファイル 1 として書き込む
&X0	送信クロック用内部タイミングを選択する
&X1	送信クロック用外部タイミングを選択する
&X2	送信クロック用スレーブ受信タイミングを選択する
&Y0	電源投入と同時に保存されたプロファイル 0 を呼び出す
&Y1	電源投入と同時に保存されたプロファイル 1 を呼び出す
&Zn=x	デジタル文字列 x (34 文字まで) を n に記憶する(0~3)
%E0	回線品質モニタと自動リトレーニングを無効にする
%E1	回線品質モニタと自動リトレーニングを有効にする
%E2	回線品質モニタとフォールバック/フォール フォワードを有効にする
%L	受信した回線信号レベルを戻す

仕様と規制情報
 モデム コード一覧

コマンド	機能 (Ambit)
%Q	回線信号の質を報告する
%TTn	信号レベルの PTT テスト:00-09=DTMF ダイヤル 0-9, 0A=DTMF *, 0B=DTMF #, 0C=DTMF A, 0D=DTMF B, 0E=DTMF C, 0F=DTMF D, 10=V.21 チャネル 1 マーク記号, 11=V.21 チャネル 2 マーク記号, 15=V.22 1200bps で信号発信, 16=V.22bis 2400bps で信号発信, 17=V.22 アンサーシグナリング, 18=V.22bis アンサーシグナリング, 19=V.21 チャネル 1 スペース記号, 1A=V.21 チャネル 2 スペース記号, 20=V.32 9600bps, 21=V.32bis 14400bps, 30=サイレンス, 31=V.25 アンサートーン, 32=1800Hz ガートトーン, 33=V.25 コーリングトーン(1300Hz), 34=Fax コーリングトーン(1100Hz), 40=V.21 チャネル 2, 41=V.27ter 2400bps, 42=V.27ter 4800bps, 43=V.29 7200bps, 44=V.29 9600bps, 45=V.17 7200bps 長, 46=V.17 7200bps 短, 47=V.17 9600bps 長, 48=V.17 9600bps 短, 49=V.17 12000bps 長, 4A=V.17 12000bps 短, 4B=V.17 14400bps 長, 4C=V.17 14400bps 短, 60=2400bps (V.34 のみ), 61=4800bps (V.34 のみ), 62=7200bps (V.34 のみ), 63=9600bps (V.34 のみ), 64=12000bps (V.34 のみ), 65=14400bps, 66=16800bps, 67=19200bps, 68=21600bps, 69=24000bps, 6A=26400bps, 6B=28800bps, 6C=31200bps, 6D=33600bps モデムが DTE からブレイク信号を受信したとき:
¥K0,2,4	オンライン コマンド モードに入る。相手モデムにブレイク信号を送信しない
¥K1	バッファをクリアし、相手モデムにブレイク信号を送信する
¥K3	相手モデムに直ちにブレイク信号を送信する
¥K5	送信データ シーケンス中に相手モデムにブレイク信号を送信する オンライン コマンド状態のときに ¥B コマンドを受信したとき:
¥K0,1	バッファをクリアし、相手モデムにブレイク信号を送信する
¥K2,3	相手モデムに直ちにブレイク信号を送信する
¥K4,5	送信データ シーケンス中に相手モデムにブレイク信号を送信する モデムが相手モデムからブレイク信号を受信したとき:
¥K0,1	バッファをクリアし、DTE にブレイク信号を送信する
¥K2,3	ブレイク信号を直ちに DTE に送信する
¥K4,5	受信データとともにブレイク信号を DTE に送信する
¥N0	通常速度バッファ モードを選択する
¥N1	直接モードを選択する
¥N2	相手モデムのモードに依存した接続モードを選択する
¥N3	相手モデムのモードを自動選択する
¥N4	LAPM モードになる
¥N5	MNP モードになる
¥V0	接続メッセージをコマンド設定値 X, W, および S95 で制御する
¥V1	接続メッセージを一行で表示する

コマンド	機能 (Ambit)
+MS=a,b,c,d	変調方式を選択する (b, c, および d はオプション) a はモードを示す (bps): 0=V.21 (300), 1=V.22 (1200), 2=V.22bis (2400, 1200), 3=V.23 (1200, 300), 9=V.32 (9600, 4800), 10=V.32bis (14400, 12000, 9600, 7200, 4800), 11=V.34 (33600, 31200, 28800, 26400, 24000, 21600, 19200, 16800, 14400, 12000, 9600, 7200, 4800, 2400), 17=X2, V.90 (57333-33333), 64=Bell 103 (300) b は全自動モード 0=無効, 1=有効 c は最低通信速度(bps):300-33600 d は最大通信速度 (bps): 300-33600
+H0	Rockwell Protocol Interface (RPI)/Video レディ モードを無効にする
+H1	RPI を有効にし、DTE 速度を 19200 bps に設定する
+H2	RPI を有効にし、DTE 速度を 38400 bps に設定する
+H3	RPI を有効にし、DTE 速度を 57600 bps に設定する
+H11	RPI+ モードを有効にする
+H16	Video Ready モードを有効にする
**0	直前に検出された速度で不揮発性メモリにダウンロードする
**1	38.4 kbps で不揮発性メモリにダウンロードする
**2	57.6 kbps で不揮発性メモリにダウンロードする
-SDR=0	ディスティンクティブリングを無効にする
-SDR=1	ディスティンクティブリングのタイプ 1 を有効にする
-SDR=2	ディスティンクティブリングのタイプ 2 を有効にする
-SDR=3	ディスティンクティブリングのタイプ 1 と 2 を有効にする
-SDR=4	ディスティンクティブリングのタイプ 3 を有効にする
-SDR=5	ディスティンクティブリングのタイプ 1 と 3 を有効にする
-SDR=6	ディスティンクティブリングのタイプ 2 と 3 を有効にする
-SDR=7	ディスティンクティブリングのタイプ 1、2 と 3 を有効にする
ECC コマンド	
%C0	データ圧縮を無効にする
%C1	MNP 5 データ圧縮を有効にする
%C2	V.42 bis データ圧縮を有効にする
%C3	V.42 bis と MNP 5 圧縮の両方を有効にする
¥A0	MNP の最大ブロック サイズを 64 字に設定する
¥A1	MNP の最大ブロック サイズを 128 字に設定する
¥A2	MNP の最大ブロック サイズを 192 字に設定する
¥A3	MNP の最大ブロック サイズを 256 字に設定する
¥Bn	n の長さのブレイク信号を送信する(単位:100 ミリ秒)
MNP 10 コマンド	
-K0	MNP 10 拡張サービスを無効にする
-K1	MNP 10 拡張サービスを有効にする

仕様と規制情報
モデムコード一覧

コマンド	機能 (Ambit)
-K2	MNP 10 拡張サービスの検出のみを無効にする
-SEC=0	MNP 10-EC を無効にする
-SEC=1, [<tx level>]	MNP 10-EC を有効にし、送信レベル <tx level> 0 を 30 に設定する (0 dBm ~ -30 dBm)
FAX Class 1	
+Fclass=1	サービス クラス
+FAE=0	データ/ファックス自動着信を無効にする
+FAE=1	データ/ファックス自動着信を有効にする
+FRH=n	HDLC フレーミングとともにデータを受信する
+FRM=n	データを受信する
+FRS=n	受信サイレンス、n×10 ミリ秒
+FTH=n	HDLC フレーミングとともにデータを受信する
+FTM=n	データを送信する
+FTS=n	送信を停止し、待機する n×10 ミリ秒
AT*コマンド	
*B	ブラックリスト番号を表示する
*Cn	データ コーリング トーンの選択
*NCn	国別パラメータを選択する:0=米国, 1=日本, 2=ドイツ, 3=UK, 4=フランス, 5=オランダ, 6=イタリア, 7=オーストラリア, 8=スウェーデン, 9=デンマーク, 10=ニュージーランド, 11=韓国, 12=中国, 13=シンガポール, 14=マレーシア, 15=南アフリカ, 16=ポーランド, 17=チェコ共和国, 18=ハンガリー, 19=香港, 20=トルコ, 21=スペイン

S レジスタ (Ambit)

レジスタ	機能 (Ambit)	範囲/単位	出荷時の設定
S0	自動応答までの呼び出し回数	0-255/リング	0
S1	リング カウンタ	0-255/リング	0
S2	エスケープ キャラクタ	0-255/ASCII	43
S3	複改キャラクタ	0-127/ASCII	13
S4	改行キャラクタ	0-127/ASCII	10
S5	後退キャラクタ	0-255/ASCII	8
S6	発信音の待機時間	2-255/秒	2
S7	キャリアを検出してから応答するまでの待ち時間	1-255/秒	50
S8	ダイヤル遅延コマンドによる停止時間	0-255/秒	2
S9	キャリアをモデムが認識するまでの時間	1-255/.1 秒	6
S10	キャリアを喪失してから回線を切断するまでの時間	1-255/.1 秒	14
S11	DTMF トーン時間	50-255/.001 秒	95
S12	エスケープ コード実行後の遅延時間	0-255/.02 秒	50

仕様と規制情報
モデムコード一覧

レジスタ	機能 (Ambit)	範囲/単位	出荷時の設定
S14	一般のビットマップ オプション ステータス		138 (8Ah)
S16	テスト モード時のビットマップ オプション ステータス (&T)		0
S18	テスト タイマ	0-255/秒	0
S19	AutoSync オプション		0
S20	AutoSync HDLC アドレスまたは BSC Sync キャラクタ	0-255	0
S21	V.24/一般のビットマップ オプション ステータス		52 (34h)
S22	スピーカ/結果 ビットマップ オプション ステータス		117 (75h)
S23	一般のビットマップ オプション ステータス		62 (3Dh)
S24	スリープ不活動タイマ	0-255/秒	0
S25	DTR オフ状態保持時間	0-255/秒または.01s	5
S26	RTS-CTS 遅延時間	0-255/.01 秒	1
S27	一般のビットマップ オプション ステータス		73 (49h)
S28	一般のビットマップ オプション ステータス		0
S29	各ダイヤル パラメータの時間をフラッシュ	0-255/10 ミリ秒	70
S30	切断不活動タイマ	0-255/10 秒	0
S31	一般のビットマップ オプション ステータス		194 (C2h)
S32	XON キャラクタ	0-255/ASCII	17 (11h)
S33	XOFF キャラクタ	0-255/ASCII	19 (13h)
S36	LAPM エラー制御		7
S37	回線接続速度		0
S38	強制切断までの待ち時間	0-255/秒	20
S39	フロー制御 ビットマップ オプション ステータス		3
S40	一般のビットマップ オプション ステータス		104 (68h)
S41	一般のビットマップ オプション ステータス		195(C3h)
S46	データ圧縮制御		138
S48	V.42 ネゴシエーション制御		7
S82	LAPM ブレーク制御		128 (40h)
S86	コール エラー理由コード		0-255
S91	PSTN 送信減衰レベル	0-15/dBm	10 (国によつて異なる)
S92	ファックス送信減衰レベル	0-15/dBm	10 (国によつて異なる)
S95	応答コード メッセージ制御		0

応答コード抜粋(Ambit)

コード	意味
0	OK
1	CONNECT (コネクト)
2	RING (リング)
3	NO CARRIER (キャリア検出失敗)
4	ERROR (エラー)
5	CONNECT 1200 (1200 でコネクト)
6	NO DIAL TONE (ダイヤル トーンが検出されない)
7	BUSY (話中)
8	NO ANSWER (応答無し)

安全のために

電源ケーブル

AC アダプタに付属している電源ケーブルは、使用する電源コンセントおよび電圧の条件に合っていないかもしれません。この AC アダプタは、使用する電源に合った電源ケーブルを使用することを前提として認定されています。ただし、旅行先で異なる電源や電圧に接続する必要がある場合は、下記の電源ケーブルのいずれかをご利用ください。電源ケーブル(下記にリストされた国用の電源ケーブルを含む)または別の AC アダプタのご購入については、HP の販売代理店または最寄りの営業所までお問い合わせください。

国名	定格電圧と電流	HP 部品番号
カナダ メキシコ フィリピン 台湾 米国	125 Vac (3 A)	8120-6313
ヨーロッパ エジプト イスラエル サウジアラビア	250 Vac (2.5 A)	8120-6314
香港 シンガポール イギリス	250 Vac (2.5 A)	8120-8699
オーストラリア ニュージーランド	250 Vac (2.5 A)	8120-6312
日本	125 Vac (3 A)	8120-6316
インド 南アフリカ	250 Vac (2.5 A)	8120-6317
中華人民共和国	250 Vac (2.5 A)	8120-8373

バッテリー取り扱い上のご注意

注記

次のバッテリーは、特定の HP ノートブック コンピュータに限り、適合します。

- HP F2109 NiMH
- HP F2024A リチウムイオン 9セル
- HP F2193 リチウムイオン 6セル

本機には、上記のうちいずれかのバッテリーが付属していますが、本機のご購入後は、HP F2024A リチウムイオン 9セルバッテリーのみ、交換品として入手が可能です。

- 火災、やけど、バッテリー パックの損傷などの危険を避けるには、バッテリーの接触部に金属製のものを触れないようにしてください。
- バッテリー パックは、HP ノートブックと互換性のあるものだけを使用してください。HP の連絡先は、本書の「サポートとサービス」でご確認ください。
- バッテリー パックを分解しないでください。内部に修理可能な部品はありません。バッテリー パックを火や水の中に捨てないでください。
- 損傷したり、液漏れしているバッテリーの取り扱いには特別な注意を払ってください。誤って電解液に触れた場合は、触れた部分を石鹼と水で洗ってください。目に入った場合は、15 分間流水で目を洗い、医師の診断を受けてください。
- バッテリー パックを高温の場所 (60 °C 以上) に保管しないでください。
- バッテリー パックを破棄する場合は、バッテリーの破棄あるいは再生に関する規制について、管轄部署にお問い合わせください。
- 新規バッテリーの購入に関しては、お近くの HP 販売代理店か営業所にお問い合わせください。
- 環境温度が 45 °C を超える場合は、バッテリー パックを充電しないでください。

レーザーの安全性について

本機で使用する CD-ROM および DVD ドライブは、U.S. Department of Health and Human Services (DHHS) Radiation Performance Standard および International Standards IEC 825 / IEC 825-1 (EN60825 / EN60825-1) による Class 1 レーザ デバイ

スの認可を受けています。これらのデバイスは有害とはみなされていませんが、ご使用に際しては以下の注意事項を守って使用ください。

- 使用手順にしたがって正しくお使いください。
- 修理サービスが必要な場合は、正規 HP サービス センタまでご連絡ください。本書の「サポートとサービス」をご覧ください。
- ユニットの調整は決して行わないでください。
- レーザ光線が直接目に入らないようにしてください。ドライブ本体を開けないでください。

CLASS 1 LASER PRODUCT

クラス 1 レーザ製品

LED の安全性について

本機右側面の赤外線ポートは、International Standard IEC 825-1 (EN60825-1) に適合した Class 1 LED (light-emitting diode) デバイスの認可を受けています。このデバイスは有害とはみなされていませんが、以下の注意事項を守って使用ください。

- 修理サービスが必要な場合は、正規 HP サービス センタまでご連絡ください。本書の「サポートとサービス」をご覧ください。
- ユニットの調整は決して行わないでください。
- 赤外線 LED ビームが直接目に入らないようにしてください。LED ビームは不可視の光線で、肉眼では見えないのでご注意ください。
- 光学機器などを使用して、赤外線 LED ビームを見ようとししないでください。

CLASS 1 LED PRODUCT

クラス 1 LED 製品

規制に関する情報

このセクションには、特定地域で本機が準拠している規制に関する情報が収められています。Hewlett Packard の許可なく本機に改ざんを加えると、該当地域で本機を操作する許可が無効になります。

Japan

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。
取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

Japan Telecommunications Approval

JATE approval number: A00-0143JP, A00-0434JP

Name of Equipment: T18M038.00, T18N040.00

International

Products sold internationally by Hewlett-Packard and its authorized dealers meet the specifications listed on the following pages.

Declaration of Conformity (according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014)

Manufacturer's Name: Hewlett-Packard Company
Manufacturer's Address: Hewlett-Packard Company
Mobile Computing Division
19310 Pruneridge Ave.
Cupertino, CA 95014, U.S.A.

declares that the following product

Product Name: HP notebook PC
Model Numbers: OmniBook XE3, Pavilion N5D series, Pavilion XHD series Notebook PC (*D* is any digit 0-9)
Product Options: All

conforms to the following product specifications

Safety: IEC 950: 1991 +A1,A2,A3,A4 / EN 60950: 1992 +A1,A2,A3,A4,A11
IEC 60825-1: 1993 +A1/EN60825-1: 1994 +A11 Class 1 (LED)
GB4943-1995

EMC: CISPR 22: 1993 +A1,A2 / EN 55022: 1994 +A1,1995 +A2: 1997, Class B [1]
EN 61000-3-2:1995 +A1: 1998 +A2: 1998 / EN 61000-3-3:1995
GB9254-1988, FCC Title 47 CFR, Part 15 Class B/ANSI C63.4: 1992
AS/NZS 3548: 1995 Rules and Regulations of Class B
EN50082-1: 1997
EN 61000-4-2: 1995: 4kV CD, 8kV AD, EN 61000-4-3: 1995: 3V/m
EN 61000-4-4: 1995: 0.5kV Signal Lines, 1kV Power Lines
EN 61000-4-5: 1995, EN 61000-4-6: 1996, EN 61000-4-11: 1994, ENV 50204: 1995

Telecom: TBR 21: 1998, EG 201 121: 1998

Supplementary Information: The product herewith complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC Directive 89/336/EEC, amended by 92/31/EEC & 93/68/EEC, and the R&TTE Directive 1999/5/EC (Annex II) and carries the CE marking accordingly.

[1] The product was tested in a typical configuration with Hewlett-Packard Personal Computer peripherals.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

The HP F1454A and F1781A ac/dc adapter used with this product is designed to operate on all power systems, other than IT power systems.

Corvallis, OR, January 04,
2001




Jerry Erickson, R&D Product Execution Manager

European Contact for regulatory topics only: Hewlett Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Straße 130, 71034 Boeblingen, Germany. Fax: +49 7031 143143).
USA Contact: Hewlett Packard Co., Corporate Product Regulations Manager, 3000 Hanover Street, Palo Alto, CA 94304, U.S.A.
Phone: +1 (415) 857-1501.

索引

A

- ACPI, 50
- AC アダプタ
 - 接続, 21
 - ロケーション, 15
- AC 電源
 - AC 接続, 21
- AT コマンド, 67, 148

B

- BIOS
 - Setup ユーティリティ, 88
 - アップデート, 99, 128

C

- Caps lock ステータス ランプ, 17
- CD-ROM
 - アクセス ランプ, 17
 - トラブルシューティング, 107
- CD-ROM ドライブ
 - CD の挿入, 36
 - CD の取り出し, 36

D

- DVD
 - アクセス ランプ, 17
 - ドライブ位置, 13
 - トラブルシューティング, 109

F

- [Fn] キー
 - 外部キーボード, 137

H

- HP メモ, 12
- HP 保証, 96

K

- Kensington ロック用スロット位置, 15

L

- LAN
 - 接続, 71
 - ポート位置, 13

- ポート インジケータ ランプ, 71

- LED の安全性, 159

M

- MiniTel, 64

N

- Num lock
 - 使用, 30
 - ステータス ランプ, 17

O

- Outlook Express, 62

P

- PC カード
 - 使用, 72
 - スロット位置, 15
 - 装着, 72
- PC カードの取り外し, 72
- PC カード装着, 72
- PS/2
 - Y アダプタ, 11
 - デバイス接続, 77
 - ポート位置, 15

Q

- QuickLink, 62, 68

R

- Recovery CD
 - 交換, 128
 - 使用, 127

S

- SpeedStep, 58

T

- TimTel, 64

U

- USB
 - デバイス接続, 78
 - トラブルシューティング, 121
 - ポート位置, 15

V

- VGA ポート位置, 15

W

- Web サイト, 12
- Windows
 - キー, 29
 - セットアップ, 23
 - ドライバのダウンロード, 94
 - マニュアル, 12
- [Windows] キー
 - 組み合わせ, 29

あ

- アクセサリ, 11
- アドレス, HP Web サイト, 12
- [アプリケーション] キー, 29
- アプリケーション, 復元, 88, 129
- 安全性
 - LED, 159
 - 電圧, 157
 - 電源, 157
 - バッテリー, 158
 - レーザ, 159

い

- 印刷
 - 互換プリンタ, 77
 - 赤外線, 80
 - トラブルシューティング, 121
 - パラレル接続, 77
- インターネット
 - 接続先, 65
 - 切断, 66

う

- 埋め込みテンキー, 30

え

- エラーチェック, 46

- お
 - オーディオ
 - デバイス接続, 78
 - トラブルシューティング, 106
 - オン/オフ スイッチ
 - 位置, 13
 - 使用, 22
 - 音量, 調節, 31
- か
 - 快適な作業を行うために, 43
 - 外部コンポーネント
 - キーボード, 77
 - 接続, 74
 - マウス, 77
 - モニター, 81
 - HP カスタマ ケア センタ
 - 電話番号, 100
 - 過熱, トラブルシューティング, 112
 - 換気, 46
- き
 - キーボード
 - 外部 Fn キー, 137
 - トラブルシューティング, 113
 - 規制に関する情報, 160
- く
 - クイック スタート シート, 12
 - クリックボタン位置, 13
- け
 - ケーブル
 - セキュリティ ロック, 41
- こ
 - コンセントの条件, 157
 - コンピュータ
 - 正面および右側, 13
 - 底部, 16
 - コンピュータ図
 - 前面, 14
 - 背面および左側, 15
 - コンピュータのリセット, 24
- さ
 - 再開, 19
- 再開, トラブルシューティング, 124
- 作業環境, 43
- サポート
 - 電話, 99
- し
 - システム オフ ボタン
 - 位置, 15
 - リセット, 24
 - 自動車/航空機用アダプタ, 11
 - 修理
 - サービス, 103
 - 発送, 103
 - 仕様
 - ソフトウェア, 145
 - ソフトウェア システム, 146
 - ハードウェア, 140
 - 正面および右側, 13
 - ショートカットキー, 28
 - シリアル ポート
 - トラブルシューティング, 121
 - シリアルデバイス
 - USB, 78
 - シリアルポート
 - 位置, 15
 - 診断テスト, 125
- す
 - スキャンディスク, 46
 - スクロール トグル位置, 13
 - スクロールロック ステータスランプ, 17
 - スタート メニュー, 55
 - スタートアップ, トラブルシューティング, 123
 - スタートアップガイド, 12
 - スタンバイ, 19, 53
 - トラブルシューティング, 124
 - ボタン位置, 13
 - ボタン使用, 19
 - ステータス パネル, 18
 - ステータス パネル
 - 位置, 14
 - ステータス ランプ
 - 位置, 13, 17
 - 電源, 22
 - バッテリー, 56
- せ
 - 赤外線
 - 使用可能, 79
 - 赤外線
 - セットアップ, 79
 - ファイル転送, 80
 - プリンタ, 80
 - ポート位置, 15
 - ポート接続, 79
 - 赤外線通信
 - 接続のセットアップ, 79
 - セキュリティ ケーブル, 41
 - セキュリティ コネクタ位置, 15
 - 接続
 - LAN, 71
 - USB デバイス, 78
 - オーディオ デバイス, 78
 - 外部モニター, 81
 - 赤外線対応デバイス, 79
 - テレビ, 83
 - パラレル デバイス, 77
 - モデム, 63
 - 設定
 - BIOS, 88
 - モデム, 66
 - セットアップ, 20
 - 前面, 14
- そ
 - 装着
 - PC カード, 72
 - 挿入
 - CD, 36
 - ソフトウェア, 10
 - アップデート, 99
 - システム仕様, 146
 - 仕様, 145
 - 復元, 88, 129
 - ソフトウェア ライセンス, 3
- た
 - ダイヤルアップ ネットワーク
 - 接続, 66
 - タッチパッド, 46
 - 位置, 13
 - 使用方法, 32
 - 設定, 33
 - トラブルシューティング, 113

- ち
- 著作権, 2
- て
- ディスプレイ
 - 外部, 81
 - テレビ, 83
 - トラブルシューティング, 107
- 底部, 16
- データ
 - 保護, 46
- データ保護, 46
- テクノロジーコード, 140
- デジタル署名付きドライバ, 94
- デバイス(外部)
 - USB, 78
 - 赤外線, 79
 - パラレル, 77
- テレビ, 83
 - ポート位置, 15
- 電圧の条件, 157
- 電源の管理
 - プロパティの設定, 55
- テンキー, 30
- 電源
 - スイッチ位置, 13
 - ステータスランプ, 17
 - 節約, 58
 - 電源スイッチの使用, 19
 - トラブルシューティング, 119
 - プロセッサ速度, 58
 - リセット, 24
- 電源オン, 19, 22
- 電源管理, 50
- 電源コード, 157
- 電源の管理
 - プロパティの設定, 53
 - 方法, 53
- 電子メール, 67
- 電話
 - サポート, 99
- と
- 盗難防止用チェーン, 41
- ドッキングコネクタ位置, 16
- ドライバ
 - アップデート, 99
 - ダウンロード, 94
- デジタル署名, 94
- トラブルシューティング, 106
 - CD-ROM ドライブ, 107
 - DVD ドライブ, 109
 - USB ポート, 121
 - 印刷, 121
 - オーディオ, 106
 - 過熱, 112
 - キーボード, 113
 - 再開, 124
 - シリアルポート, 121
 - スタートアップ, 123
 - スタンバイ, 124
 - タッチパッド, 113
 - ディスプレイ, 107
 - 電源, 119
 - ハードディスク ドライブ, 111
 - バッテリー, 119
 - パフォーマンス, 118
 - パラレルポート, 121
 - ポートリプリケータ, 119
 - マウス, 113
 - メモリ, 114
 - モデム, 114
 - ワンタッチボタン, 116
- 取り出し
 - CD, 36
- 取り出しボタン, PCカード, 15
- に
- 人間工学, 43
- ね
- ネットワーク
 - 接続, 71
 - ダイヤル接続, 66
- の
- ノートブック
 - 正面および右側, 13
 - 清掃, 48
 - 前面, 14
 - 底部, 16
 - 背面および左側, 15
 - ポート, 75
 - ノートブックの清掃, 48
- は
- ハードディスク ドライブ
 - サイズ, 136
- ハードウェア
 - 仕様, 140
 - テスト, 125
- ハードウェアのテスト, 125
- ハードディスク
 - 保護, 45
- ハードディスク ドライブ
 - アクセスランプ, 17
 - 位置, 16
 - トラブルシューティング, 111
 - 取り付け, 132
 - 取り外し, 130
- ハードディスク ドライブの取り付け, 132
- ハードディスク ドライブを取り外す, 130
- ハイバネーション, 54, 57
- ハイバネーション用パーティション, 92
- ハイバネート, 54
- ハイバネートパーティション, 作成, 92
- 背面および左側, 15
- バッテリー
 - 安全性, 158
 - 位置, 16
 - 再充電, 20
 - 最善の利用, 47
 - ステータス, 56
 - ステータスランプ, 17
 - 低電力の警告, 57
 - 動作時間,最適化, 58
 - トラブルシューティング, 119
 - 取り付け, 20
 - ラッチ位置, 16
- パッドロック ボタン位置, 13
- パフォーマンス トラブルシューティング, 118
- パラレル デバイス,接続, 77
- パラレルポート
 - 位置, 15
 - トラブルシューティング, 121

- ふ
- ファイル,赤外線転送, 80
- ファックス
 - 受信(Windows 2000), 70
 - 受信(Windows 98), 69
 - 送信(Windows 2000), 70
- ファックス受信 (Windows 2000), 70
- ファックス受信(Windows 98), 69
- ファックス送信(Windows 2000), 70
- ファンクション キー, 28
- 復元
 - アプリケーション, 88, 129
 - ソフトウェア, 127
 - ハードディスク, 127
- プリインストール, 127
- プロセッサ速度, 58
- フロッピーディスク ドライブ
 - アクセス ランプ, 17
 - 位置, 15
- へ
- ヘッドホン ジャック位置, 14
- ほ
- ポインティング デバイス
 - 位置, 13
 - カスタマイズ, 33
 - 使用方法, 32
- ポート
 - ノートブック, 75
 - ポータリプリケーター, 76
 - ポータリプリケーター
 - 接続, 85
 - トラブルシューティング, 119
 - 取り外し, 86
 - 取り外す, 86
 - ポート, 76
 - 保証, 96
 - 修理, 103
- ま
- マイク
 - 位置, 13
 - ジャック 位置, 15
- マウス
 - 設定, 33
 - トラブルシューティング, 113
- マルチメディア ボタン
 - 位置, 14
- む
- ムービ (DVD), 36
- DVD ドライブ
 - ムービの再生, 36
- め
- メモリ, トラブルシューティング, 114
- も
- 目録, 10
- モジュラーケーブル, 接続, 22
- モデム
 - AT コマンド, 67, 148
 - インターネットに接続, 65
 - 接続, 63
 - 設定, 66
 - 速度, 62
 - ソフトウェア, 62
 - ダイヤルアップ接続, 66
 - 電子メール送信, 67
 - トラブルシューティング, 114
 - 内蔵, 22
 - ファックス送受信(Windows 2000), 69
 - ファックス送信(Windows 98), 68
 - ポート位置, 13
- モニタ
 - 解像度, 81
 - 外部, 81
- ら
- ライセンス契約, 3
- ラッチ位置, 14
- ランプ,LAN ポート, 71
- れ
- レーザの安全性, 159
- わ
- ワイヤレス通信, 79
- ワンタッチ ボタン
 - トラブルシューティング, 116
- ワンタッチ ボタン
 - 位置, 13